

令和 8 年度 県民意識調査報告書

令和 8 年 9 月

秋 田 県

目 次

第1部 調査の概要

1	調査の目的	3
2	調査の内容	3
3	調査の設計	3
4	回収結果	3
5	集計・分析に当たって	3
6	統計表	3
7	有効回答者の属性	4
8	標本抽出方法	6

第2部 調査結果の概要

1	第1章 「秋田県総合計画～秋田再興への第一歩～」について	11
2	第2章 県の特定課題について	13
3	第3章 県の重要課題について	14
4	第4章 県政への自由意見について	15

第3部 調査結果の詳細

第1章 「秋田県総合計画～秋田再興への第一歩～」について

1 各政策の施策に関連する項目についての満足度

(1) 政策1 未来づくりに関する項目

ア	秋田移住の加速	19
イ	若者の県内就職の促進	20
ウ	結婚の希望をかなえる実効性のある支援	20
エ	安心して出産できる環境づくり	21
オ	多様性に満ちた社会づくり	21
カ	若者・女性が自分らしさを発揮できる環境づくり	22

(2) 政策2 観光・交流に関する項目

ア	「心が動くあきたの観光」の実現	23
イ	「食」のブランド化と輸出を含めた販路開拓の強化	23
ウ	スポーツを通じた地域づくりと交流人口・関係人口の拡大	24
エ	文化芸術が紡ぐ彩り豊かな秋田の創出	24
オ	住民が利用しやすい地域公共交通ネットワークの形成	25
カ	幹線鉄道の整備の促進、フェリー航路・航空路線の維持・拡充	25

(3) 政策3 農林水産に関する項目

ア	日本の食を支える農業の実現	27
イ	森の恵みを未来へつなぐ林業・木材産業の実現	27
ウ	環境変化に対応した新たな水産業の実現	28
エ	活力あふれる明るい農山漁村の実現	28

(4) 政策4 産業に関する項目	
ア 「人への投資」と経営革新による中小企業の経営基盤の強化	30
イ 再生可能エネルギーの導入拡大	30
ウ 成長産業への県内企業の参入促進	31
エ 県内企業の技術開発力の強化、イノベーション人材の育成	31
オ 県外からの人材流入や若者定着につながる戦略的な誘致の推進	32
(5) 政策5 健康・医療・福祉に関する項目	
ア 人口減少社会においても持続可能な医療提供体制の確保	33
イ 医療と介護の連携による地域包括ケアシステムの拡充	33
ウ 健康づくりを促す環境の充実	34
エ 障害や難病への正しい知識の普及と理解促進	34
オ 複雑・多様化する社会課題に対応できる相談・支援体制の整備	35
(6) 政策6 教育・人づくりに関する項目	
ア 全てのこどもの健やかな心身と自ら学ぶ意欲の育成	36
イ 新時代をたくましく生き抜く力の育成	36
ウ 「こどもまんなか社会」を支える環境の整備	37
エ 地域社会の発展と産業振興に資する高等教育機関の活性化	37
オ 誰もが生涯を通じて学び活躍できる環境の構築	38
(7) 政策7 防災・減災・県土強靱化に関する項目	
ア 気候変動等に対応した災害に強い地域社会の実現	39
イ 自助・共助の促進による地域の防災力の強化	39
ウ 社会経済活動を支えるインフラの強化	40
エ 持続可能なインフラマネジメントの実現	40
(8) 政策8 環境・くらしに関する項目	
ア 野生鳥獣の保護管理と被害防止対策の推進	42
イ 大気、水、土壌等の環境保全対策の推進	42
ウ カーボンニュートラルの実現に向けた地域社会の形成	43
エ 犯罪・事故のない誰もが穏やかで安全に暮らせる地域の実現	43
オ 食品衛生管理の推進	44
カ 動物の愛護と適正な飼養の推進	44
キ 県民生活を支えるデジタル技術の普及促進と情報通信インフラの充実	45

2 (参考) 各政策の満足度の平均値	46
--------------------	----

第2章 県の特定期課題について

1 差別等について

(1) 差別等を感じる機会の有無	49
(2) 感じる差別等の種類	50
(3) 日本人から外国人に対する偏見や差別の有無	53

2	男女共同参画について	
	「男は仕事、女は家庭」の考え方.....	54
3	文化芸術の鑑賞・活動について	
	(1) 文化芸術の鑑賞の頻度.....	55
	(2) 文化芸術の活動の頻度.....	56
4	読書活動について	
	(1) 読書への興味.....	57
	(2) 1日の平均読書時間.....	58
5	環境保全活動について	
	環境保全活動への参加状況.....	59
6	食品ロス問題について	
	食品ロスの認知、取組状況.....	61
7	社会活動・地域活動について	
	社会活動・地域活動への取組の頻度.....	62
8	家庭での防災活動について	
	(1) 災害に備えた家庭での防災活動の状況.....	63
	(2) 家庭での災害時に備えた備蓄状況.....	65
9	高齢者の社会参加について	
	60歳以上の方の仕事や社会活動等への参加状況（令和7年度）.....	66
第3章	県の重要課題について.....	67
第4章	県政への自由意見について.....	72
付属資料	：調査票.....	83
	参考資料.....	103

第 1 部 調査の概要

1 調査の目的

- (1) 県政に対する県民意識を把握し、総合計画の進行管理に活用する。
- (2) 政策等の評価において、県民意識を取り入れる手法の一つとして活用する。
- (3) 県民の提案や要望を把握し、政策立案や問題解決、計画の策定に反映させる。
- (4) 特定課題に関する県民意識を把握し、取組の推進に活用する。

2 調査の内容

- (1) 総合計画に掲げた政策又は施策に関する事柄についての満足度（選択式）
- (2) 県の特定課題について（選択式）
 - ① 差別等について
 - ② 男女共同参画について
 - ③ 文化芸術の鑑賞・活動について
 - ④ 読書活動について
 - ⑤ 環境保全活動について
 - ⑥ 食品ロス問題について
 - ⑦ 社会活動・地域活動について
 - ⑧ 家庭での防災活動について
 - ⑨ 高齢者の社会参加について
- (3) 県の重要課題について（選択式）
- (4) 県に力を入れてほしいことなどについて（自由記述式）
- (5) 回答者の属性について（選択式）

3 調査の設計

- (1) 調 査 対 象：秋田県に居住する満 18 歳以上の男女
- (2) 標 本 数：5,000 人
- (3) 標本抽出方法：全県 25 市町村の選挙人名簿を基にした層化抽出法
- (4) 調 査 手 法：ア 郵送による調査票の配付
 イ 郵送回答とインターネット回答の併用
- (5) 調 査 期 間：令和 8 年 6 月 4 日(木)～6 月 23 日(火)
- (6) 調 査 機 関：株式会社フィデア情報総研

4 回収結果

- (1) 調査票回収数 2,640 人（回 収 率 52.8%）
- (2) 有効回答数 2,640 人（有効回答率 52.8%）

5 集計・分析に当たって

- (1) 比率（%）は、小数点以下第 2 位を四捨五入して表示する。このため、各回答の比率の合計が 100%にならないこと（99.9%、100.1%など）がある。満足度の平均点は、小数点以下第 3 位を四捨五入して算出する。
- (2) 18～19 歳を 10 歳代として集計する。

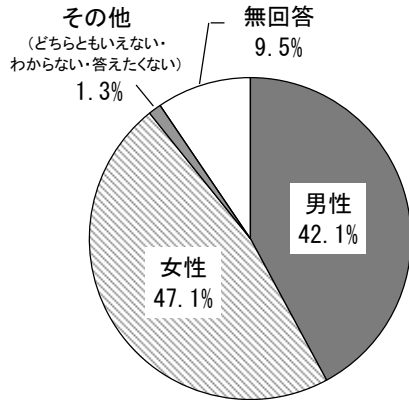
6 統計表

各設問の回答に関する統計データは、県の公式ウェブサイト「美の国あきたネット」
(<https://www.pref.akita.lg.jp>) に掲載している。

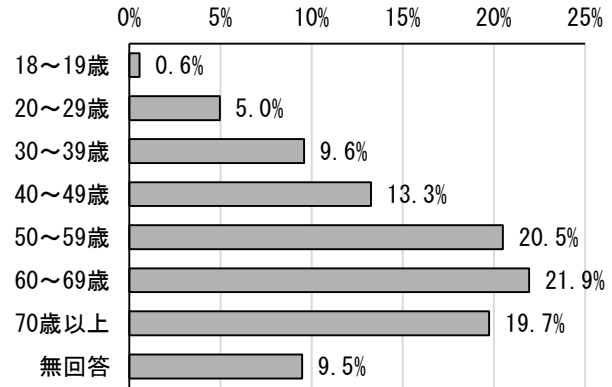
7 有効回答者の属性

属 性		有効回答者数		推計人口（R7.10.1 現在）	
		客体数	構成比	18 歳以上人口	構成比
合 計		2,640	100.0%	782,350	100.0%
① 性別	男性	1,112	42.1%	366,546	46.9%
	女性	1,244	47.1%	415,804	53.1%
	その他（どちらともいえない・わからない・答えたくない）	34	1.3%	—	—
	無回答	250	9.5%	—	—
② 年齢	18～19 歳	15	0.6%	13,282	1.7%
	20～29 歳	131	5.0%	55,215	7.1%
	30～39 歳	253	9.6%	71,048	9.1%
	40～49 歳	350	13.3%	106,878	13.7%
	50～59 歳	541	20.5%	119,969	15.3%
	60～69 歳	579	21.9%	134,783	17.2%
	70 歳以上	521	19.7%	281,175	35.9%
	無回答	250	9.5%	—	—
③ 18 歳未満の子の有無	養育している	480	18.2%	—	—
	養育していない	1,842	69.8%	—	—
	無回答	318	12.0%	—	—
④ 出身	秋田県の出身	2,180	82.6%	—	—
	秋田県以外の出身	198	7.5%	—	—
	無回答	262	9.9%	—	—
⑤ 居住地域	鹿角地域	86	3.3%	26,653	3.4%
	北秋田地域	235	8.9%	81,990	10.5%
	山本地域	163	6.2%	60,099	7.7%
	秋田地域	986	37.3%	321,008	41.0%
	由利地域	244	9.2%	80,087	10.2%
	仙北地域	313	11.9%	97,168	12.4%
	平鹿地域	191	7.2%	68,537	8.8%
	雄勝地域	141	5.3%	46,808	6.0%
	無回答	281	10.6%	—	—
⑥ 職業	農業	128	4.8%	—	—
	林業	10	0.4%	—	—
	漁業	1	0.0%	—	—
	建設業	128	4.8%	—	—
	製造業	225	8.5%	—	—
	情報通信業	26	1.0%	—	—
	運輸業・郵便業	71	2.7%	—	—
	卸売業・小売業（観光関連）	18	0.7%	—	—
	卸売業・小売業（観光関連以外）	173	6.6%	—	—
	宿泊業	9	0.3%	—	—
	飲食サービス業	82	3.1%	—	—
	学術研究・学校教育・学習支援	67	2.5%	—	—
	医療・保健	161	6.1%	—	—
	福祉	160	6.1%	—	—
	公務（上記以外）	139	5.3%	—	—
	その他の業種	363	13.8%	—	—
	学生	31	1.2%	—	—
	無職	553	20.9%	—	—
	無回答	295	11.2%	—	—

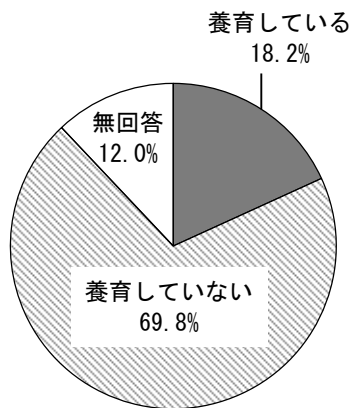
①性別



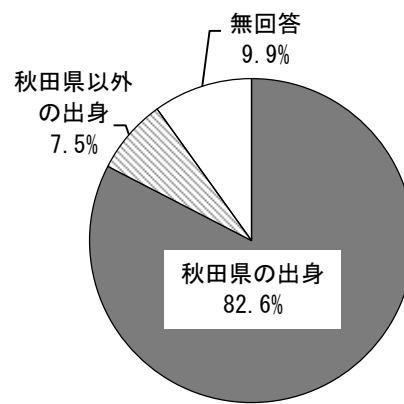
②年齢



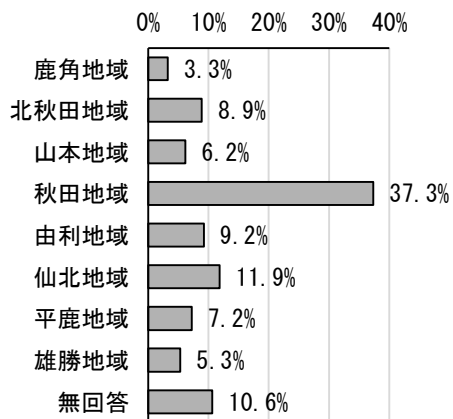
③18歳未満の子の有無



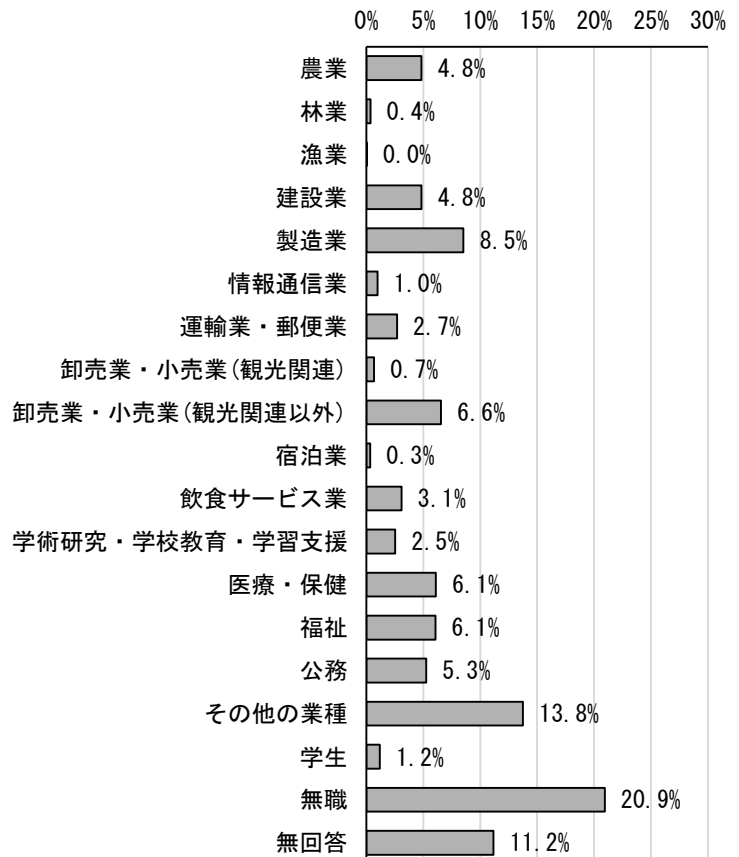
④出身



⑤居住地域



⑥職業



8 標本抽出方法

(1) 層化及び標本数の配分

調査対象を県内 25 市町村で層化し、各市町村の満 18 歳以上の人口（令和 7 年 10 月 1 日現在）の構成比に応じて 5,000 の標本を比例分配した。

地域名	NO	市町村名	18 歳以上人口 (R7. 10. 1 現在)	18 歳以上人口 構成比	調査地点 人口按分
		県 計	782,350	100.0%	5,000
鹿角地域	1	鹿角市	22,826	2.9%	146
	2	小坂町	3,827	0.5%	24
北秋田地域	3	大館市	56,328	7.2%	360
	4	北秋田市	24,086	3.1%	154
	5	上小阿仁村	1,576	0.2%	10
山本地域	6	能代市	40,543	5.2%	259
	7	藤里町	2,269	0.3%	15
	8	三種町	12,054	1.5%	77
	9	八峰町	5,233	0.7%	33
秋田地域	10	秋田市	257,028	32.9%	1,642
	11	男鹿市	19,952	2.6%	128
	12	潟上市	26,599	3.4%	170
	13	五城目町	6,725	0.9%	43
	14	八郎潟町	4,587	0.6%	29
	15	井川町	3,691	0.5%	24
	16	大潟村	2,426	0.3%	16
由利地域	17	由利本荘市	60,986	7.8%	390
	18	にかほ市	19,101	2.4%	122
仙北地域	19	大仙市	62,765	8.0%	401
	20	仙北市	19,522	2.5%	125
	21	美郷町	14,881	1.9%	95
平鹿地域	22	横手市	68,537	8.8%	438
雄勝地域	23	湯沢市	33,707	4.3%	215
	24	羽後町	10,895	1.4%	70
	25	東成瀬村	2,206	0.3%	14

(2) 報告書の見方

母集団全体の中から一部を抽出する標本調査では、母集団全体を対象に行った調査と比べ、何らかの誤差が生ずる。本調査では信頼係数を95%と設定しており、誤差は以下の式で得られる。第3部では点推定値を掲載しているが、以上のような誤差をもっている。

①回答割合の誤差	N=母集団数
標本誤差= $1.96 \times \sqrt{p(1-p)/n}$	n=標本数
②回答結果の平均値の誤差	s=標本標準偏差
標本誤差= $1.96 \times s/\sqrt{n}$	p=回答比率

①の回答割合に関しては、本調査における誤差の早見表を以下に記載する。この表では、例えば、「全体」の50%から「十分」という回答比率が得られた間について、繰り返し標本を抽出し推定を何度も行った場合、95%の確率で母割合（全県民が「十分」と考える割合）を50%±1.9%の範囲内に含むことを表している。また、100回中95回は誤差を含めた範囲内に母割合を含むが、5回は含まないときがある。

回答割合の誤差の早見表

項目名	N：母集団数 (人)	n：回答者数 (人)	p：回答比率 (%)				
			10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
全体	782,350	2,640	1.1	1.5	1.7	1.9	1.9
年代別							
18～39歳	139,545	399	2.9	3.9	4.5	4.8	4.9
40～59歳	226,847	891	2.0	2.6	3.0	3.2	3.3
60歳以上	415,958	1100	1.8	2.4	2.7	2.9	3.0

※無回答の250人を含むため、年代別の計と一致しない。

②の回答結果の平均値に関し、誤差を考慮した区間推定結果を以下に掲載する。この推定の精度は、繰り返し標本を抽出し推定を何度も行った場合に95%の確率で母平均（母集団である全県民の回答の平均値）をその範囲内に含む程度であり、100回中95回は信頼区間の中に母平均を含むが、5回は含まないときがある。

回答結果の平均値の区間推定

質問No.	全体			年代別							
				18～39歳		40～59歳		60歳以上			
	標本平均値	信頼区間	標本平均値	信頼区間	標本平均値	信頼区間	標本平均値	信頼区間			
1-1	1.97	1.94 ～ 2.00	1.99	1.44 ～ 2.54	2.04	1.67 ～ 2.42	1.92	1.87 ～ 1.96			
1-2	1.97	1.95 ～ 2.00	1.87	1.35 ～ 2.39	1.88	1.53 ～ 2.23	2.07	2.03 ～ 2.12			
1-3	1.86	1.83 ～ 1.88	1.97	1.43 ～ 2.50	1.83	1.46 ～ 2.19	1.85	1.81 ～ 1.89			
1-4	2.27	2.25 ～ 2.30	2.32	1.79 ～ 2.84	2.25	1.90 ～ 2.59	2.28	2.24 ～ 2.33			
1-5	2.35	2.32 ～ 2.38	2.56	2.02 ～ 3.10	2.31	1.94 ～ 2.69	2.31	2.26 ～ 2.35			
1-6	2.29	2.26 ～ 2.31	2.49	1.97 ～ 3.00	2.26	1.90 ～ 2.61	2.23	2.19 ～ 2.28			
1-7	2.64	2.61 ～ 2.66	2.96	2.46 ～ 3.47	2.78	2.44 ～ 3.12	2.43	2.39 ～ 2.47			
1-8	3.11	3.08 ～ 3.13	3.35	2.84 ～ 3.86	3.18	2.84 ～ 3.52	2.98	2.94 ～ 3.02			
1-9	2.66	2.64 ～ 2.69	2.77	2.25 ～ 3.29	2.68	2.34 ～ 3.02	2.61	2.57 ～ 2.65			
1-10	2.79	2.77 ～ 2.82	3.02	2.50 ～ 3.53	2.85	2.51 ～ 3.20	2.69	2.65 ～ 2.73			
1-11	1.91	1.88 ～ 1.93	2.05	1.54 ～ 2.55	1.78	1.44 ～ 2.11	1.94	1.90 ～ 1.98			
1-12	2.30	2.28 ～ 2.33	2.35	1.83 ～ 2.86	2.24	1.90 ～ 2.58	2.34	2.30 ～ 2.38			
1-13	2.73	2.71 ～ 2.76	3.04	2.51 ～ 3.58	2.75	2.40 ～ 3.11	2.63	2.58 ～ 2.67			
1-14	2.59	2.56 ～ 2.62	3.04	2.44 ～ 3.63	2.66	2.27 ～ 3.04	2.42	2.37 ～ 2.46			
1-15	2.34	2.30 ～ 2.37	2.70	2.09 ～ 3.32	2.36	1.96 ～ 2.76	2.19	2.15 ～ 2.23			
1-16	2.08	2.05 ～ 2.11	2.47	1.88 ～ 3.06	2.04	1.67 ～ 2.41	1.98	1.94 ～ 2.02			
1-17	2.18	2.15 ～ 2.21	2.14	1.61 ～ 2.67	2.09	1.74 ～ 2.44	2.26	2.22 ～ 2.30			
1-18	2.86	2.83 ～ 2.89	3.04	2.46 ～ 3.62	2.85	2.48 ～ 3.21	2.84	2.79 ～ 2.88			
1-19	2.28	2.25 ～ 2.31	2.33	1.74 ～ 2.92	2.23	1.84 ～ 2.61	2.31	2.26 ～ 2.35			
1-20	2.34	2.31 ～ 2.37	2.44	1.82 ～ 3.07	2.27	1.87 ～ 2.68	2.35	2.31 ～ 2.40			
1-21	2.08	2.05 ～ 2.11	2.12	1.56 ～ 2.68	2.00	1.64 ～ 2.37	2.12	2.07 ～ 2.16			
1-22	2.71	2.68 ～ 2.73	3.01	2.50 ～ 3.51	2.58	2.25 ～ 2.91	2.71	2.67 ～ 2.75			
1-23	2.75	2.73 ～ 2.78	3.04	2.52 ～ 3.57	2.63	2.29 ～ 2.98	2.76	2.73 ～ 2.80			
1-24	2.91	2.88 ～ 2.93	2.82	2.30 ～ 3.35	2.79	2.44 ～ 3.14	3.03	2.99 ～ 3.07			
1-25	2.49	2.46 ～ 2.52	2.58	2.03 ～ 3.13	2.34	1.97 ～ 2.70	2.58	2.54 ～ 2.63			
1-26	2.52	2.49 ～ 2.54	2.60	2.07 ～ 3.12	2.40	2.04 ～ 2.76	2.59	2.55 ～ 2.63			
1-27	3.03	3.00 ～ 3.05	3.08	2.55 ～ 3.61	3.00	2.65 ～ 3.35	3.05	3.00 ～ 3.09			
1-28	2.83	2.81 ～ 2.86	2.91	2.35 ～ 3.47	2.77	2.41 ～ 3.14	2.86	2.81 ～ 2.91			
1-29	2.82	2.79 ～ 2.85	2.89	2.33 ～ 3.46	2.77	2.40 ～ 3.14	2.85	2.80 ～ 2.90			
1-30	2.76	2.73 ～ 2.79	2.85	2.27 ～ 3.43	2.74	2.35 ～ 3.12	2.76	2.71 ～ 2.81			
1-31	2.58	2.55 ～ 2.61	2.75	2.21 ～ 3.29	2.50	2.14 ～ 2.87	2.62	2.57 ～ 2.66			
1-32	2.79	2.77 ～ 2.82	2.95	2.44 ～ 3.46	2.79	2.45 ～ 3.13	2.77	2.73 ～ 2.81			
1-33	2.84	2.81 ～ 2.87	2.95	2.44 ～ 3.46	2.83	2.48 ～ 3.17	2.83	2.79 ～ 2.87			
1-34	2.57	2.54 ～ 2.59	2.65	2.14 ～ 3.17	2.50	2.16 ～ 2.84	2.58	2.54 ～ 2.62			
1-35	2.33	2.30 ～ 2.35	2.52	1.99 ～ 3.04	2.24	1.88 ～ 2.59	2.32	2.28 ～ 2.36			
1-36	2.33	2.30 ～ 2.35	2.42	1.91 ～ 2.92	2.25	1.92 ～ 2.59	2.34	2.30 ～ 2.38			
1-37	3.24	3.21 ～ 3.27	3.43	2.92 ～ 3.94	3.29	2.95 ～ 3.63	3.16	3.12 ～ 3.20			
1-38	2.73	2.69 ～ 2.76	2.85	2.19 ～ 3.51	2.72	2.31 ～ 3.14	2.70	2.65 ～ 2.74			
1-39	3.00	2.97 ～ 3.03	3.08	2.56 ～ 3.60	2.99	2.64 ～ 3.34	2.97	2.93 ～ 3.01			
1-40	3.35	3.33 ～ 3.38	3.64	3.13 ～ 4.14	3.40	3.06 ～ 3.75	3.24	3.20 ～ 3.28			
1-41	3.12	3.09 ～ 3.15	3.44	2.88 ～ 3.99	3.12	2.74 ～ 3.50	3.02	2.97 ～ 3.06			
1-42	2.67	2.64 ～ 2.69	2.69	2.17 ～ 3.22	2.61	2.24 ～ 2.97	2.70	2.65 ～ 2.74			

第 2 部 調査結果の概要

1 第1章 「秋田県総合計画～秋田再興への第一歩～」について（P19～48）

「秋田県総合計画～秋田再興への第一歩～」の8つの政策の各施策に関連する項目について、「十分（5）」～「不十分（1）」及び「わからない（N）」の中から1つを選択する形式で満足度の状況等を調査した。

			満足度	回答の割合（％）						
				十分 （5）	（4）	（3）	（2）	不十分 （1）	わからない （N）	無回答
政策 1	1	県外からの移住が進んでいる	1.97	0.9	2.7	17.2	29.5	27.6	21.3	0.9
	2	若者の県内就職が進んでいる	1.97	0.6	3.8	18.8	35.1	30.8	10.0	0.8
	3	出会いや結婚の希望がかなえられる環境づくりが進んでいる	1.86	0.3	1.7	15.0	35.0	31.6	15.6	0.8
	4	安心して出産・子育てできる環境づくりが進んでいる	2.27	1.1	7.8	29.2	28.4	23.4	9.2	0.8
	5	多様性が尊重される地域社会づくりが進んでいる	2.35	1.7	5.0	28.9	26.6	16.4	20.6	0.8
	6	女性や若者が自分らしく活躍できる環境づくりが進んでいる	2.29	1.1	6.1	29.0	31.6	19.4	12.0	0.9
政策 2	7	四季の魅力を活かし国内外からの観光誘客が進んでいる	2.64	2.5	15.8	33.9	25.0	14.5	7.5	0.8
	8	日本酒や発酵食品など「あきたの食」のブランド化と販路拡大が進んでいる	3.11	4.9	26.2	40.1	15.3	5.5	7.3	0.7
	9	スポーツを通じて地域に誇りと賑わいがもたらされている	2.66	2.0	14.3	37.4	25.9	11.6	8.1	0.7
	10	県民が文化芸術に親しむことのできる環境が整備されている	2.79	3.1	16.7	39.2	22.6	9.6	7.8	0.9
	11	バスや地域鉄道など日常生活を支える地域公共交通の維持・活性化が図られている	1.91	0.9	4.0	19.6	31.8	39.2	3.9	0.6
	12	幹線鉄道や航空など県内外との交流を支える広域交通網の整備が進んでいる	2.30	1.9	8.0	30.2	29.6	23.5	6.0	0.8
政策 3	13	収益性の高い持続可能な農業の実現により、日本の食を支えている	2.73	3.0	14.3	36.1	21.3	10.9	13.2	1.2
	14	森林資源の循環利用が進み、林業・木材産業が発展している	2.59	2.0	9.5	30.3	22.8	10.9	23.2	1.2
	15	海洋環境の変化に対応するための新たな取組により、持続可能な水産業が発展している	2.34	0.5	4.3	25.2	28.3	11.7	28.7	1.3
	16	地域資源の活用等を通じて、農山漁村が活性化している	2.08	0.5	3.0	20.3	32.6	21.7	20.5	1.4

			満足度	回答の割合（％）						
				十分 （５）	（４）	（３）	（２）	不十分 （１）	わからない （Ｎ）	無回答
政策 ４	17	人材育成や経営革新など県内企業の経営基盤の強化と賃金水準の向上に向けた取組が進んでいる	2.18	0.5	5.3	26.3	30.5	22.8	13.5	1.1
	18	再生可能エネルギーの導入が拡大している	2.86	3.3	16.1	34.1	18.3	7.6	19.3	1.2
	19	成長産業への県内企業の参入が進んでいる	2.28	0.5	5.6	24.1	28.5	15.7	24.4	1.2
	20	技術開発力の強化など県内企業によるイノベーションが進んでいる	2.34	0.5	4.7	23.9	25.5	12.3	31.8	1.3
	21	人材の流入・定着につながる企業誘致や産業集積が進んでいる	2.08	0.4	4.2	21.3	30.4	24.5	18.1	1.1
政策 ５	22	必要な医療を受けられる体制が整っている	2.71	4.5	18.3	35.3	22.1	16.7	2.4	0.7
	23	高齢者や障害のある方が、必要なサービスや支援を受けながら、住み慣れた地域で安心して生活している	2.75	3.8	16.3	37.9	22.0	12.5	6.8	0.7
	24	健康づくりに対する県民の意識が高まっている	2.91	2.7	20.2	39.9	18.8	7.6	10.1	0.8
	25	障害や難病への県民の理解が進んでいる	2.49	1.4	7.8	33.2	25.3	13.3	18.1	0.9
	26	相談体制や支援の充実により、地域や社会から孤立することなく、安心して生活できる社会づくりが進んでいる	2.52	1.5	8.6	36.5	25.8	13.8	12.9	0.9
政策 ６	27	こどもが健やかに育ち、自ら学ぶ意欲を持てる教育環境が整備されている	3.03	4.2	21.9	39.3	12.9	7.6	13.5	0.6
	28	キャリア教育やデジタル教育など、これからの時代をたくましく生き抜くための力が育てられている	2.83	2.1	14.4	37.6	15.8	7.8	21.6	0.7
	29	こども一人ひとりの教育的ニーズに応じた質の高い学びが提供されている	2.82	2.5	14.0	34.1	16.7	7.9	24.1	0.6
	30	県内の大学等による教育・研究を通じた地域貢献が進んでいる	2.76	2.0	13.0	30.6	19.1	7.8	26.6	0.8
	31	県民誰もが生涯を通じて学ぶことのできる環境が整っている	2.58	2.3	9.5	33.5	22.6	12.6	18.7	0.8
政策 ７	32	大雨、地震等の自然災害への対策が進んでいる	2.79	2.6	18.4	40.7	21.1	10.9	5.7	0.6
	33	防災力の強化に向けた自助・共助の意識が高まっている	2.84	2.5	18.5	41.9	20.4	8.9	7.4	0.5
	34	社会経済活動を支える道路等のインフラの整備が進んでいる	2.57	2.0	12.3	37.3	24.7	15.9	7.2	0.6

			満足度	回答の割合（％）						
				十分 (5)	(4)	(3)	(2)	不十分 (1)	わからない (N)	無回答
政 策 7	35	インフラの老朽化への対応など インフラの適切な維持管理が進 められている	2.33	0.9	6.6	30.1	31.9	17.7	12.2	0.6
政 策 8	36	ツキノワグマ等の野生鳥獣の保 護管理と被害防止対策が進んで いる	2.33	2.0	13.7	26.0	24.4	28.6	4.9	0.5
	37	豊かな自然と良好な環境（大気、 水質等）が保全されている	3.24	9.2	25.6	40.4	12.5	4.7	7.0	0.6
	38	カーボンニュートラルの実現に 向けた県民や事業者の取組が進 んでいる	2.73	1.4	7.0	33.6	16.0	5.6	35.5	0.9
	39	犯罪や事故のない地域づくりが 進んでいる	3.00	4.0	20.0	42.3	14.7	6.7	11.8	0.5
	40	食の安全性や良好な衛生環境が 維持されている	3.35	8.3	29.5	42.3	8.1	2.9	8.4	0.5
	41	動物の愛護と適正な飼養が進ん でいる	3.12	4.8	17.5	40.9	9.8	4.1	22.3	0.6
	42	県民生活を支えるデジタル技術 の普及が進んでいる	2.67	1.9	10.3	36.4	21.3	9.7	19.9	0.5

2 第2章 県の特定期課題について（P49～66）

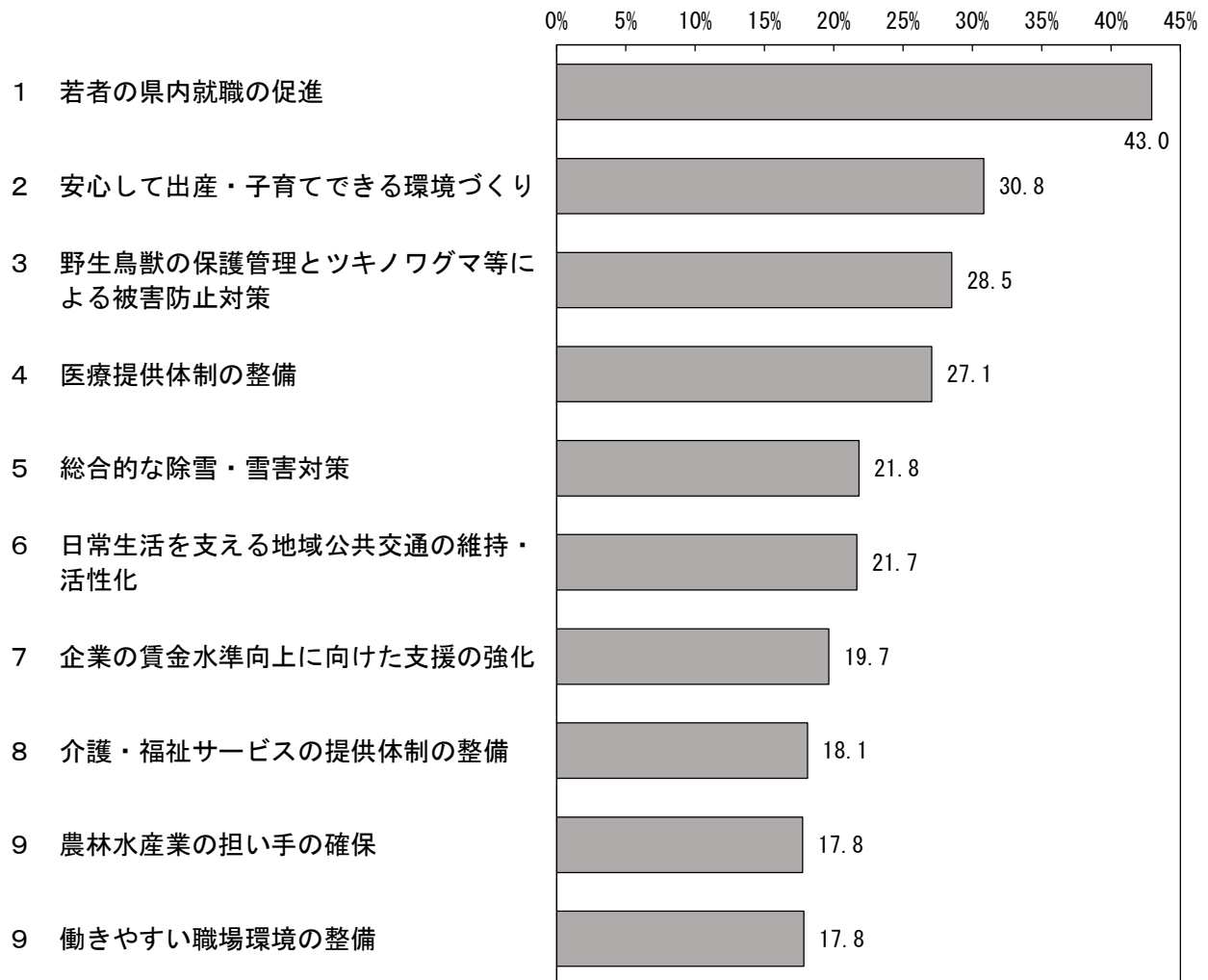
県の特定期課題として、次の9課題について調査した。

- (1) 差別等について
- (2) 男女共同参画について
- (3) 文化芸術の鑑賞・活動について
- (4) 読書活動について
- (5) 環境保全活動について
- (6) 食品ロス問題について
- (7) 社会活動・地域活動について
- (8) 家庭での防災活動について
- (9) 高齢者の社会参加について

3 第3章 県の重要課題について（P67～71）

今後の県政を推進していく上で、「重要課題として県に力を入れてほしいこと」を48の選択肢の中から5つまで選ぶ形式で調査した。

重要課題として県に力を入れてほしいこと（上位10項目）



4 第4章 県政への自由意見について（P72～83）

県に力を入れてほしいことや、取り組むべきだと思うことについて、926 人から 1,407 件の意見が寄せられた。

項番	施 策 名	件数
政策 1	未来づくり	2 1 8
1－1	移住・定住で未来を拓く「あきた暮らし」を実現する	5 4
1－2	出会いから子育てまで希望が持てる社会を実現する	1 0 9
1－3	誰もが自分らしくいられる魅力ある地域社会を構築する	5 5
政策 2	観光・交流	1 8 0
2－1	「心が動くあきたの観光」を実現する	5 3
2－2	「あきたの美酒・美食」のブランド力と販売力を強化する	7
2－3	誇りと賑わいあふれる「スポーツ立県あきた」を実現する	4 3
2－4	文化芸術が紡ぐ彩り豊かな秋田を創り出す	9
2－5	暮らしと交流を支える交通ネットワークを構築する	6 8
政策 3	農林水産	5 6
3－1	日本の食を支える農業を実現する	4 1
3－2	森の恵みを未来へつなぐ林業・木材産業を実現する	5
3－3	環境変化に対応した新たな水産業を実現する	7
3－4	活力あふれる明るい農山漁村を実現する	3
政策 4	産業	1 8 5
4－1	「人への投資」と経営革新により中小企業の経営基盤を強化する	1 1 9
4－2	成長分野への参入とイノベーションの促進により県内企業の挑戦を後押しする	1 3
4－3	人材を呼び込む G X 関連産業等の集積を図る	5 3
政策 5	健康・医療・福祉	8 9
5－1	持続可能な医療・介護サービス提供体制を構築する	5 9
5－2	誰もが健康的に自分らしく暮らせる社会を実現する	2 2
5－3	複雑・多様化する社会課題に対応できる相談・支援体制を整備する	8
政策 6	教育・人づくり	7 1
6－1	全てのこどもの健やかな心身と自ら学ぶ意欲を育てる	2 7
6－2	新時代をたくましく生き抜く力を育てる	1 6
6－3	「こどもまんなか社会」を支える環境を整備する	1 5
6－4	地域社会の発展と産業振興に資する高等教育機関を活性化する	9
6－5	誰もが生涯を通じて学び活躍できる環境を構築する	4
政策 7	防災・減災・県土強靱化	5 1
7－1	気候変動等に対応した災害に強い地域社会を実現する	1 8
7－2	社会経済活動を支えるインフラを強化する	1 2
7－3	持続可能なインフラマネジメントを実現する	2 1
政策 8	環境・暮らし	2 2 6
8－1	豊かな自然と良好な環境を次世代に継承する	1 6 6
8－2	カーボンニュートラル（ネット・ゼロ）の実現に向けた地域社会を形成する	0
8－3	犯罪・事故のない誰もが穏やかで安全に暮らせる地域を実現する	5 4
8－4	快適で質の高い生活環境を実現する	6
その他	県政全般に対する意見・その他	3 3 1
合 計		1, 4 0 7

第 3 部 調査結果の詳細

第1章「秋田県総合計画～秋田再興への第一歩～」について

1 各政策の施策に関連する項目についての満足度（問1）

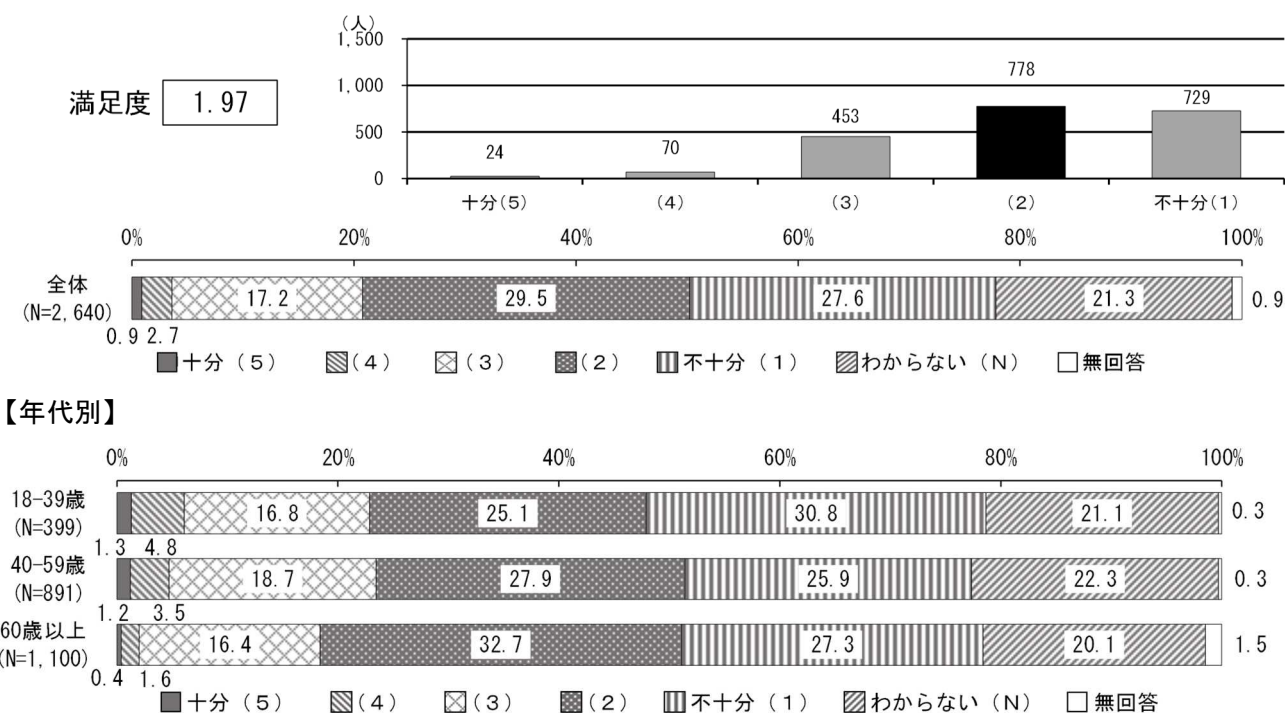
総合計画の各施策に関連する項目について、満足度を「十分（5）」～「不十分（1）」の5段階で質問した。

（1）政策1 未来づくりに関する項目

ア 秋田移住の加速

問1-1 県外からの移住が進んでいる

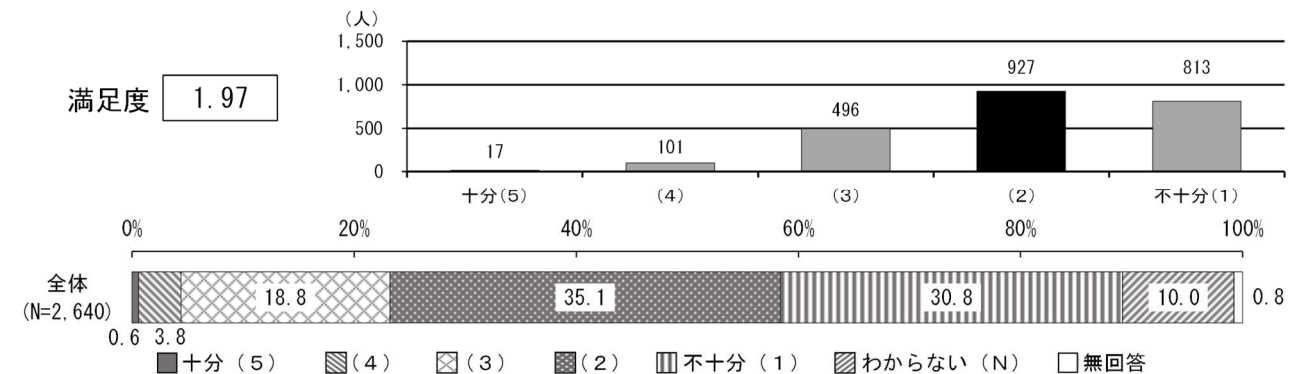
満足度の状況



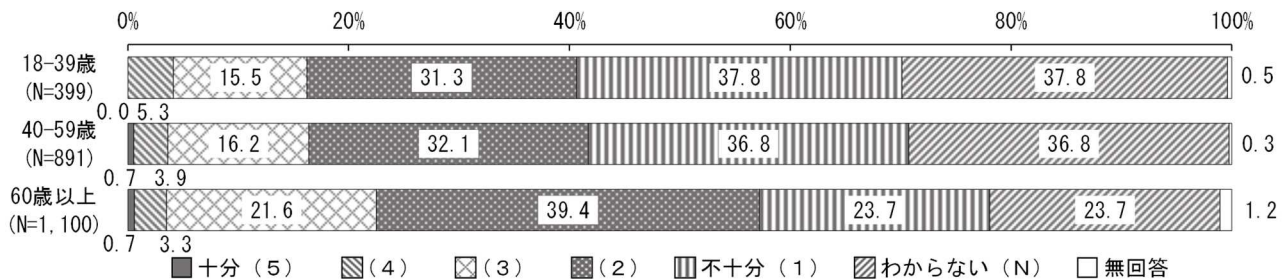
イ 若者の県内就職の促進

問 1-2 若者の県内就職が進んでいる

満足度の状況



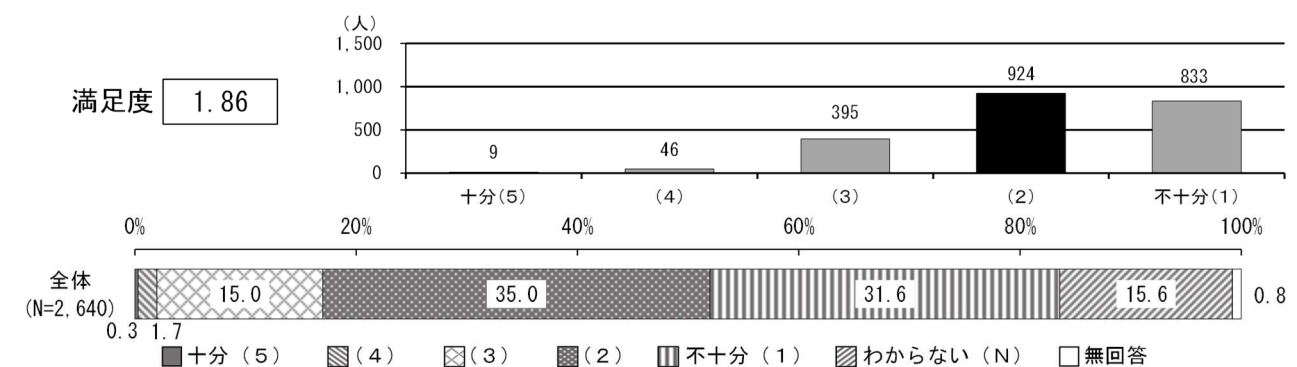
【年代別】



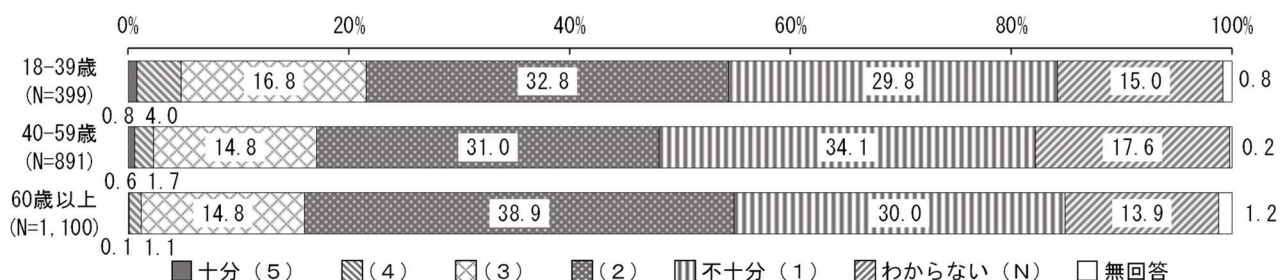
ウ 結婚の希望をかなえる実効性のある支援

問 1-3 出会いや結婚の希望をかなえられる環境づくりが進んでいる

満足度の状況



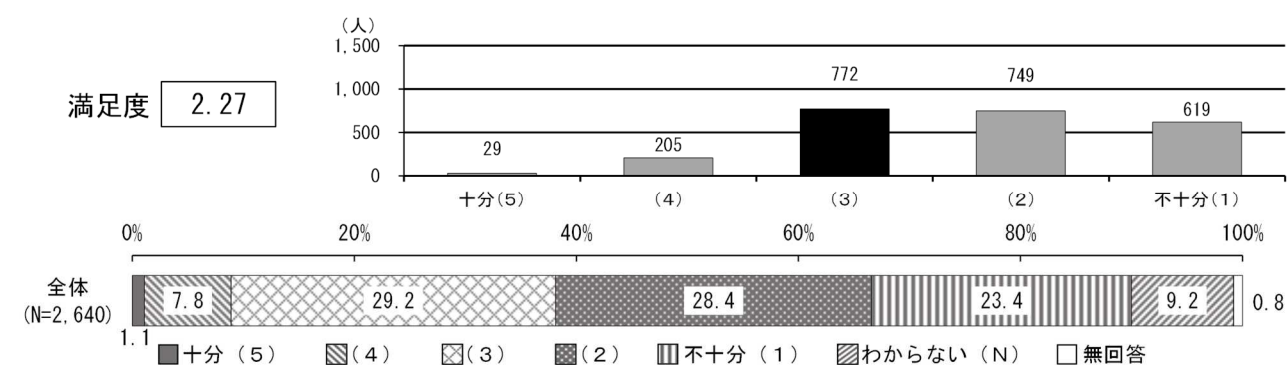
【年代別】



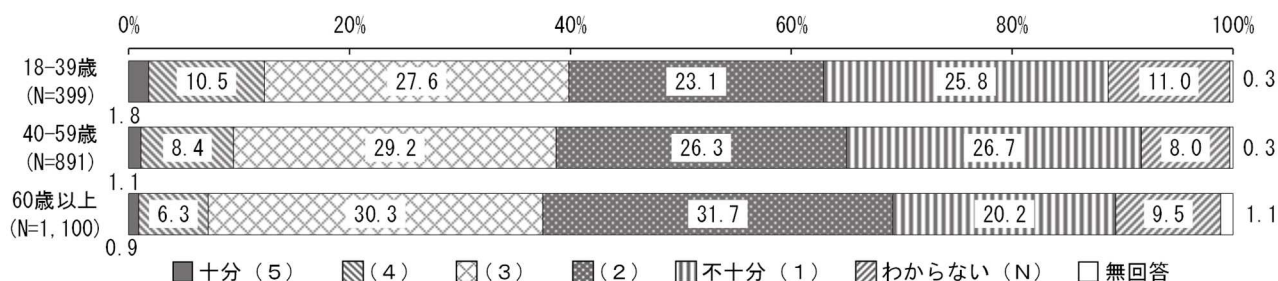
エ 安心して出産できる環境づくり

問 1-4 安心して出産・子育てできる環境づくりが進んでいる

満足度の状況



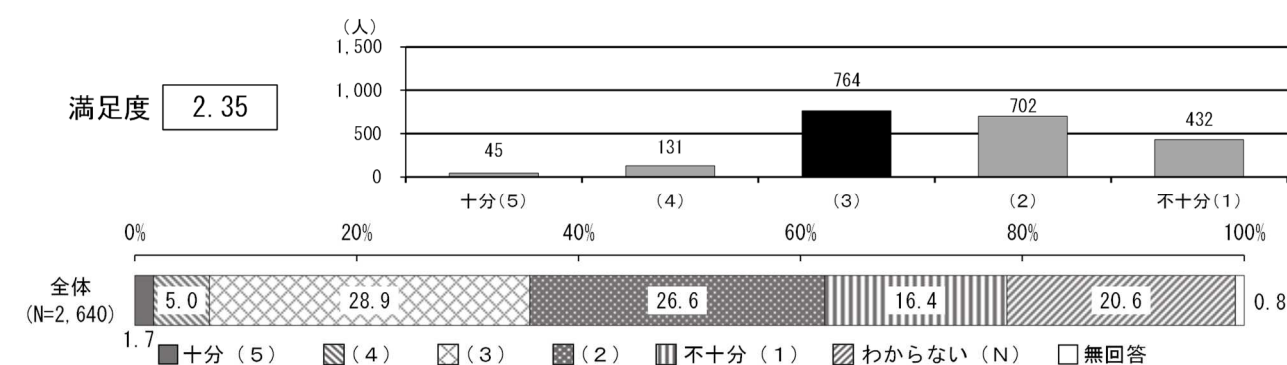
【年代別】



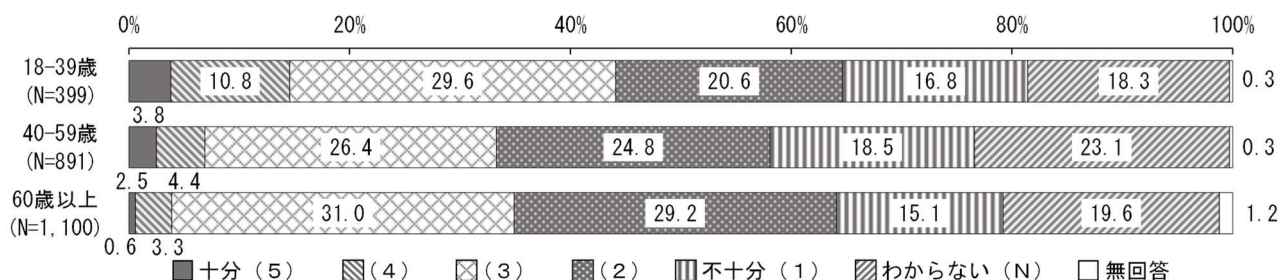
オ 多様性に満ちた社会づくり

問 1-5 多様性が尊重される地域社会づくりが進んでいる

満足度の状況



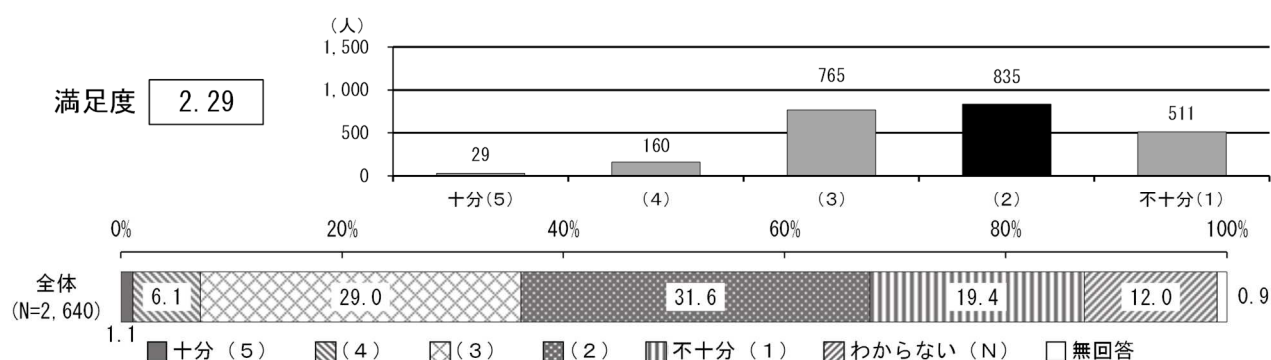
【年代別】



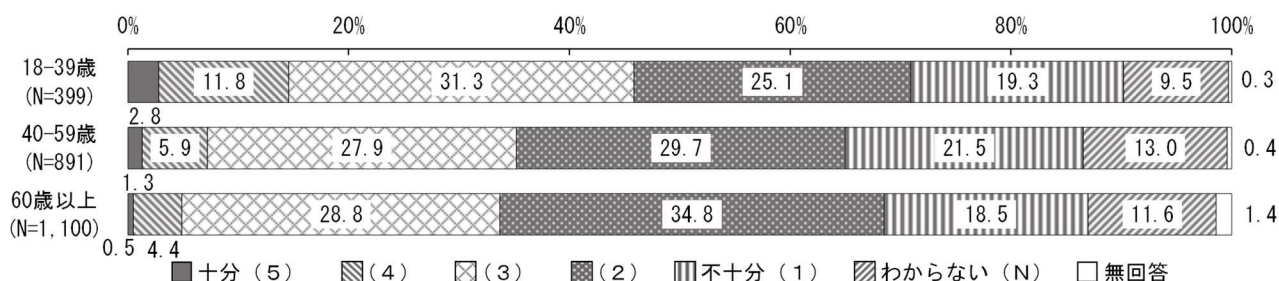
力 若者・女性が自分らしさを発揮できる環境づくり

問 1-6 女性や若者が自分らしく活躍できる環境づくりが進んでいる

満足度の状況



【年代別】



政策 1 未来づくりに関する意見

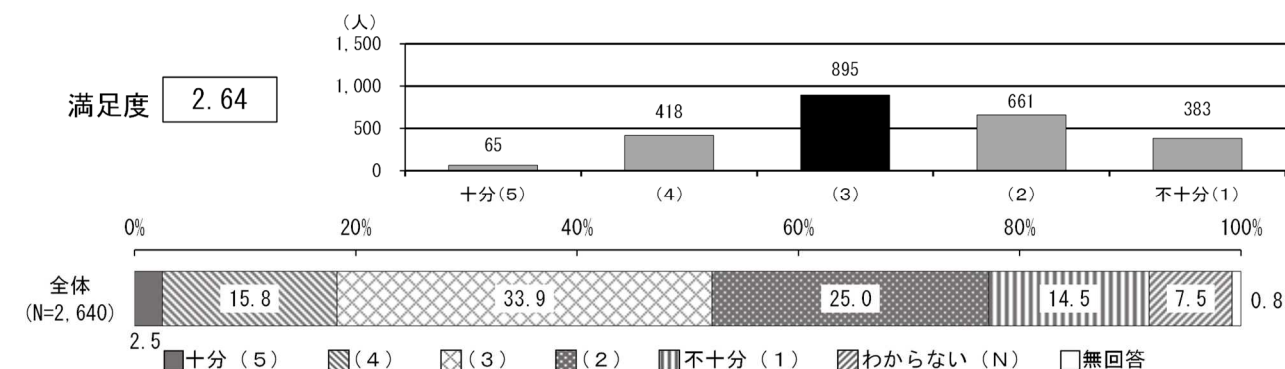
- ・ 県外の大学等に進学した若者たちは、そのまま県外の企業に就職してしまうことが多いように感じる。適性に応じた多様な職場が県内にもあることを高校までの段階で気付かせる機会が必要。(男性／70歳以上／秋田地域)
- ・ 魅力的な仕事が少ないため、移住や若者の就職は厳しい。(男性／30歳代／山本地域)
- ・ 故郷で就職し永住するためには、選べる職や十分な所得が必要だが、不足している。子育て支援や様々な援助は充実していると思う。(女性／40歳代／山本地域)
- ・ 安心して出産・子育てするために必要な産婦人科、小児科が不足している。特に、主要な市以外での不足が顕著である。(男性／60歳代／仙北地域)
- ・ ニュース番組などで若者が活躍している様子を見る機会が多くとても希望を感じる一方、実際の地域社会は古い慣習に対して意見できない特有の空気を感じるが多い。(女性／30歳代／秋田地域)
- ・ 若い世代が安心して暮らせる環境を整えつつ高齢者が増加していく未来も作らなければならないと思う。高齢者とこども、共に安心して暮らせる未来づくりであってほしい。(女性／50歳代／秋田地域)

(2) 政策2 観光・交流に関する項目

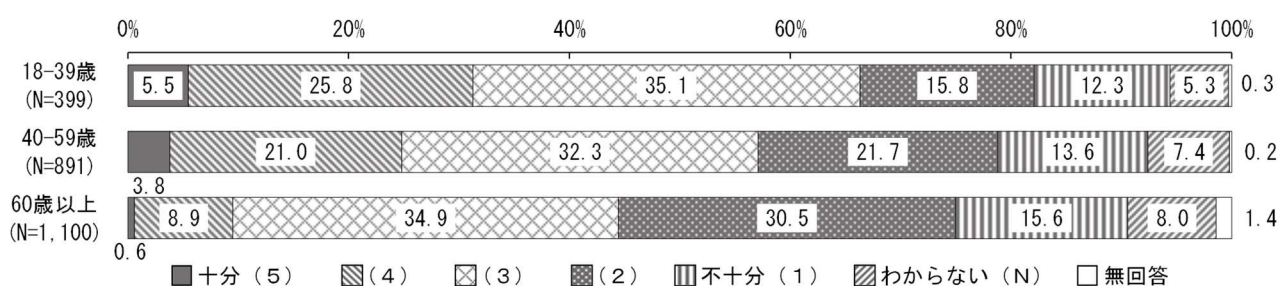
ア 「心が動くあきたの観光」の実現

問 1-7 四季の魅力を活かし国内外からの観光誘客が進んでいる

満足度の状況



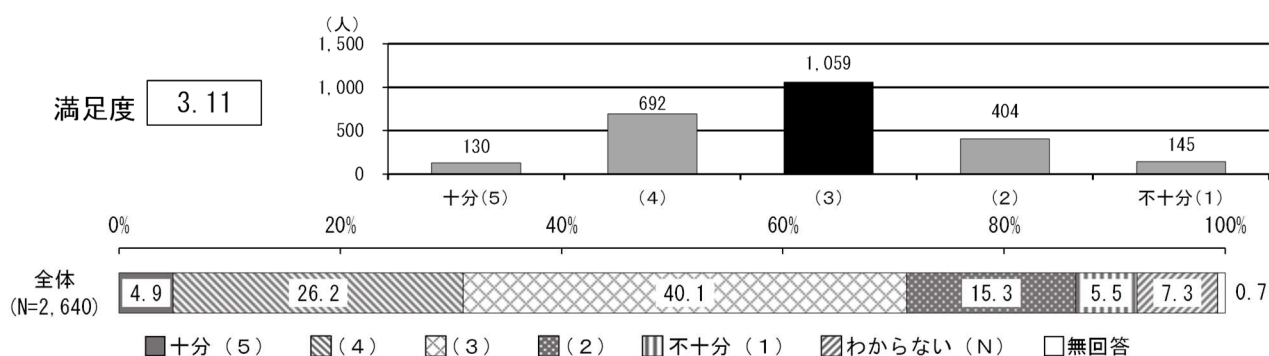
【年代別】



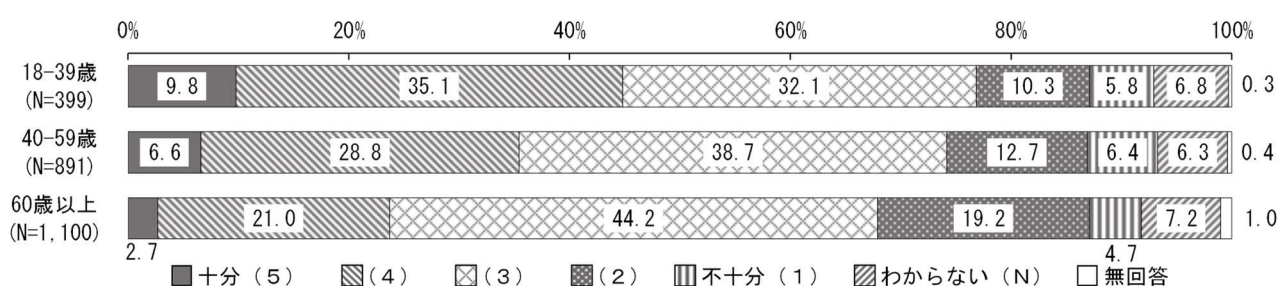
イ 「食」のブランド化と輸出を含めた販路開拓の強化

問 1-8 日本酒や発酵食品など「あきたの食」のブランド化と販路拡大が進んでいる

満足度の状況



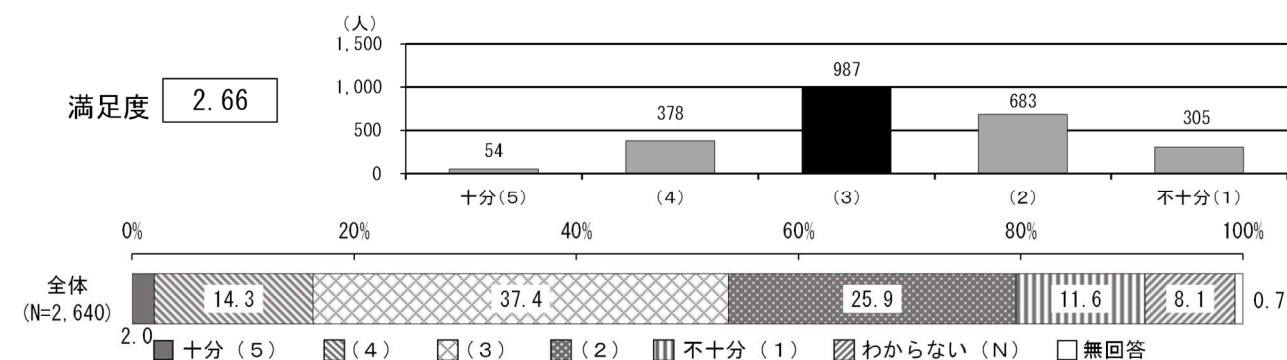
【年代別】



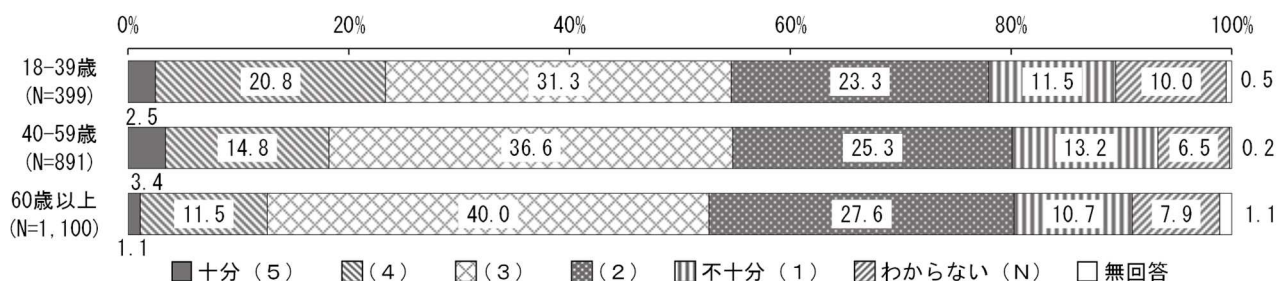
ウ スポーツを通じた地域づくりと交流人口・関係人口の拡大

問 1-9 スポーツを通じて地域に誇りと賑わいがもたらされている

満足度の状況



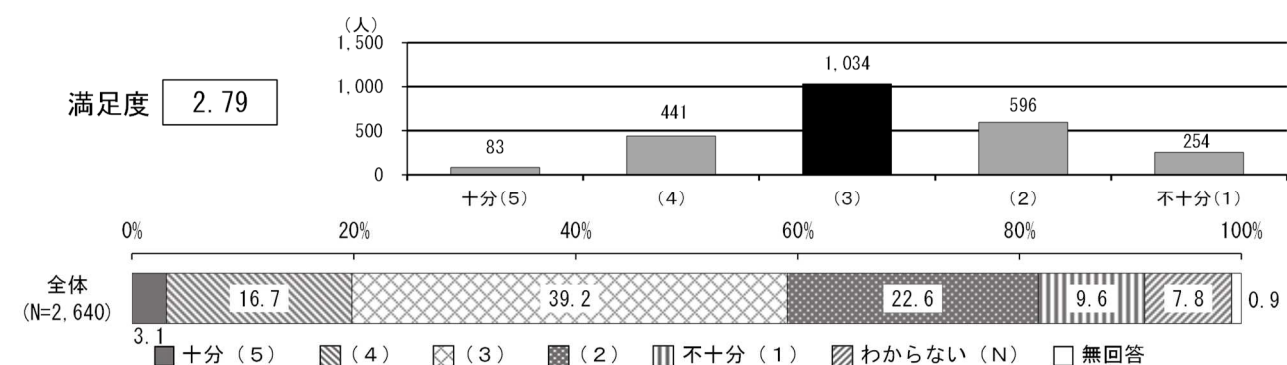
【年代別】



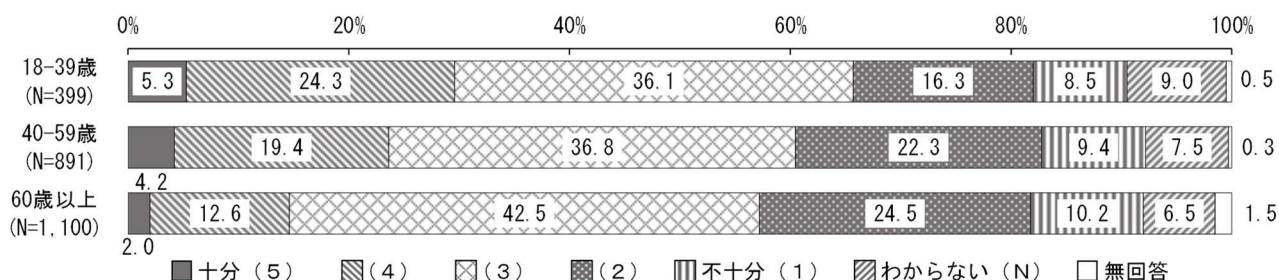
エ 文化芸術が紡ぐ彩り豊かな秋田の創出

問 1-10 県民が文化芸術に親しむことのできる環境が整備されている

満足度の状況



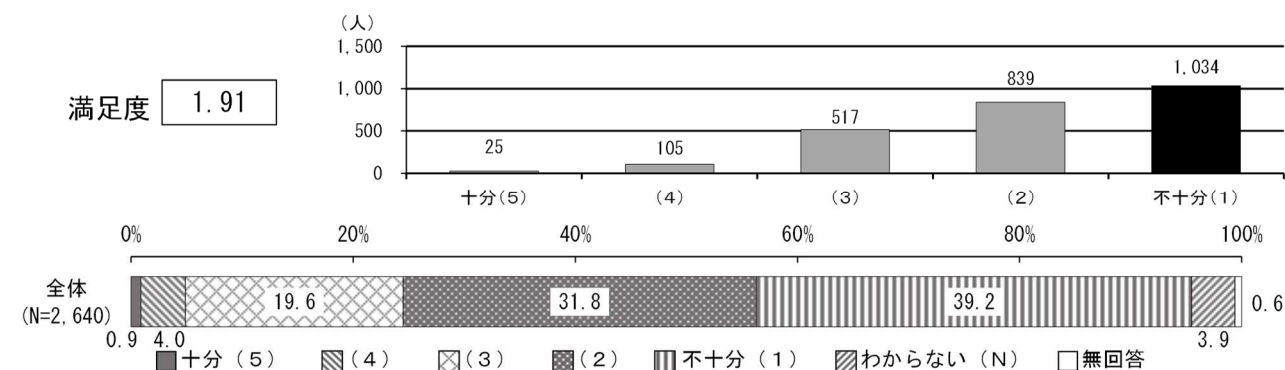
【年代別】



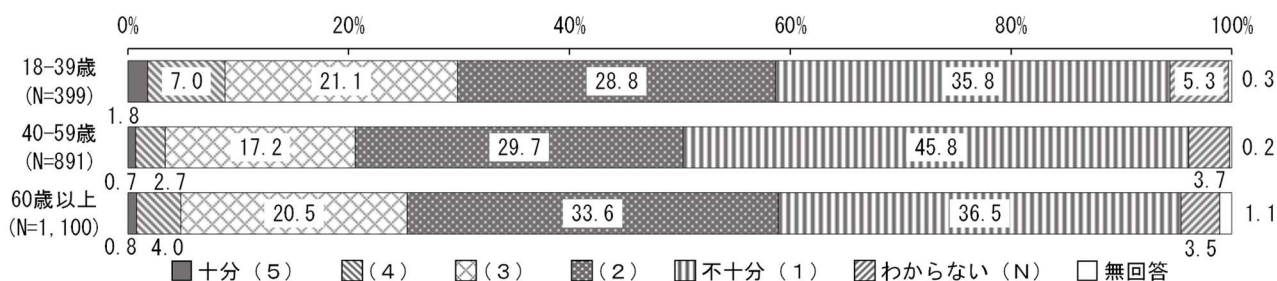
オ 住民が利用しやすい地域公共交通ネットワークの形成

問 1-11 バスや地域鉄道など日常生活を支える地域公共交通の維持・活性化が図られている。

満足度の状況



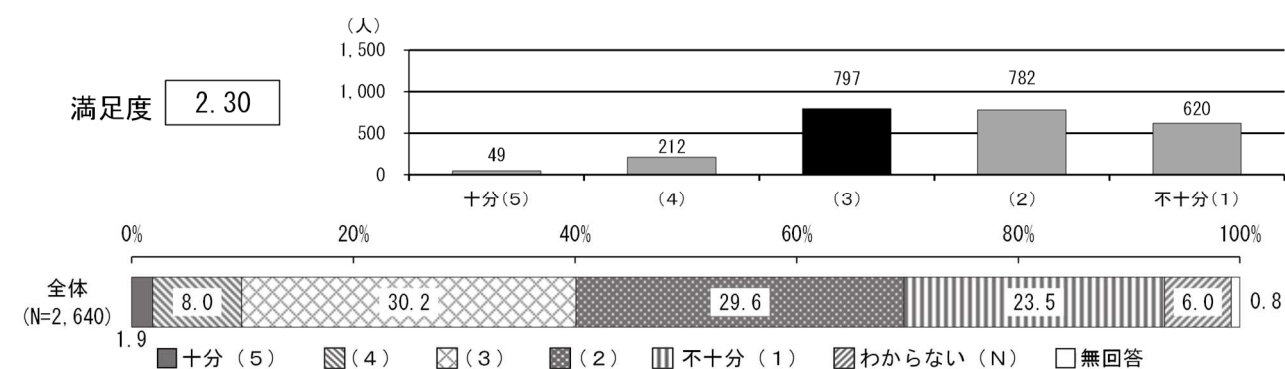
【年代別】



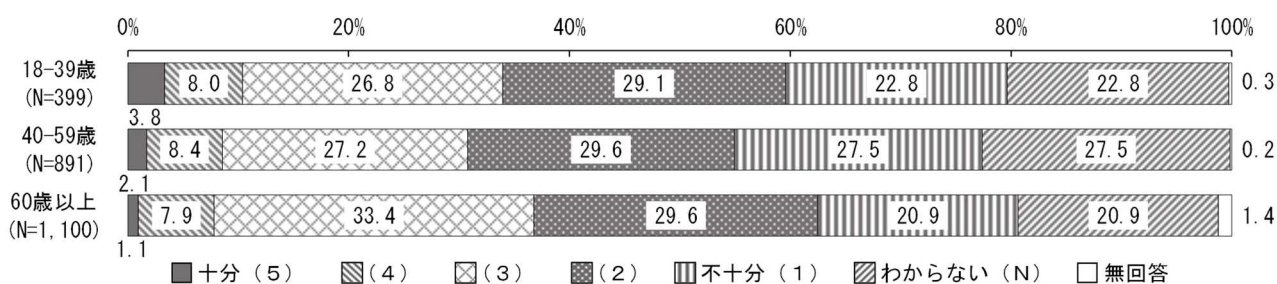
カ 幹線鉄道の整備の促進、フェリー航路・航空路線の維持・拡充

問 1-12 幹線鉄道や航空など県内外との交流を支える広域交通網の整備が進んでいる

満足度の状況



【年代別】



政策2 観光・交流に関する意見

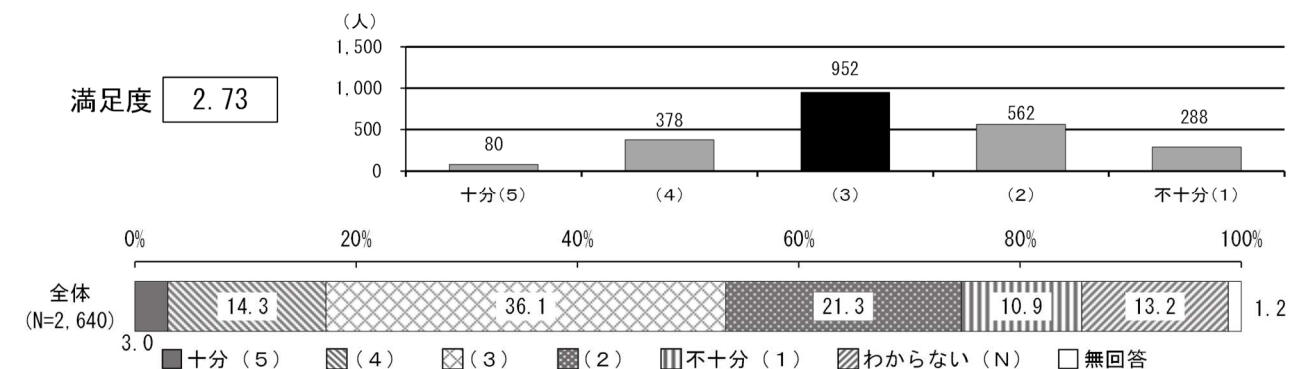
- 素敵な観光地はあるが、一つ一つが離れているため、観光ルートを考えにくい。(女性／50 歳代／秋田地域)
- 宿泊施設が少ないため県外から観光客を呼ぶ態勢が不十分。現代の宿泊スタイルにあった個人や少人数向けの宿を増やすべき。(男性／30 歳代／仙北地域)
- 「あきたの食」について、ポテンシャルはあると思うが、流通量が少ないことが課題であるほか、ブランディング面において隣県に大きく水をあけられている。事例研究が必要。(男性／40 歳代／秋田地域)
- スタジアム建設について、県民の心がスポーツを通じて一つにまとまっていく可能性が大きいと思う。(女性／70 歳以上／秋田地域)
- 県が主催する文学賞、秋田を舞台にした演劇のシナリオ賞や映画を作ってほしい。(女性／40 歳代／秋田地域)
- 公共交通の整備が全く進んでいないと感じる。車がないと行動できず、高齢になった際に移動手段があるのかと不安を感じる。(女性／60 歳代／秋田地域)

(3) 政策3 農林水産に関する項目

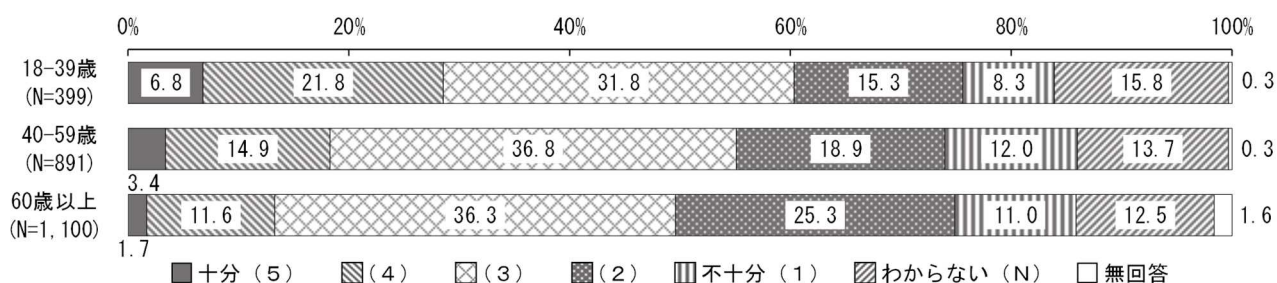
ア 日本の食を支える農業の実現

問 1-13 収益性の高い持続可能な農業の実現により、日本の食を支えている

満足度の状況



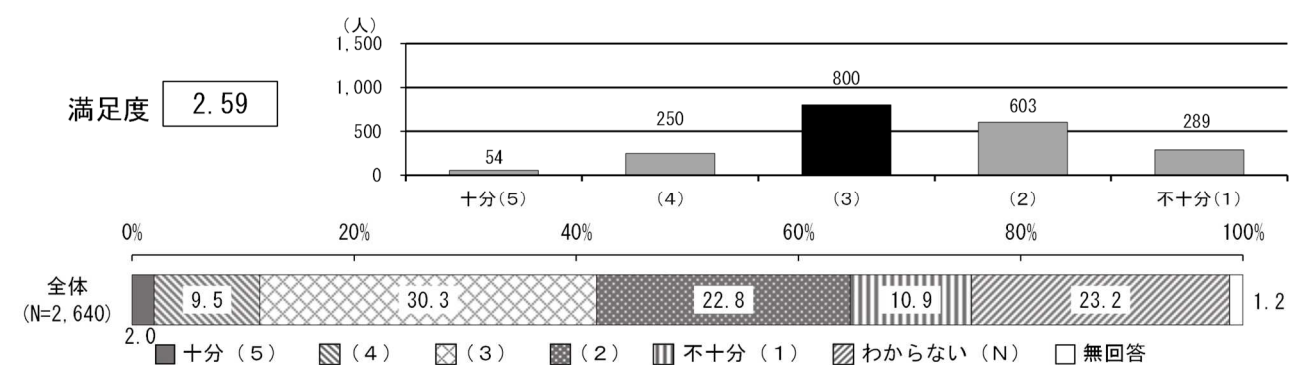
【年代別】



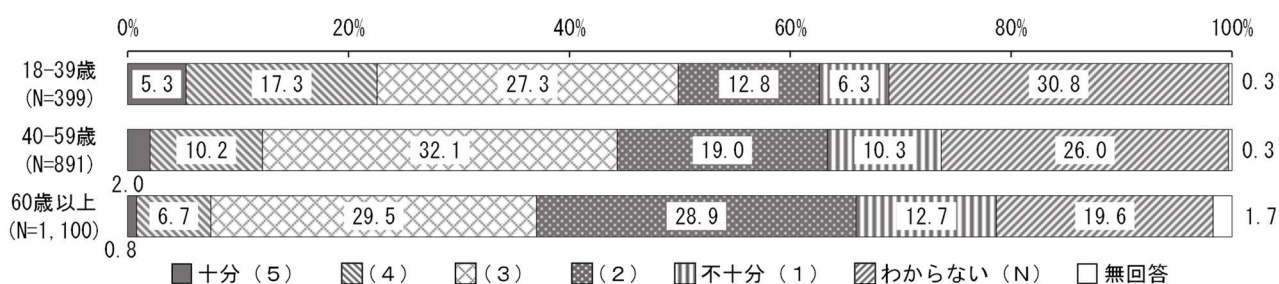
イ 森の恵みを未来へつなぐ林業・木材産業の実現

問 1-14 森林資源の循環利用が進み、林業・木材産業が発展している

満足度の状況



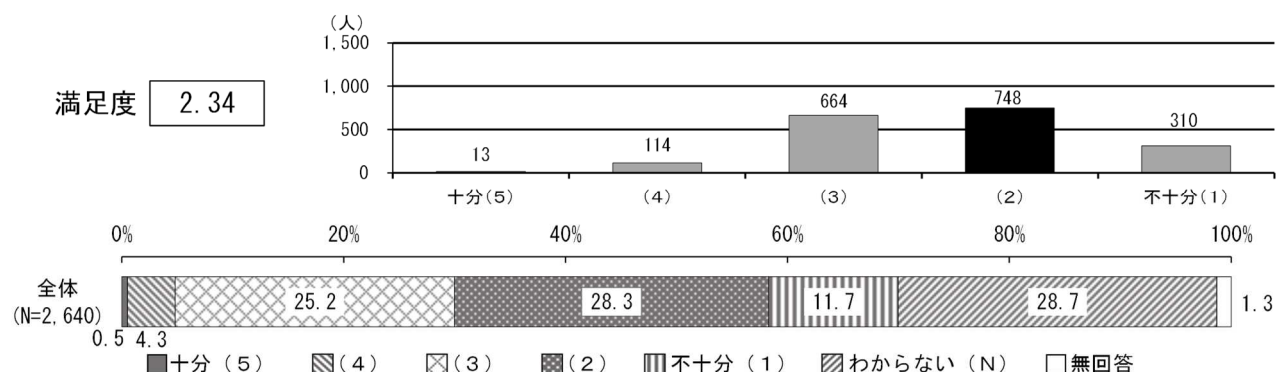
【年代別】



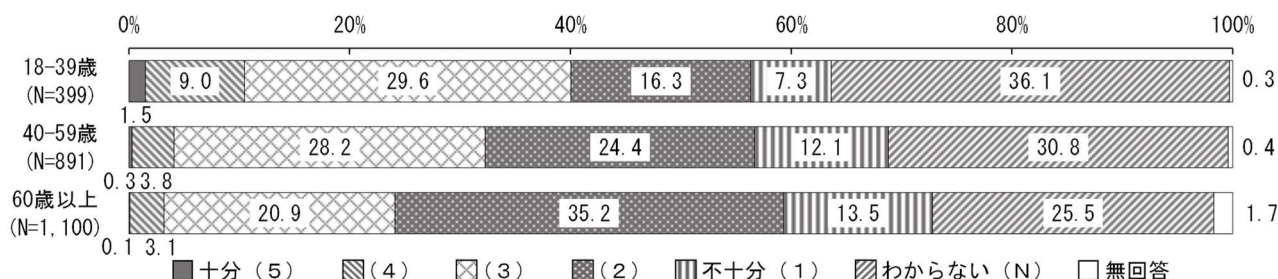
ウ 環境変化に対応した新たな水産業の実現

問 1-15 海洋環境の変化に対応するための新たな取組により、持続可能な水産業が
発展している

満足度の状況



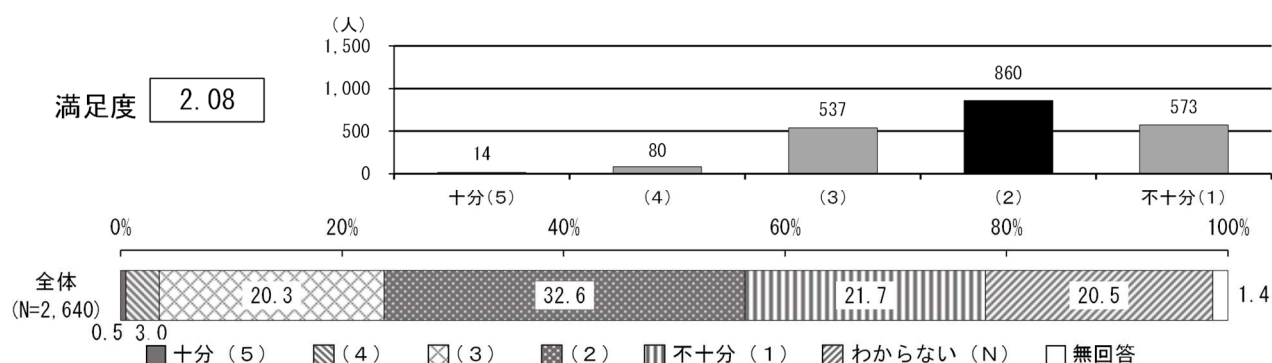
【年代別】



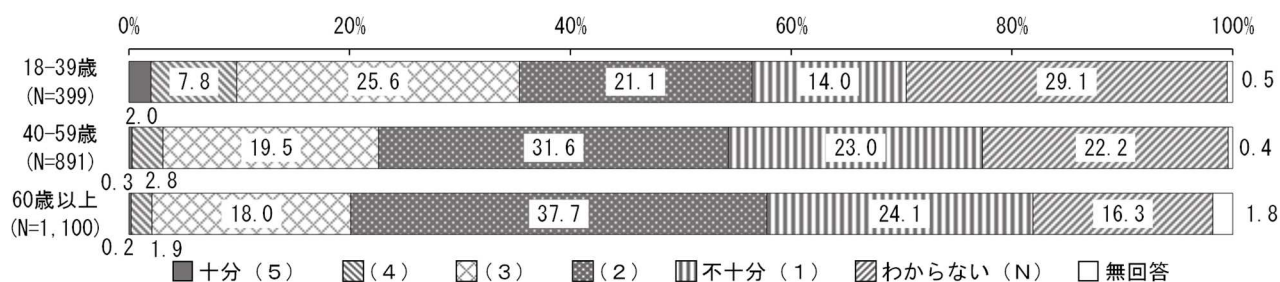
エ 活力あふれる明るい農山漁村の実現

問 1-16 地域資源の活用等を通じて、農山漁村が活性化している

満足度の状況



【年代別】



政策3 農林水産に関する意見

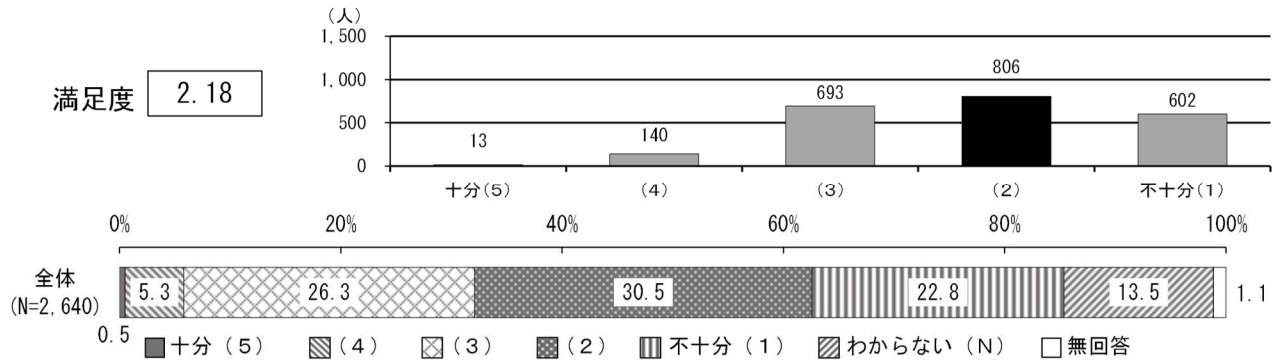
- 農産物について、高いポテンシャルがあるにもかかわらず、魅力発信が足りていないのは非常に残念。単に「美味しい」に甘んじるのではなく、他県に負けない戦略的なブランド構築と発信に注力していただきたい。(男性／30 歳代／秋田地域)
- 秋田には農林水産物の加工場が少ないと思う。各資源の付加価値を高め、高収益につなげる事が重要。(男性／70 歳以上／秋田地域)
- 全国有数の森林資源を持ち、関わる産学官が充実しているので、最も伸び率の高い産業だと思っている。もっと注目されても良い。(男性／70 歳以上／秋田地域)
- 環境の変化で漁業が厳しい状況にある中、採れる魚をブランド化するか、もっと養殖に力を入れていく事も必要なのではないか。(女性／50 歳代／仙北地域)
- 後継者不足が深刻なこの分野において、若い人たちが安心して参入できる安定した基盤づくり、例えば法人化や企業化組織として取り組むことができる産業構造への後押しが必要ではないか。(男性／60 歳代／秋田地域)
- 農業を一から始めたいと思っている若い人への情報発信が必要。聞かないと教えてくれないでは困る。(女性／50 歳代／由利地域)

(4) 政策4 産業に関する項目

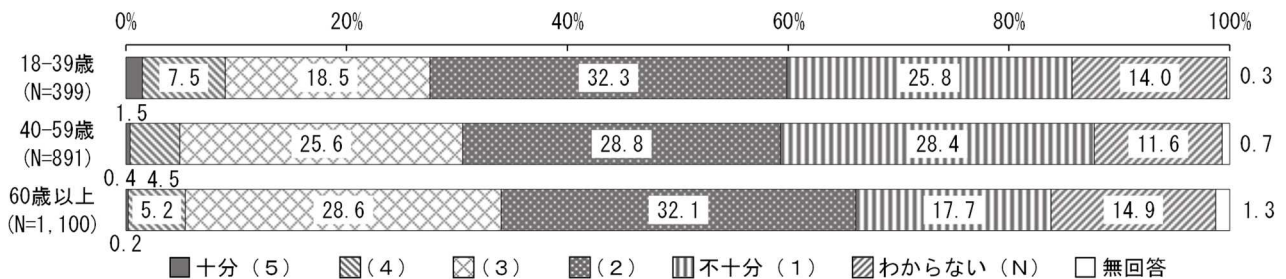
ア 「人への投資」と経営革新による中小企業の経営基盤の強化

問 1-17 人材育成や経営革新など県内企業の経営基盤の強化と賃金水準の向上に向けた取組が進んでいる

満足度の状況



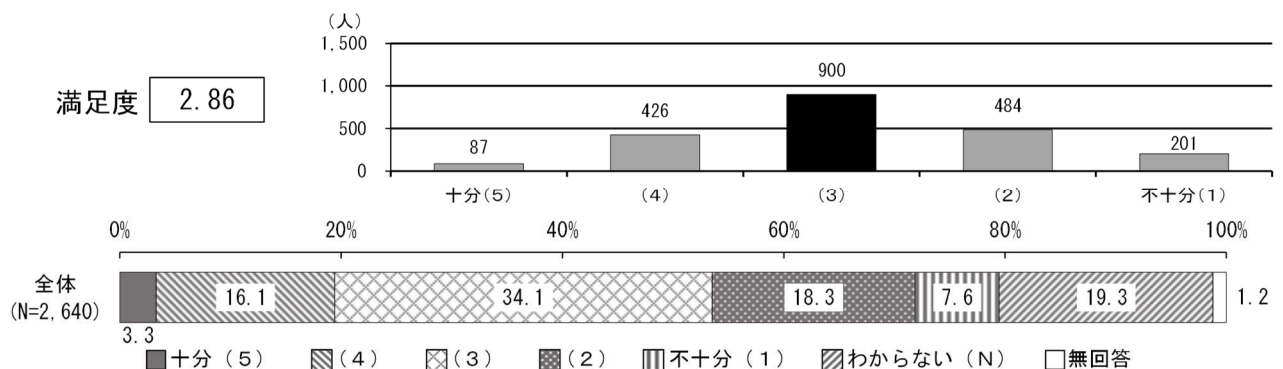
【年代別】



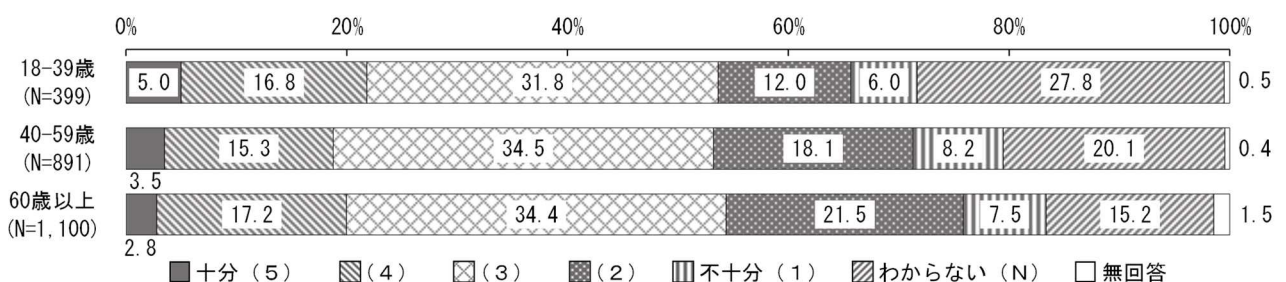
イ 再生可能エネルギーの導入拡大

問 1-18 再生可能エネルギーの導入が拡大している

満足度の状況



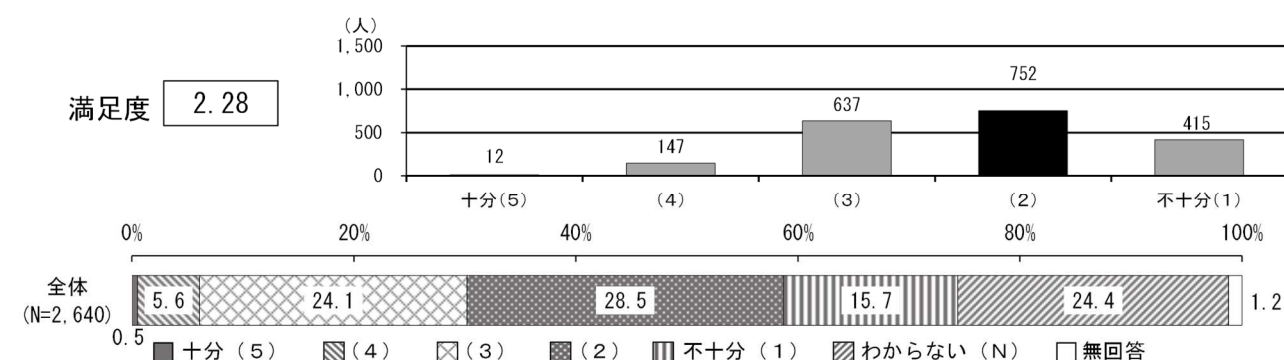
【年代別】



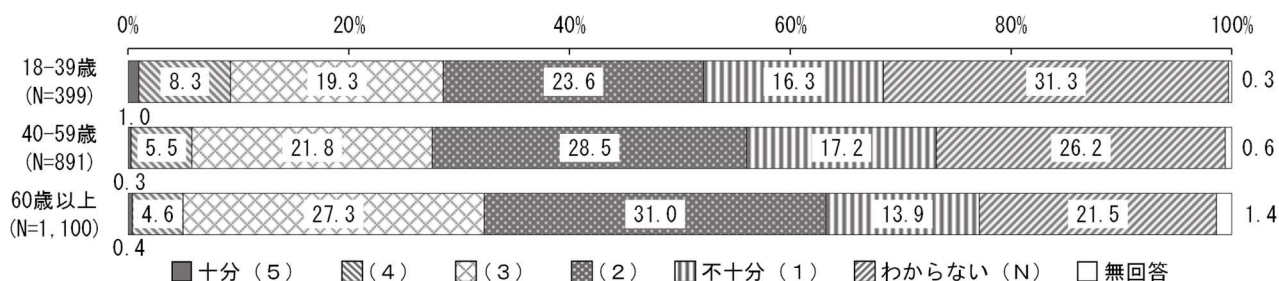
ウ 成長産業への県内企業の参入促進

問 1-19 成長産業への県内企業の参入が進んでいる

満足度の状況



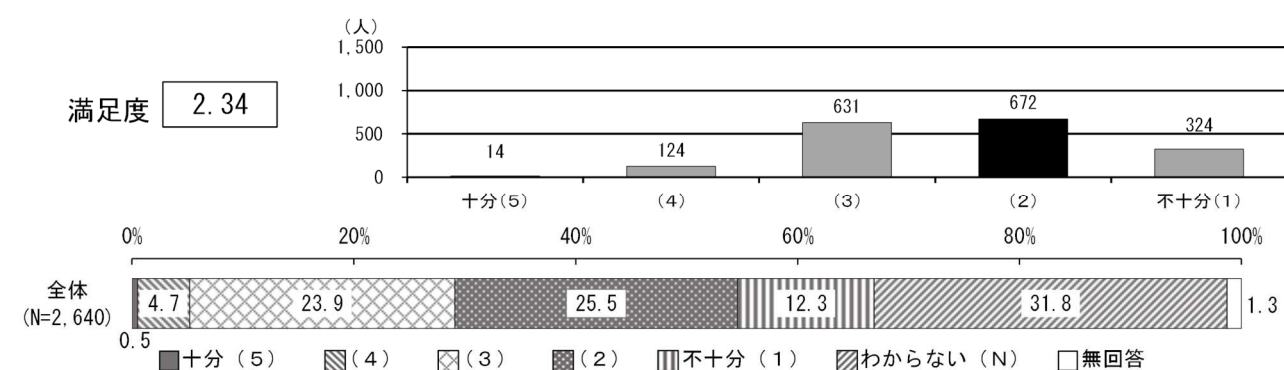
【年代別】



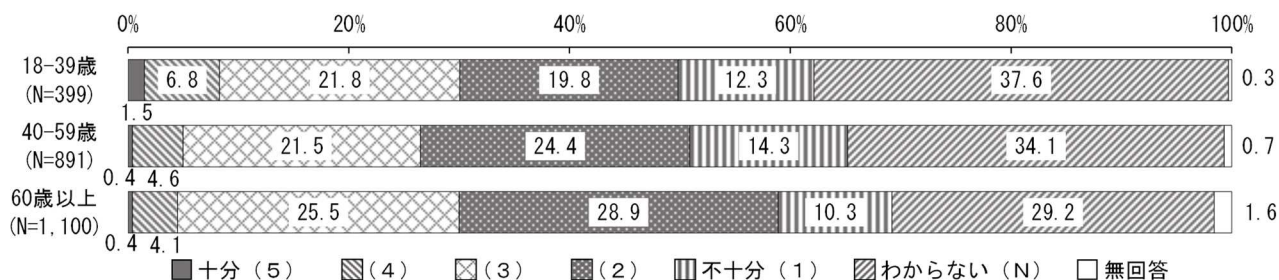
エ 県内企業の技術開発力の強化、イノベーション人材の育成

問 1-20 技術開発力の強化など県内企業によるイノベーションが進んでいる

満足度の状況



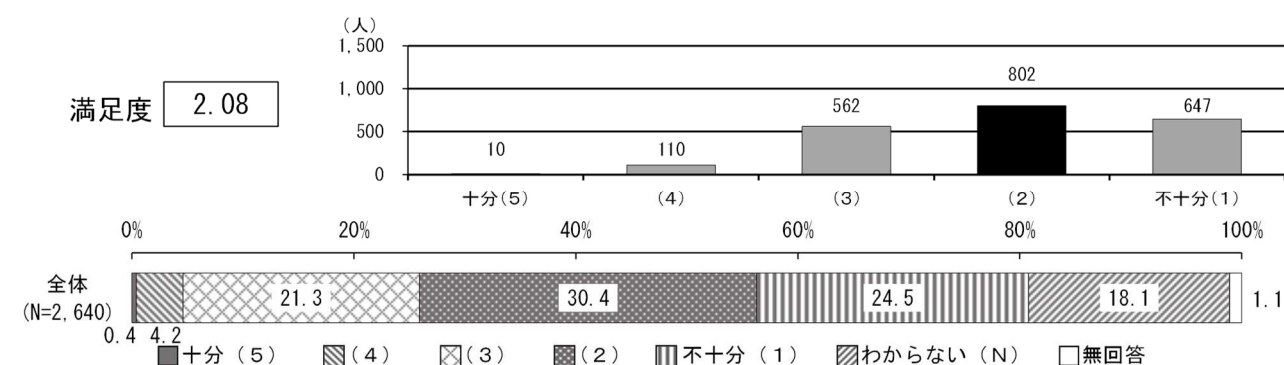
【年代別】



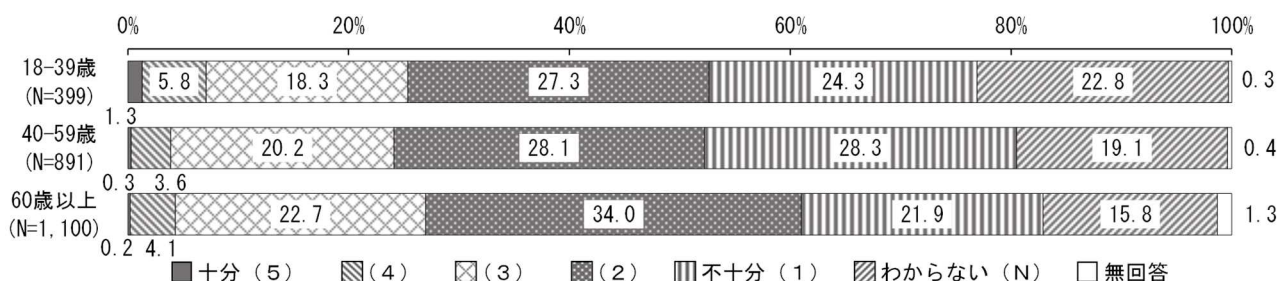
オ 県外からの人材流入や若者定着につながる戦略的な誘致の推進

問 1-21 人材の流入・定着につながる企業誘致や産業集積が進んでいる

満足度の状況



【年代別】



政策 4 産業に関する意見

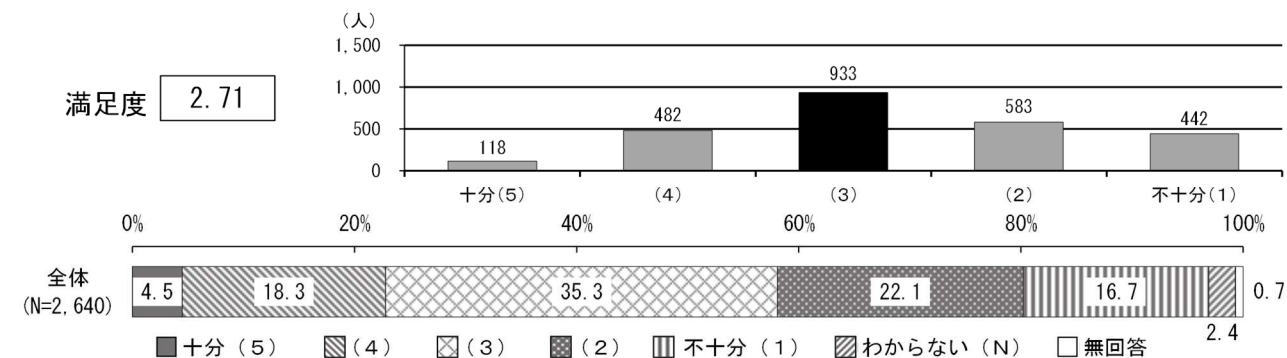
- 今のITやデジタル分野において、スローな製品開発では世界についていけない。オープンイノベーションや企業間連携を推進する取組が必要なのではないか。(男性/60歳代/秋田地域)
- 大胆な賃金向上策や企業誘致がないと人口減少は止まらない。(男性/60歳代/山本地域)
- 科学技術が発達しているはずの日本で、風力発電設備のほとんどが海外製品である。効率的で丈夫でメンテナンスしやすい「日本製」・「秋田県製品」の開発により産業の活性化を期待したい。(男性/70歳以上/秋田地域)
- 先行投資できない、又は技術を守るための予算がない県内企業に対する支援が必要。(女性/50歳/仙北地域)
- BCPの観点やデータセンター等、広大な土地を要する産業集積など、他県にはない特色ある誘致を行うべき。(男性/40歳代/秋田地域)
- 大規模工場や設備でなくても小規模拠点の誘致が多くあってもよいと思う。(男性/40歳代/仙北地域)

(5) 政策5 健康・医療・福祉に関する項目

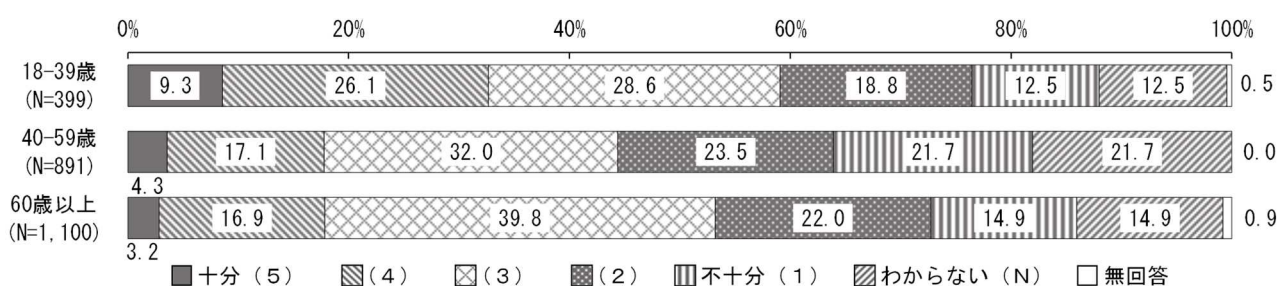
ア 人口減少社会においても持続可能な医療提供体制の確保

問 1-22 必要な医療を受けられる体制が整っている

満足度の状況



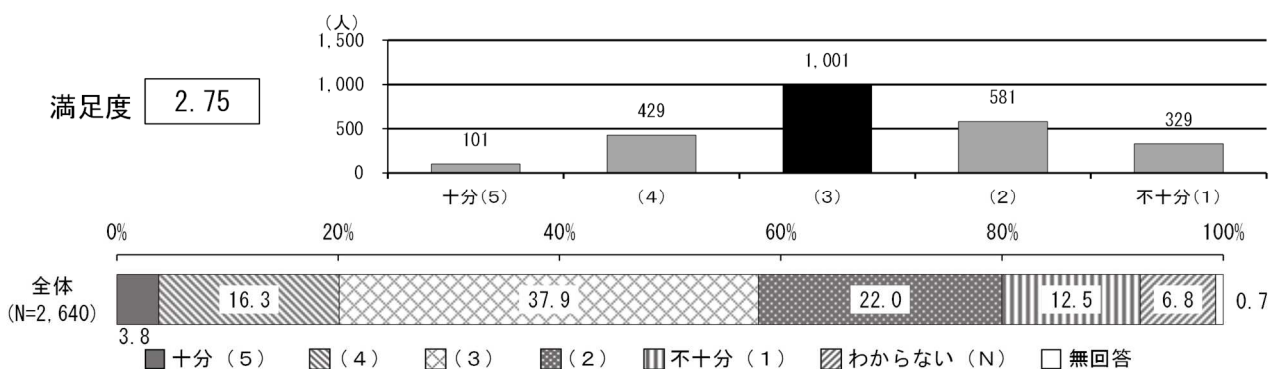
【年代別】



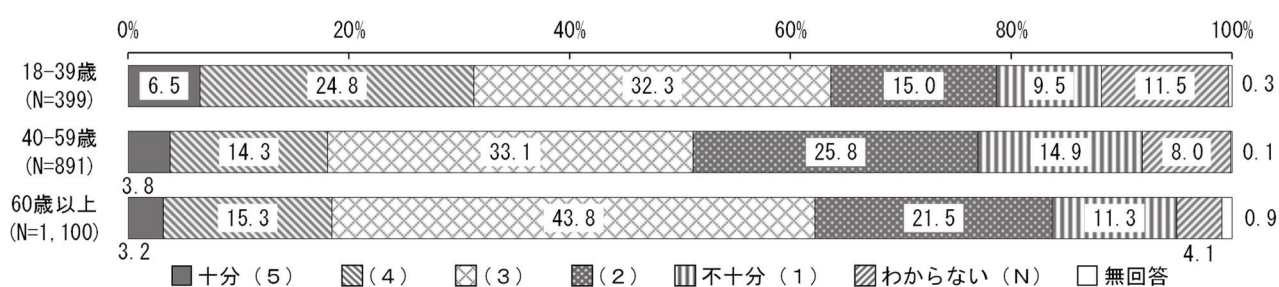
イ 医療と介護の連携による地域包括ケアシステムの拡充

問 1-23 高齢者や障害のある方が、必要なサービスや支援を受けながら、住み慣れた地域で安心して生活している

満足度の状況



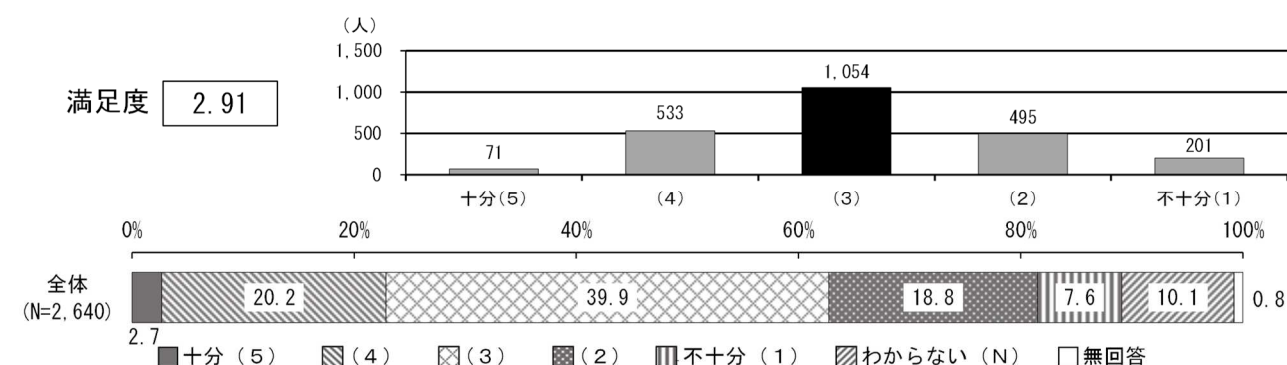
【年代別】



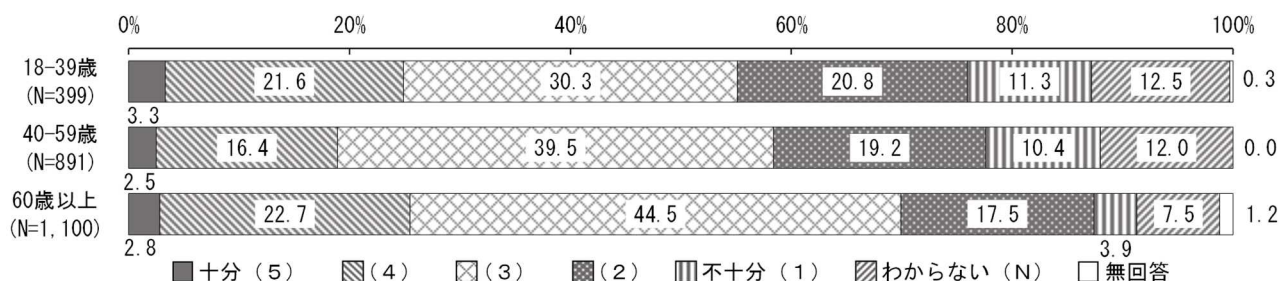
ウ 健康づくりを促す環境の充実

問 1-24 健康づくりに対する県民の意識が高まっている

満足度の状況



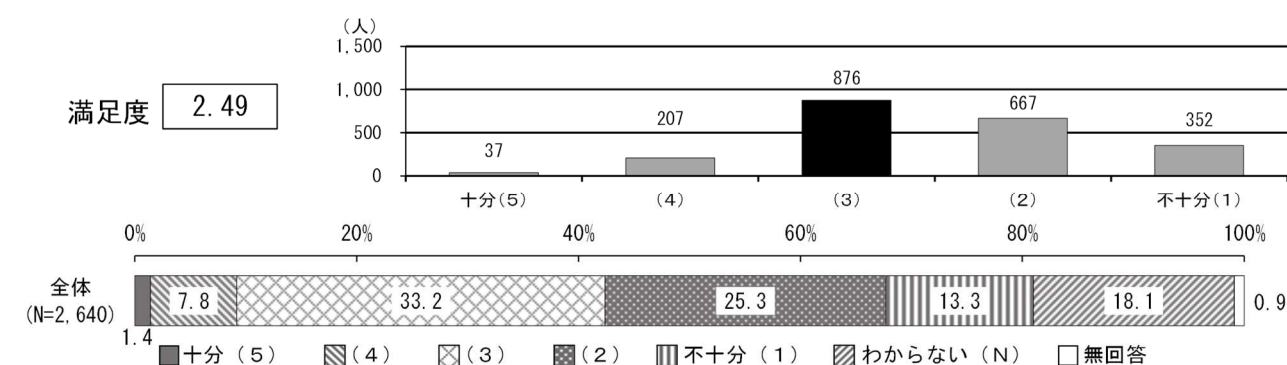
【年代別】



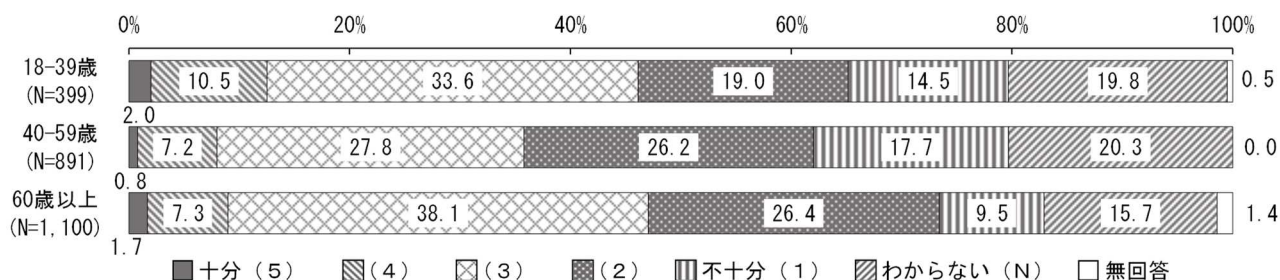
エ 障害や難病への正しい知識の普及と理解促進

問 1-25 障害や難病への県民の理解が進んでいる

満足度の状況



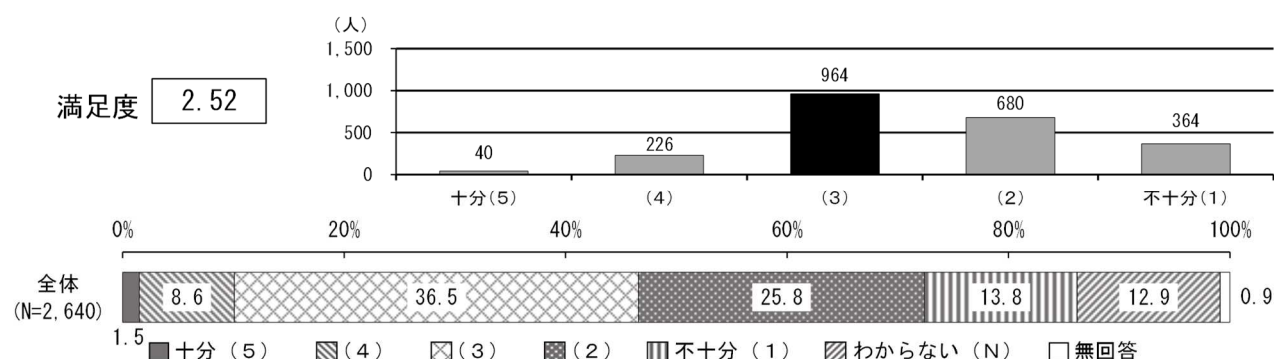
【年代別】



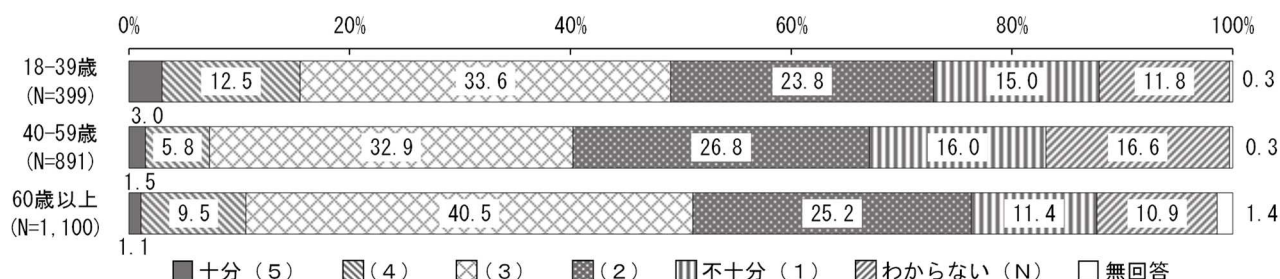
オ 複雑・多様化する社会課題に対応できる相談・支援体制の整備

問 1-26 相談体制や支援の充実により、地域や社会から孤立することなく、安心して生活できる社会づくりが進んでいる

満足度の状況



【年代別】



政策5 健康・医療・福祉に関する意見

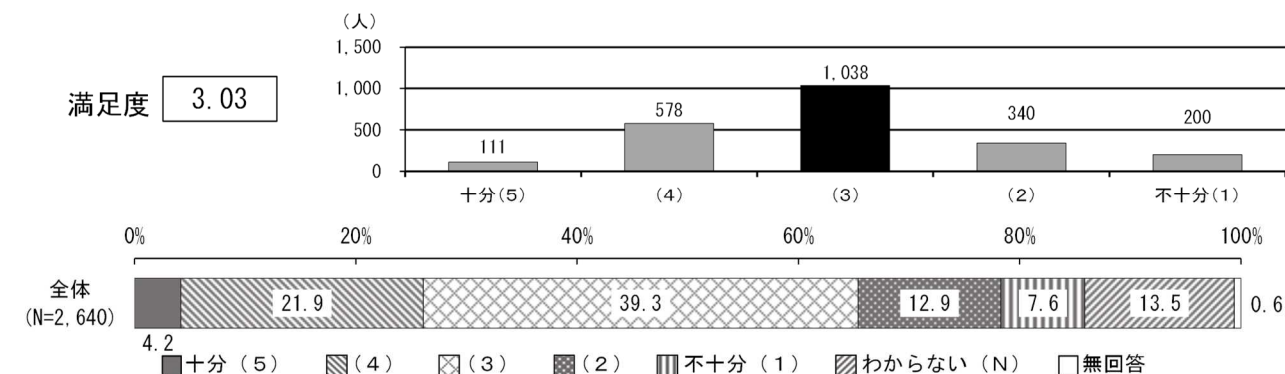
- ・高齢化に伴い医療に対するニーズが高まっている反面、地域における医療アクセスの低下、医師不足、無医村等の課題が深刻化している。オンライン診療や救急医療対策を優先してほしい。(男性/60歳代/秋田地域)
- ・高齢者の介護について、より速やかに、医療・福祉に橋渡しできるよう、相談を日頃から気軽にできる専門家の数を増やしてほしい。(人材育成と給与など待遇面の充実が必要)(女性/40歳代/秋田地域)
- ・市町村がそれぞれ健康づくりや予防に取り組んでいるが、特に高齢者は、その取組を知らない人が多い。(女性/70歳以上/仙北地域)
- ・ひとり暮らしの障害者が自宅で安心して暮らせるよう、福祉と医療の連携体制や相談体制を整えてほしい。(女性/40歳/秋田地域)
- ・ヤングケアラーや里親支援などに力を入れ始めたのは非常に好感が持てる。(女性/20歳代/秋田地域)
- ・自殺予防に成果が見られるのは官民が連携した結果だと思う。住民を巻き込むことがどの政策実施においても大切なことを示している好例ではないか。(男性/60歳代/平鹿地域)

(6) 政策6 教育・人づくりに関する項目

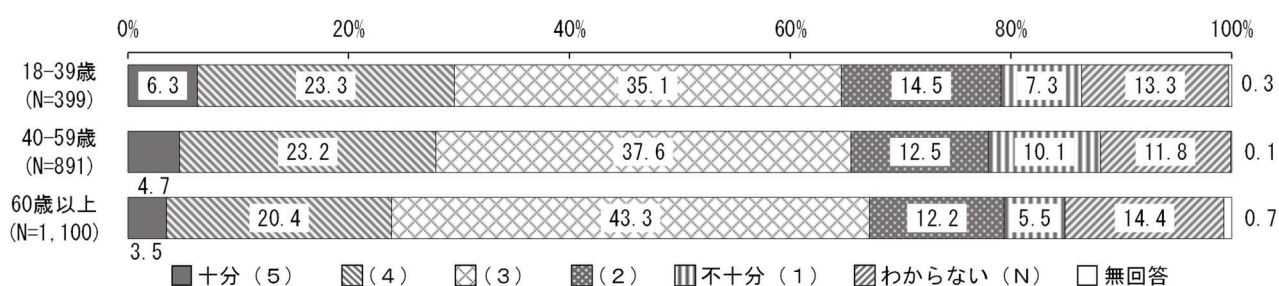
ア 全てのこどもの健やかな心身と自ら学ぶ意欲の育成

問 1-27 こどもが健やかに育ち、自ら学ぶ意欲を持てる教育環境が整備されている

満足度の状況



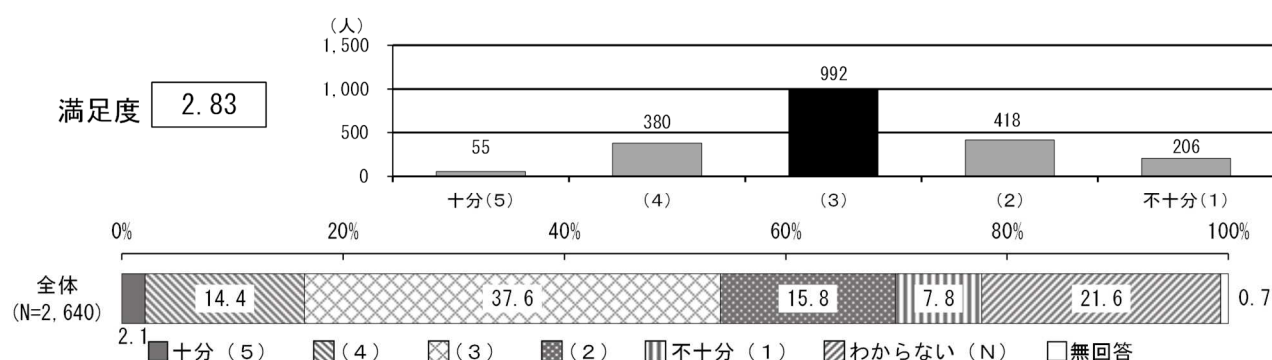
【年代別】



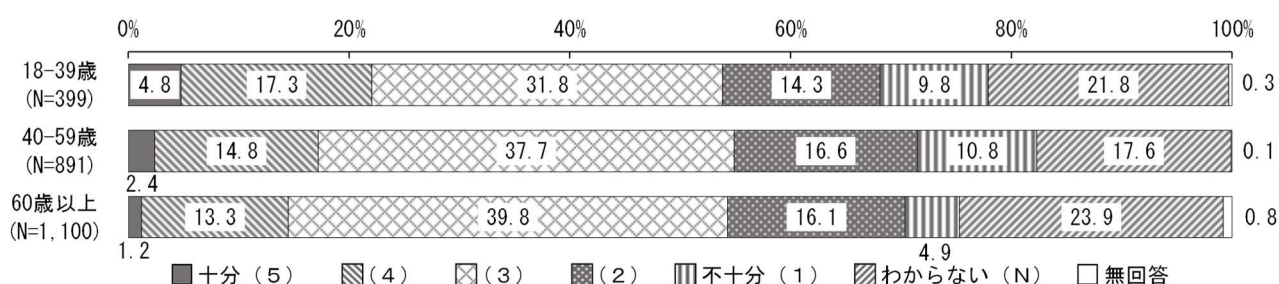
イ 新時代をたくましく生き抜く力の育成

問 1-28 キャリア教育やデジタル教育など、これからの時代をたくましく生き抜くための力が育てられている

満足度の状況



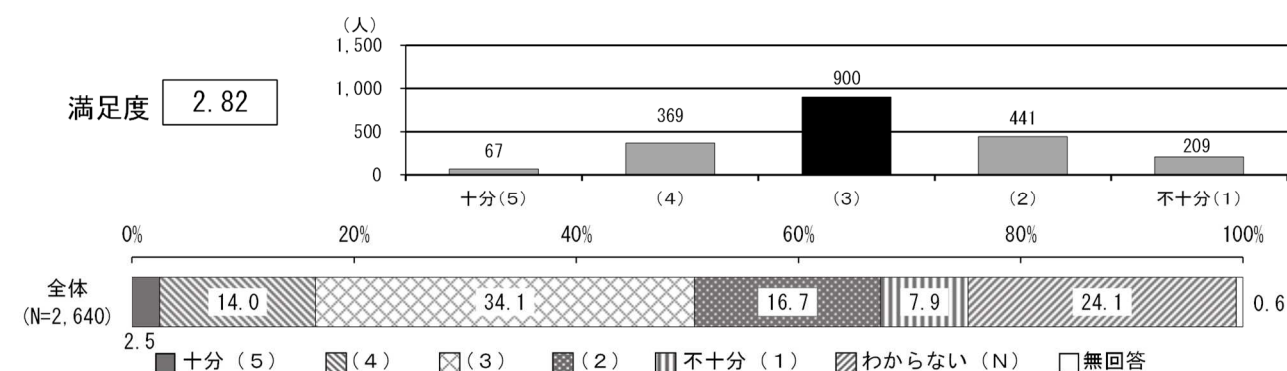
【年代別】



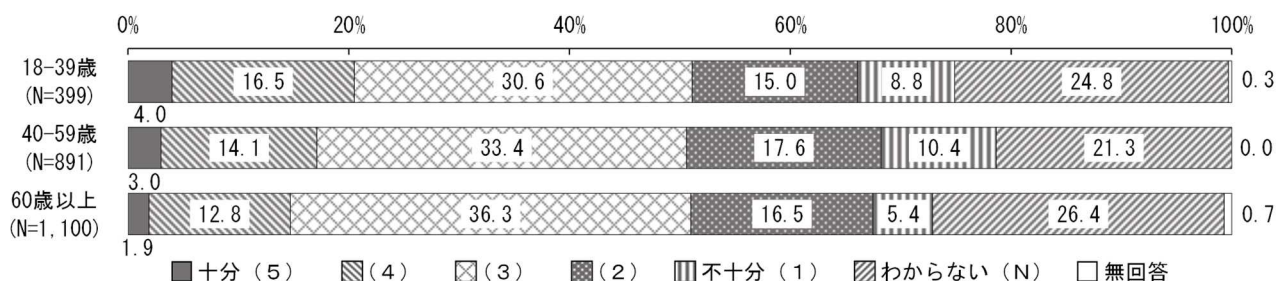
ウ 「こどもまんなか社会」を支える環境の整備

問 1-29 こども一人ひとりの教育的ニーズに応じた質の高い学びが提供されている

満足度の状況



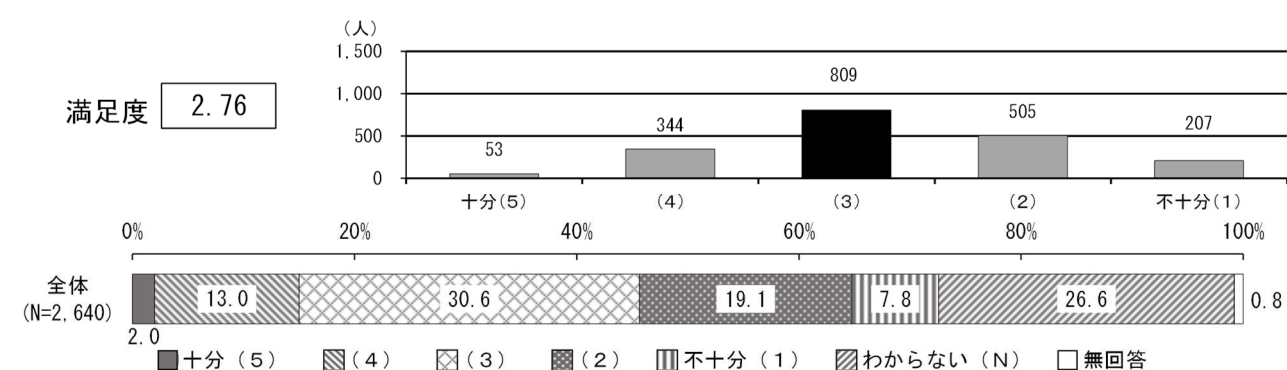
【年代別】



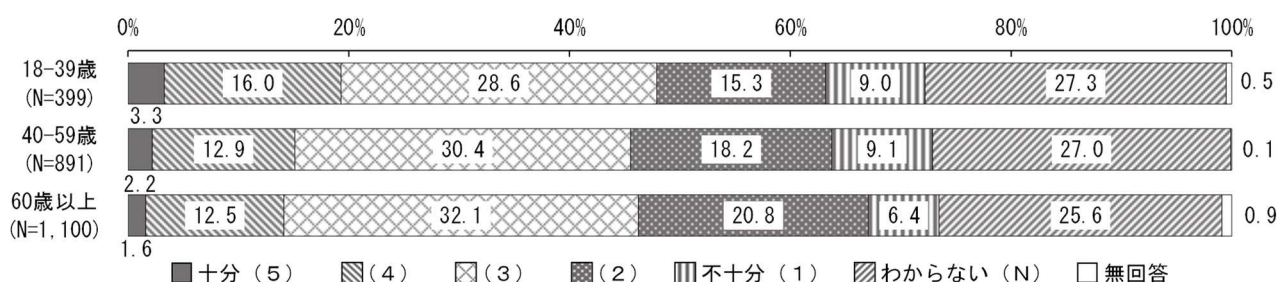
エ 地域社会の発展と産業振興に資する高等教育機関の活性化

問 1-30 県内の大学等による教育・研究を通じた地域貢献が進んでいる

満足度の状況



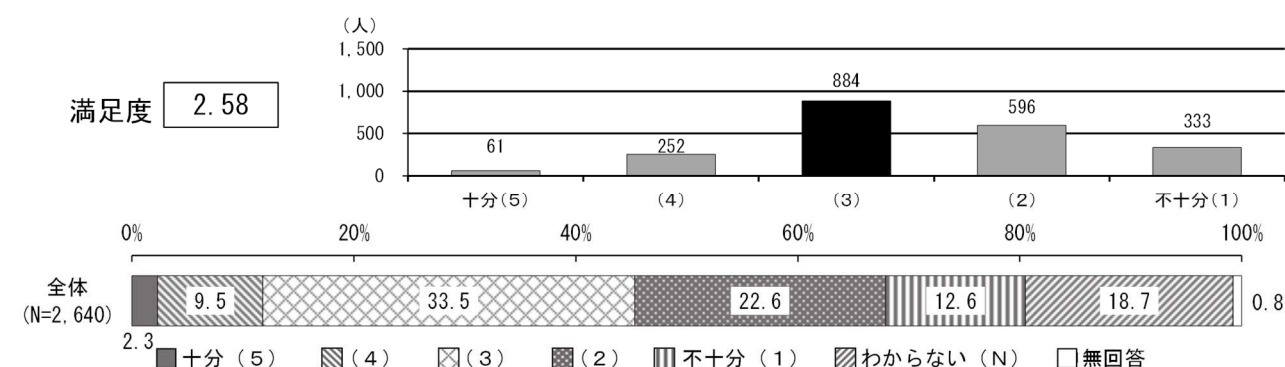
【年代別】



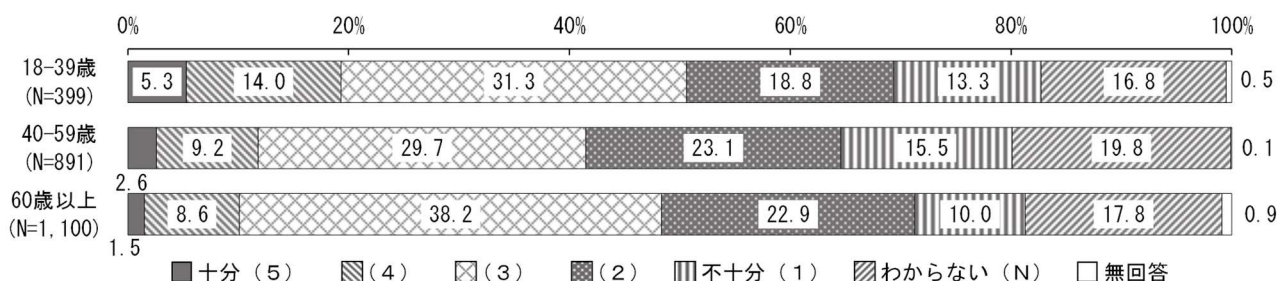
オ 誰もが生涯を通じて学び活躍できる環境の構築

問 1-31 県民誰もが生涯を通じて学ぶことのできる環境が整っている

満足度の状況



【年代別】



政策6 教育・人づくりに関する意見

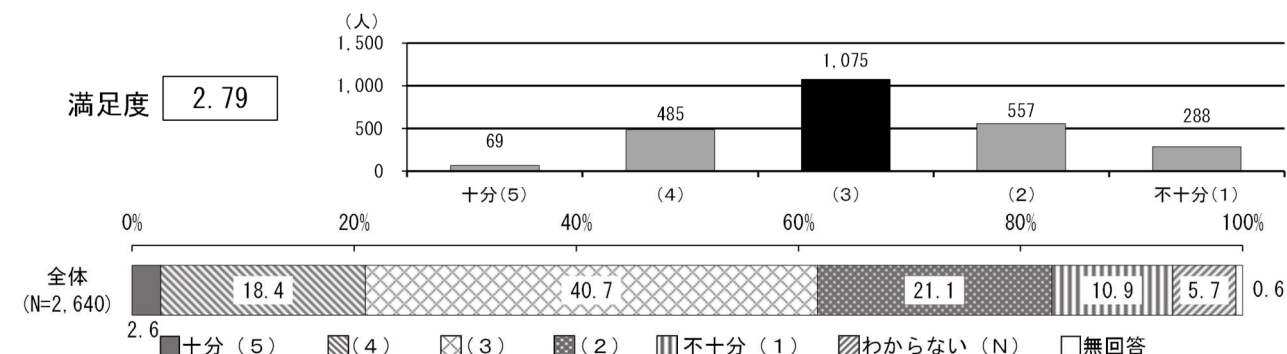
- 学力が高い県として上位を維持できていることは評価できる。学びに向かう力を育てるために、教育・保育一丸となって頑張っていると感じる。(女性/50歳代/北秋田地域)
- 教育に関して取組が進んでいるとは感じる。優秀な人材が育てられる一方で、秋田に留めおけない事が問題。(女性/50歳代/秋田地域)
- ネットリテラシーや投資、性についてなど、今の時代を生きるための教育にもっと力を入れても良いのではないかな。(女性/40歳代/秋田地域)
- 障害のある児童が分けられることなく教育を受けるインクルーシブ教育への理解が広がり深まってほしい。(女性/70歳代/秋田地域)
- 県内大学における実用化できる研究や環境調査に対する補助金や助成金制度を創設すれば、学生たちの向上心が上がると思う。(女性/70歳以上/北秋田地域)
- 生涯を通じて学ぶことのできる環境が地方まで行き渡っていない。(男/70歳以上/雄勝地域)

(7) 政策7 防災・減災・県土強靱化に関する項目

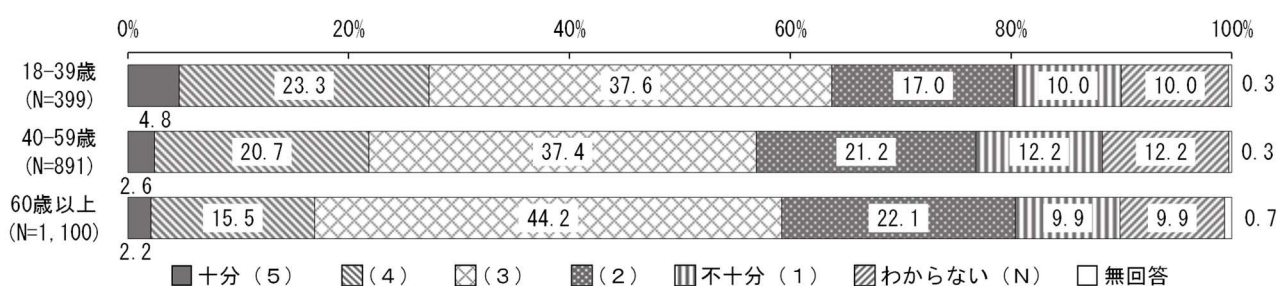
ア 気候変動等に対応した災害に強い地域社会の実現

問 1-32 大雨、地震等の自然災害への対策が進んでいる

満足度の状況



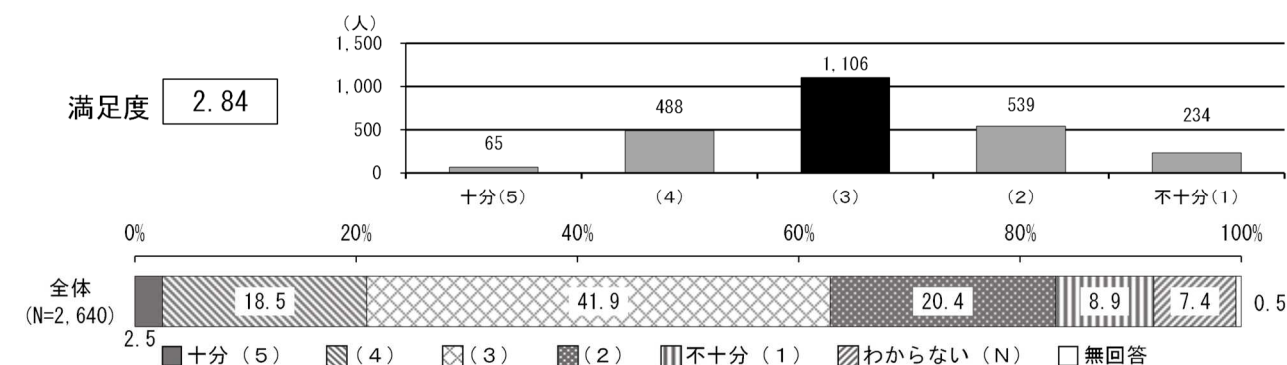
【年代別】



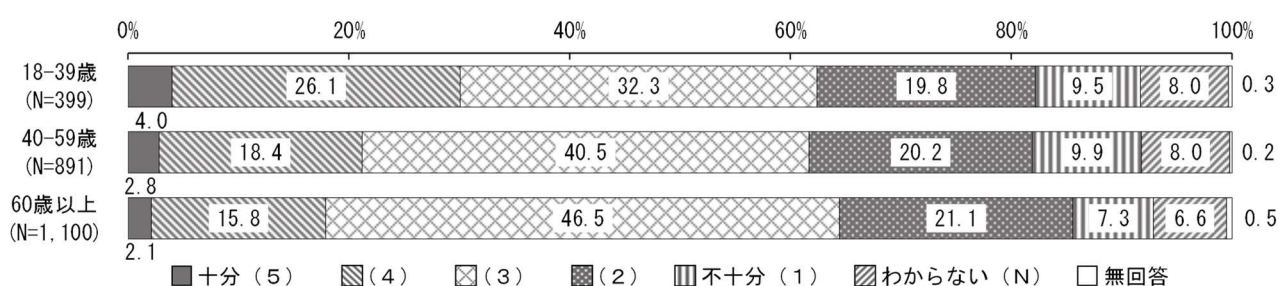
イ 自助・共助の促進による地域の防災力の強化

問 1-33 防災力の強化に向けた自助・共助の意識が高まっている

満足度の状況



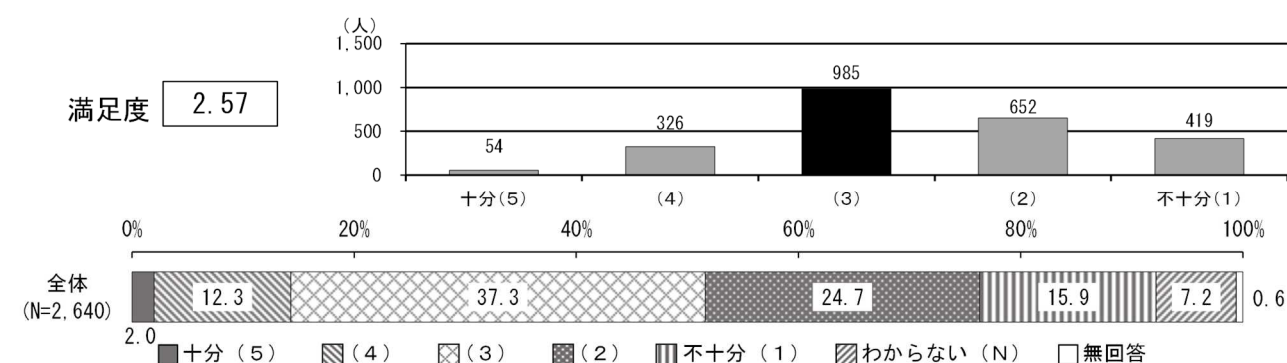
【年代別】



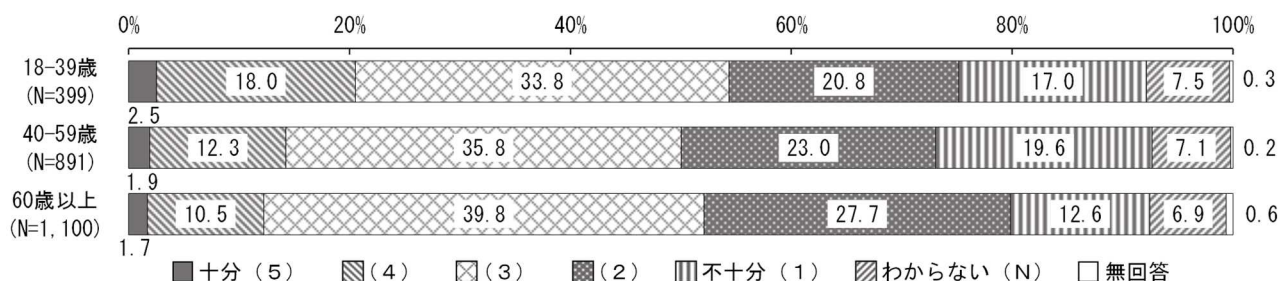
ウ 社会経済活動を支えるインフラの強化

問 1-34 社会経済活動を支える道路等のインフラの整備が進んでいる

満足度の状況



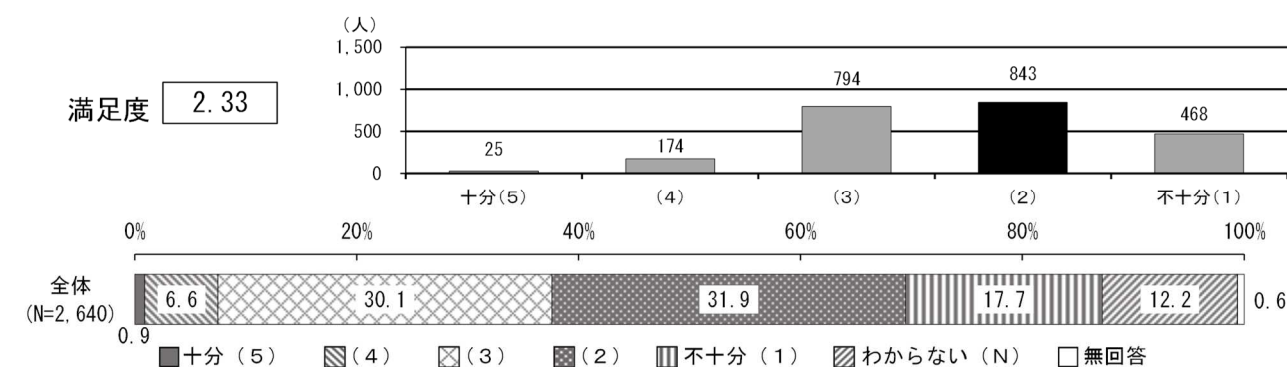
【年代別】



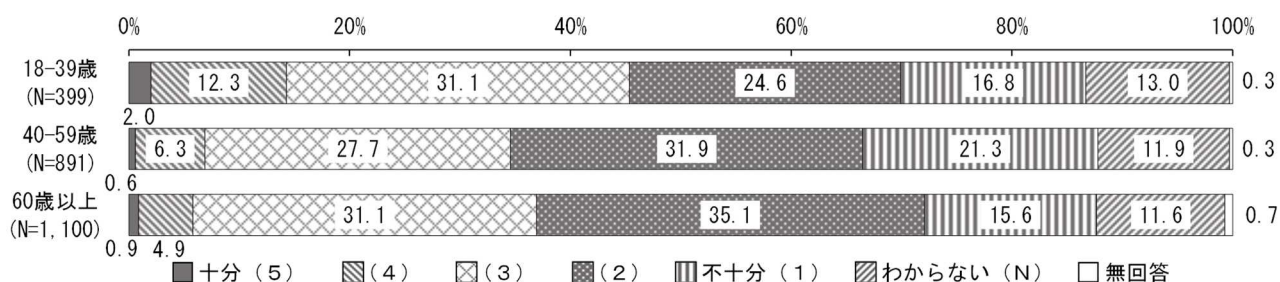
エ 持続可能なインフラマネジメントの実現

問 1-35 インフラの老朽化への対応などインフラの適切な維持管理が進められている

満足度の状況



【年代別】



政策7 防災・減災・県土強靱化に関する意見

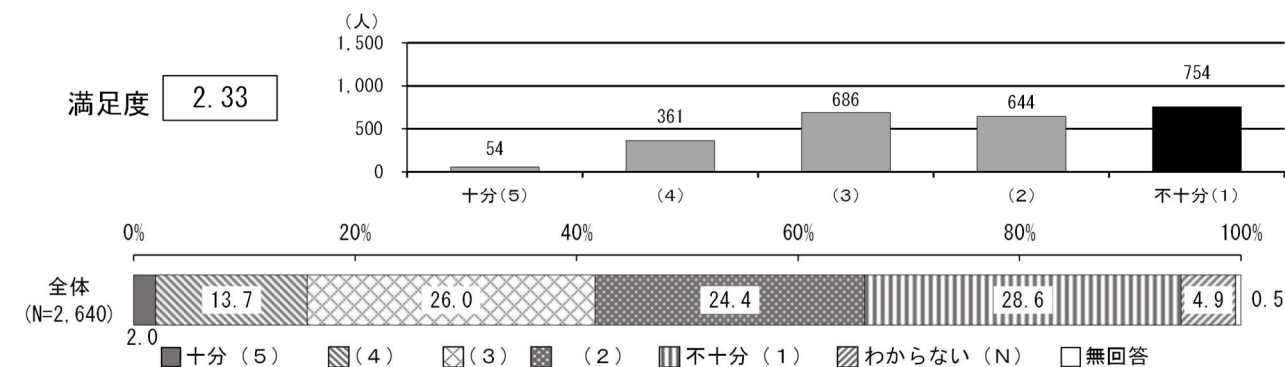
- 災害を受けた地域への対策は強化されているが、それ以外の地域での災害予防が不足していると思う。(女性／50 歳代／由利地域)
- 自治会が廃れていく中、共助のイメージがつかない。また、自然災害のない地域では、自治体職員、住民ともに危機感が薄く、不安。(女性／30 歳代／鹿角地域)
- 県道のあり方について大胆な見直しが必要。人口が大幅に減少する中、道路延長だけが伸びていくと維持管理コストが財政の負担になっていく。(男性／70 歳以上／仙北地域)
- 防災・減災やインフラ維持は県民の安全に直結する重要な分野である。住民との情報共有や連絡体制の充実と管理体制の透明性向上に努めてほしい。(その他／40 歳代／ー)
- インフラの老朽化への対応は、もっとスピード感を持って進められるべき。(男性／70 歳以上／由利地域)
- 最近、インフラ整備・老朽化への対応がされているのは目にしている。秋田市中心部だけでなく、各地域にも行き渡れば良いと思う。(女性／40 歳代／秋田地域)

(8) 政策8 環境・くらしに関する項目

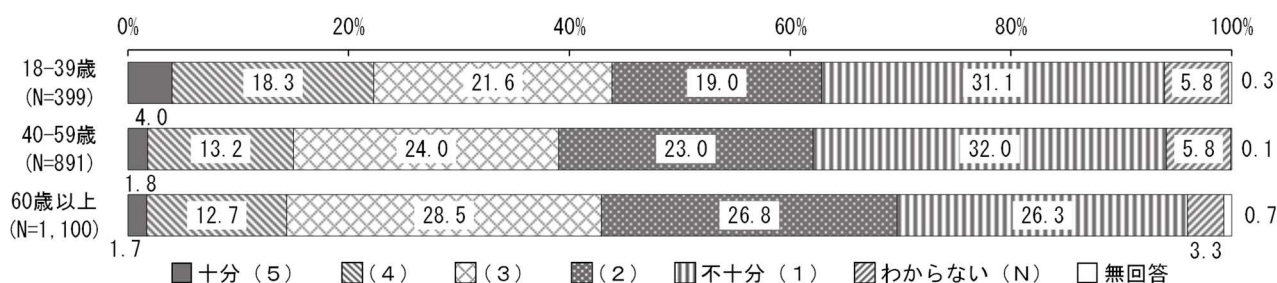
ア 野生鳥獣の保護管理と被害防止対策の推進

問 1-36 ツキノワグマ等の野生鳥獣の保護管理と被害防止対策が進んでいる

満足度の状況



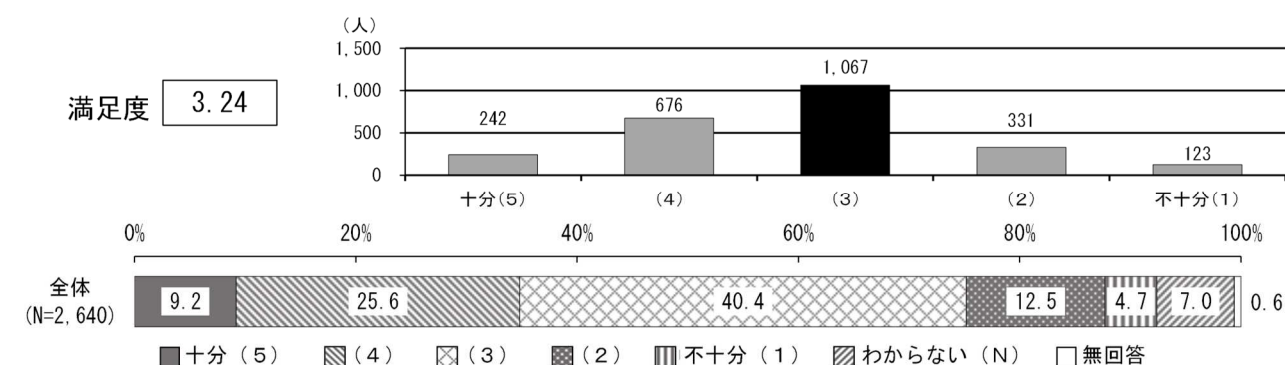
【年代別】



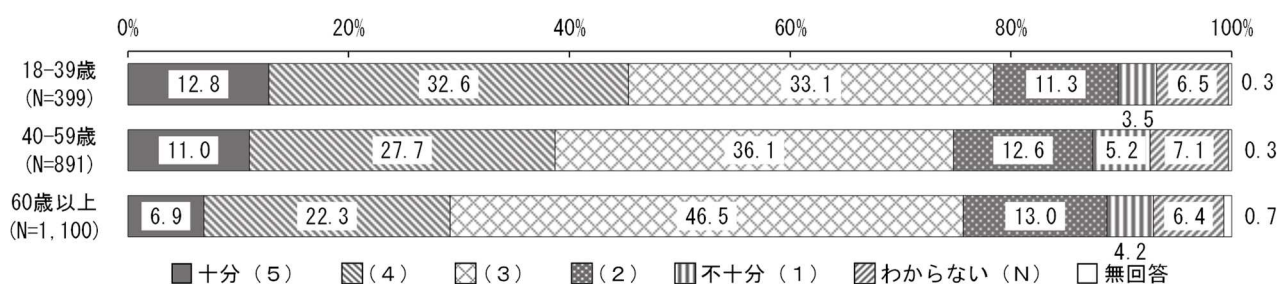
イ 大気、水、土壌等の環境保全対策の推進

問 1-37 豊かな自然と良好な環境（大気、水質等）が保全されている

満足度の状況



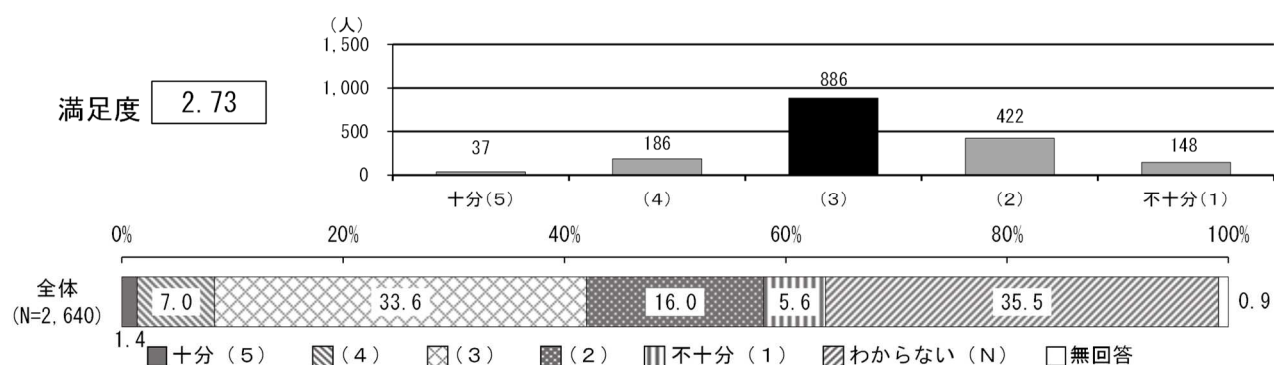
【年代別】



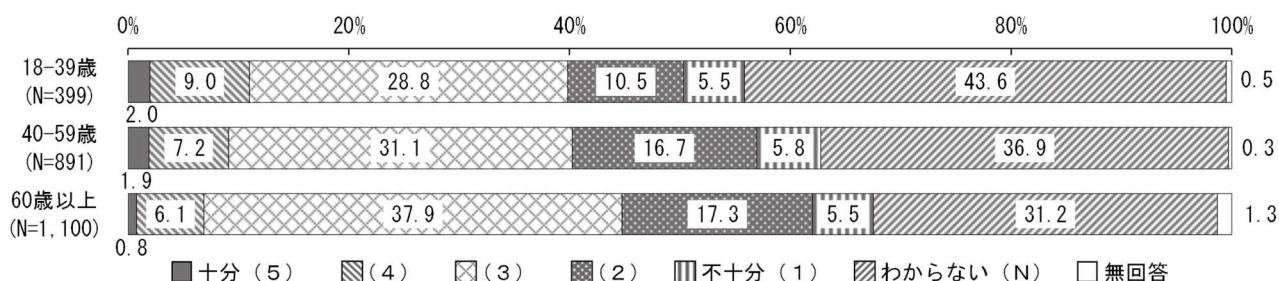
ウ カーボンニュートラルの実現に向けた地域社会の形成

問 1-38 カーボンニュートラルの実現に向けた県民や事業者の取組が進んでいる

満足度の状況



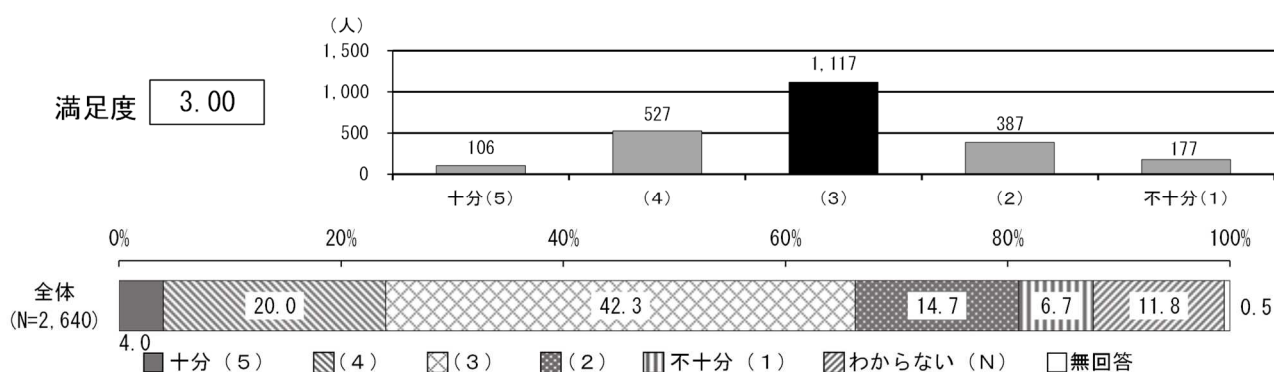
【年代別】



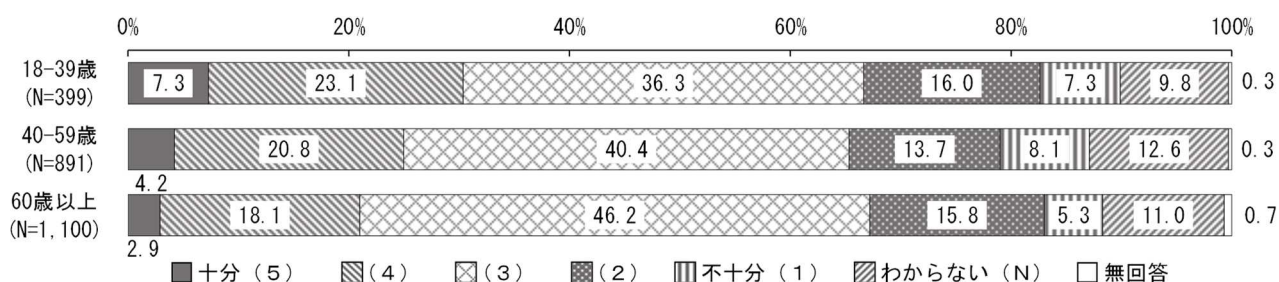
エ 犯罪・事故のない誰もが穏やかで安全に暮らせる地域の実現

問 1-39 犯罪や事故のない地域づくりが進んでいる

満足度の状況



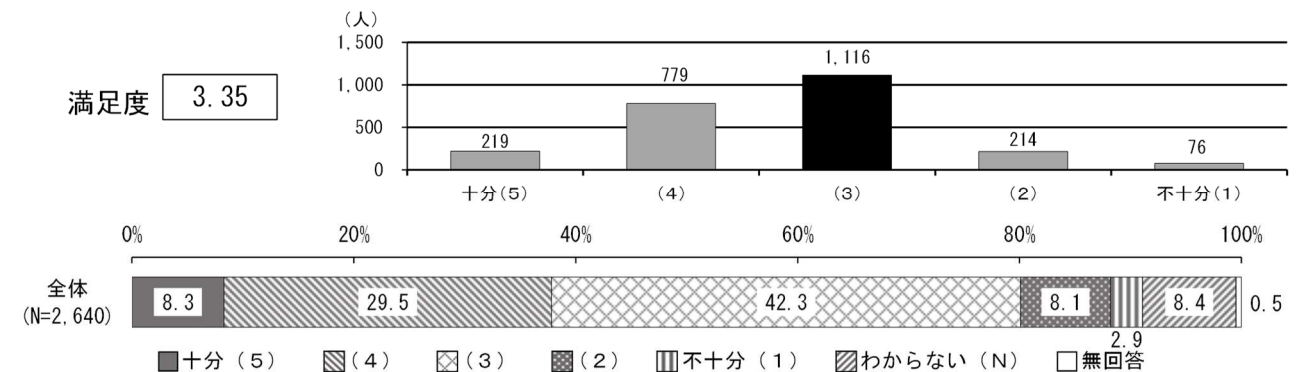
【年代別】



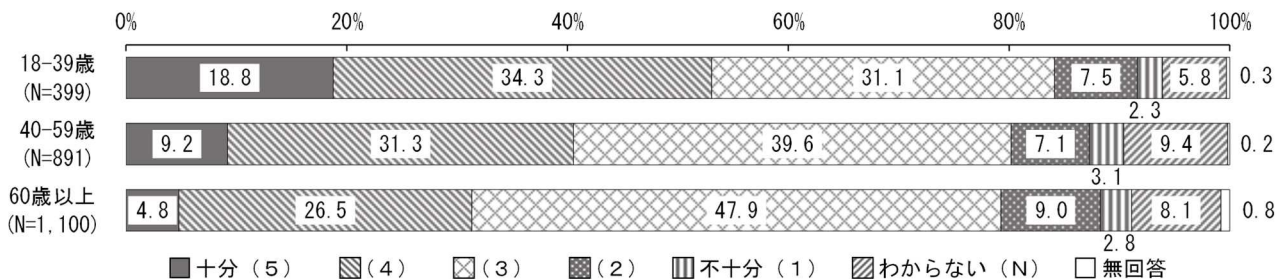
オ 食品衛生管理の推進

問 1-40 食の安全性や良好な衛生環境が維持されている

満足度の状況



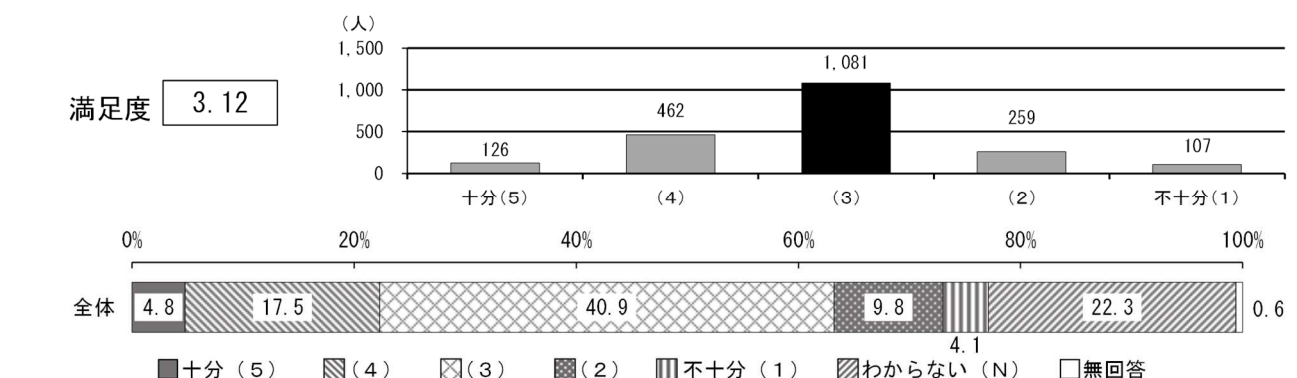
【年代別】



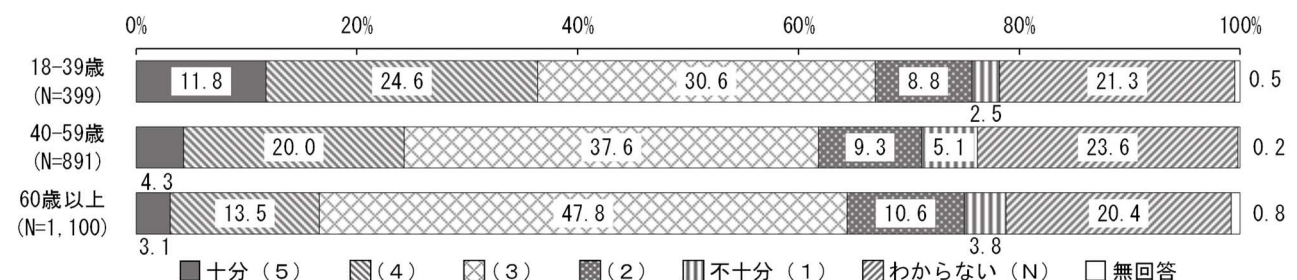
カ 動物の愛護と適正な飼養の推進

問 1-41 動物の愛護と適正な飼養が進んでいる

満足度の状況



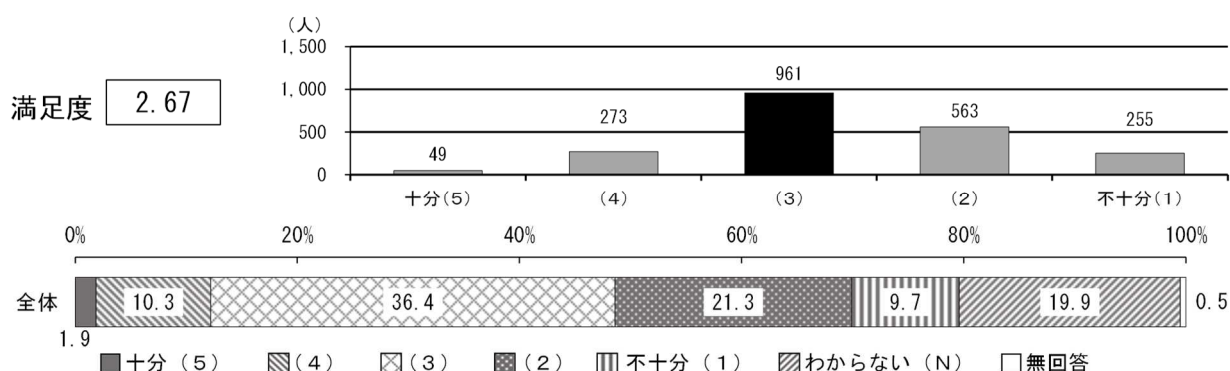
【年代別】



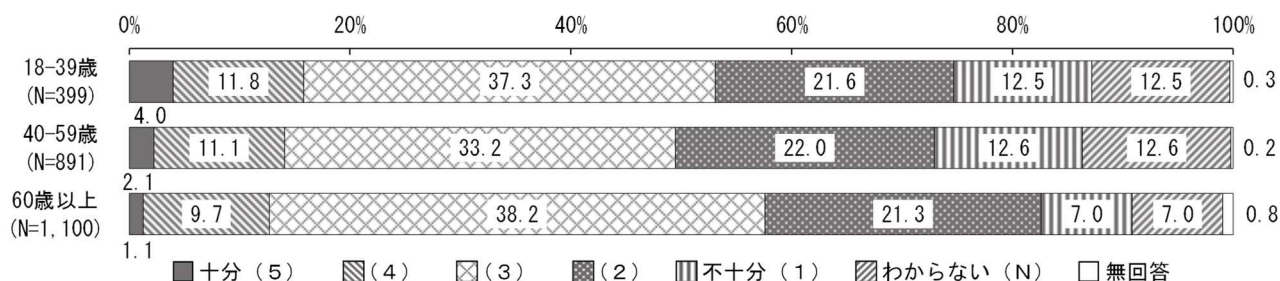
キ 県民生活を支えるデジタル技術の普及促進と情報通信インフラの充実

問 1-42 県民生活を支えるデジタル技術の普及が進んでいる

満足度の状況



【年代別】



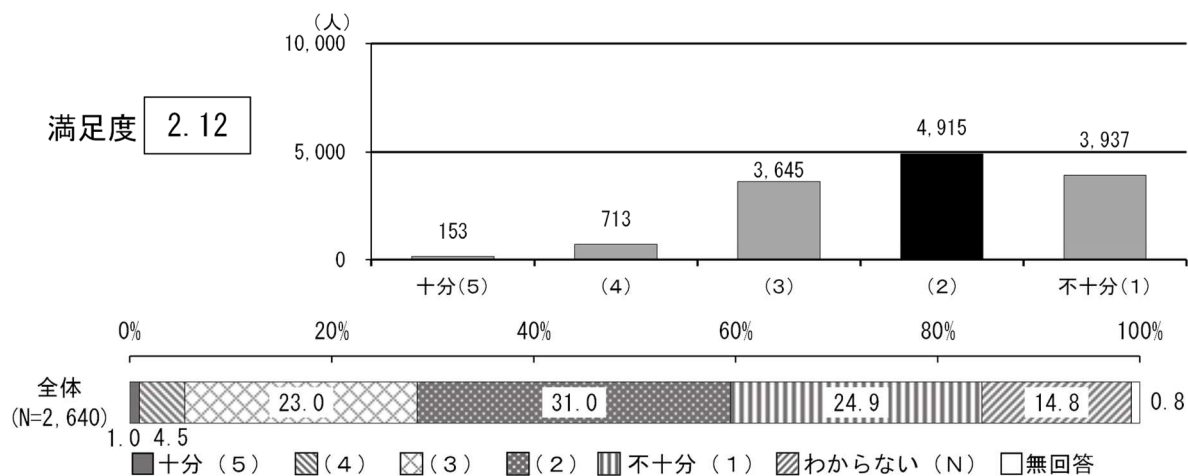
政策 8 環境・暮らしに関する意見

- クマ対策の自衛隊派遣は心強かった。しかし、被害が減っているとは言い難く、息の長い取組をこれからも続けてほしい。(女性／40 歳代／北秋田地域)
- クマ対策については、観光や産業・経済活動においてもマイナスの面が大きいいため、保護よりも積極的な駆除を行った方がイメージが良いと思う。(男性／40 歳代／平鹿地域)
- カーボンニュートラルについて、県民意識が向上しているとは言い難い。更なる普及啓発が必要。(男性／40 歳代／秋田地域)
- 高齢者の詐欺被害防止のため、無料サポートセンターを設置してもらいたい。(男性／70 歳以上／秋田地域)
- デジタル化は、業務スピードや正確性の向上が図られる一方、個人情報の漏洩や詐欺被害も多く発生する。そうしたメリット、デメリットについて県民にしっかりと広報していくべき。(男性／60 歳代／秋田地域)
- 高齢者の多い秋田において、デジタルで情報を発信しても届いているのか疑問。(女性／50 歳代／仙北地域)

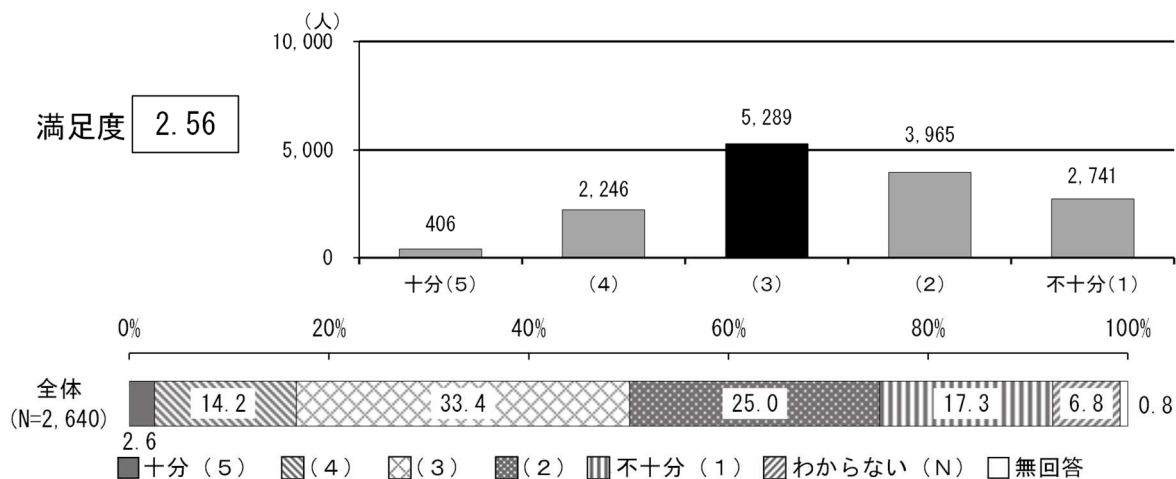
2 (参考) 各政策の満足度の平均値

「1 各政策の施策に関連する項目についての満足度」について、政策毎に平均値を計算した結果は次のとおりである。

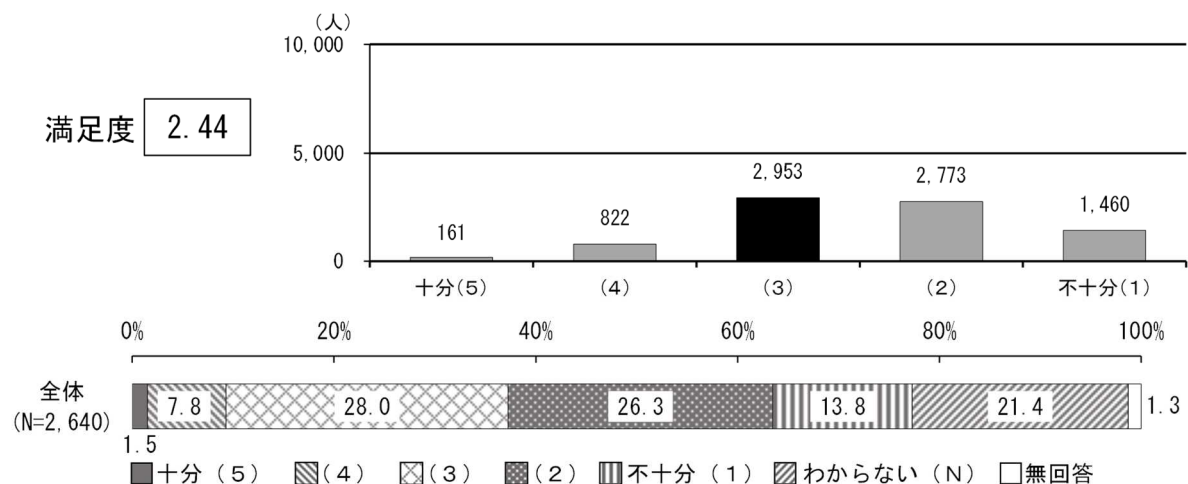
政策1 未来づくり (問1-1～問1-6)



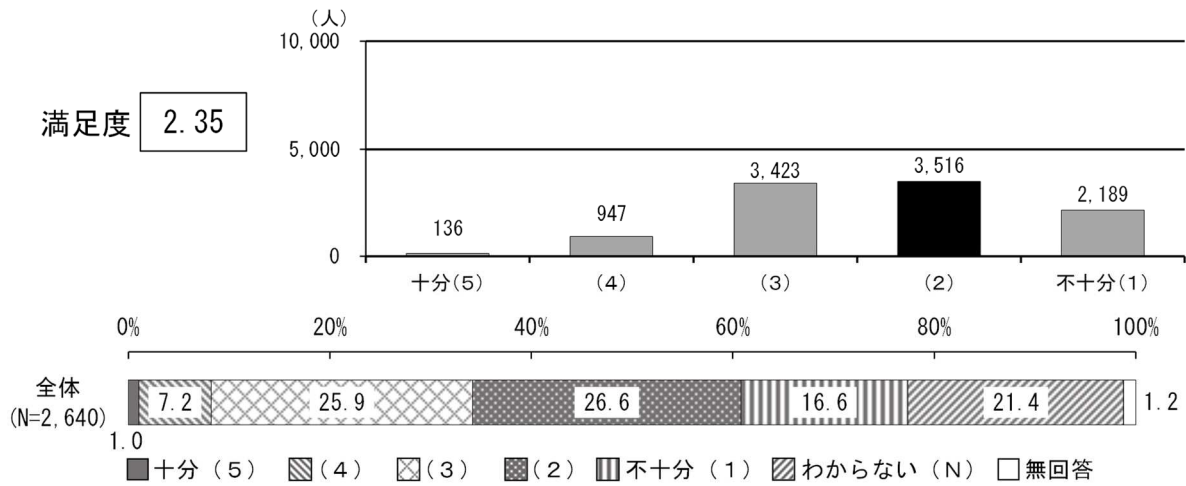
政策2 観光・交流 (問1-7～問1-12)



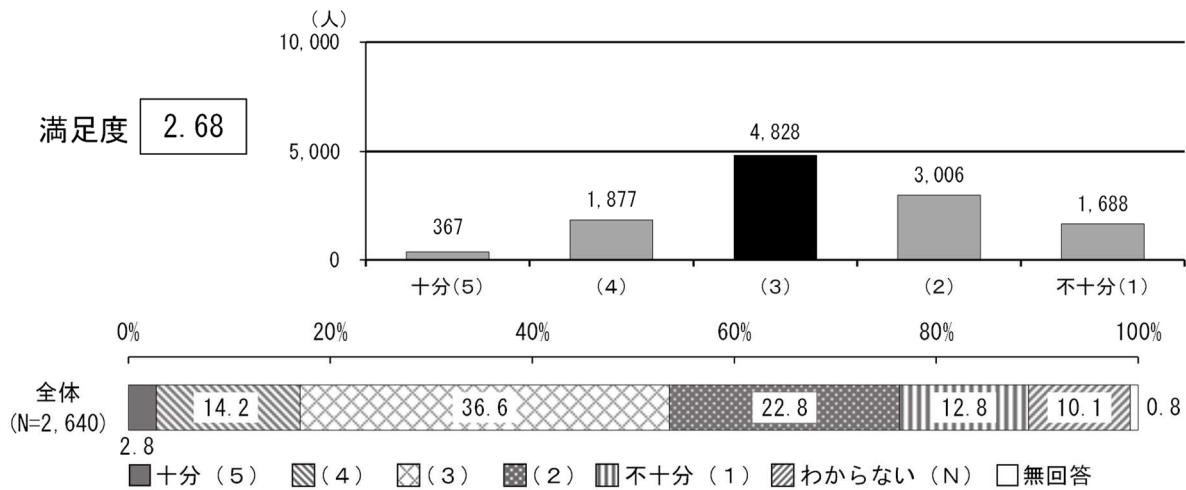
政策3 農林水産 (問1-13～問1-16)



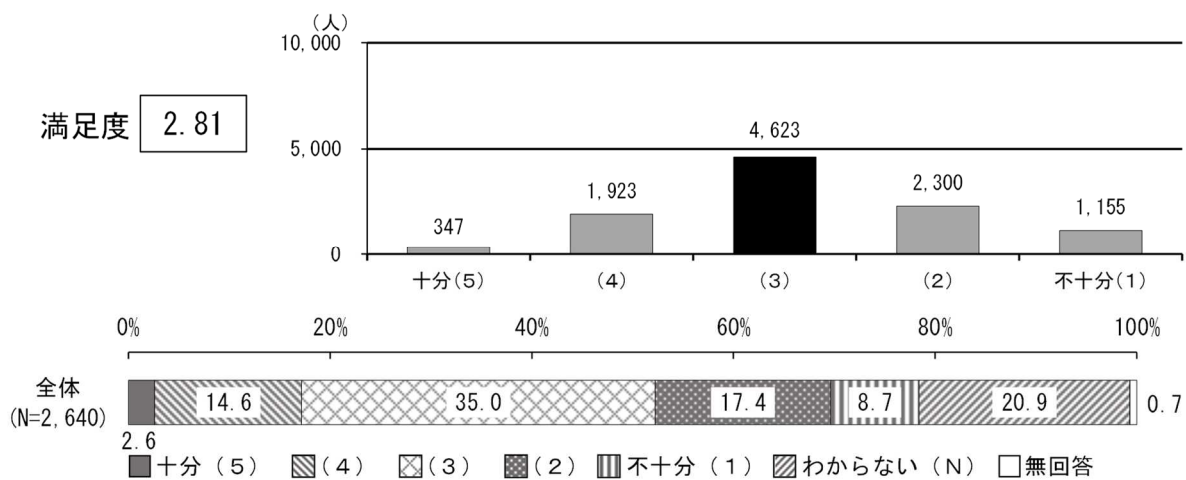
政策4 産業（問1-17～問1-21）



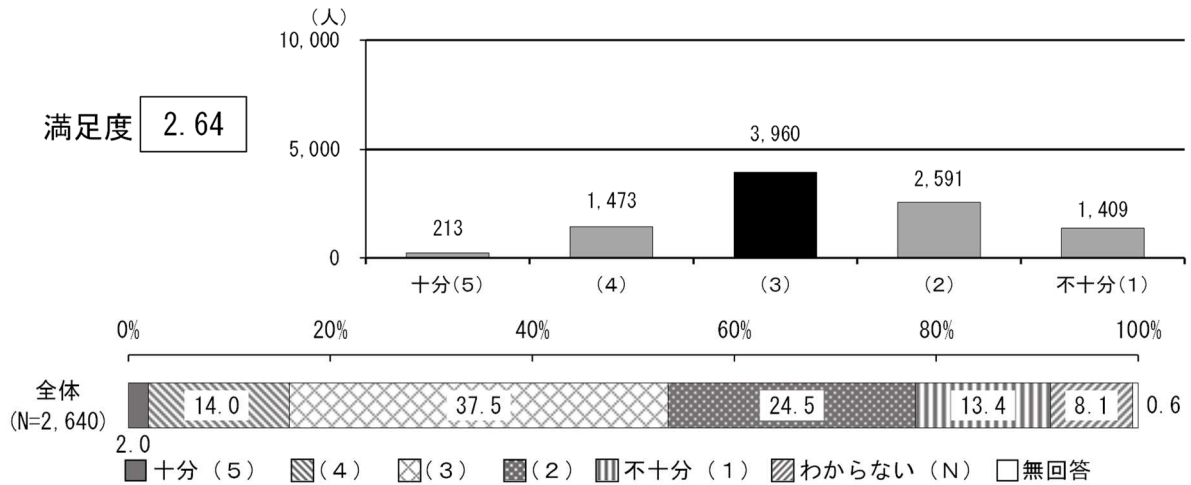
政策5 健康・医療・福祉（問1-22～問1-26）



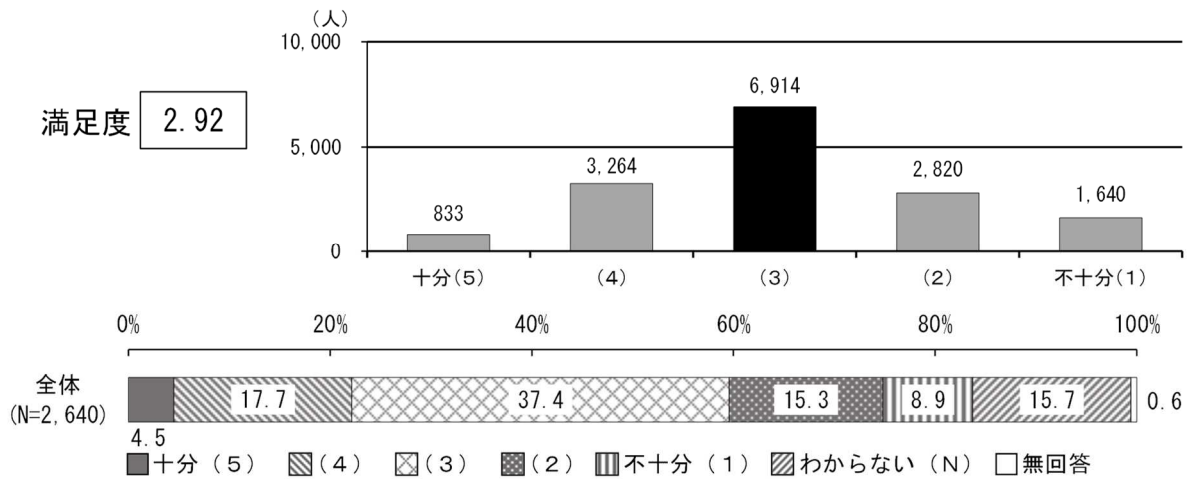
政策6 教育・人づくり（問1-27～問1-31）



政策7 防災・減災・県土強靱化（問1-32～問1-35）



政策8 環境・くらし（問1-36～問1-42）



第2章 県の特定課題について

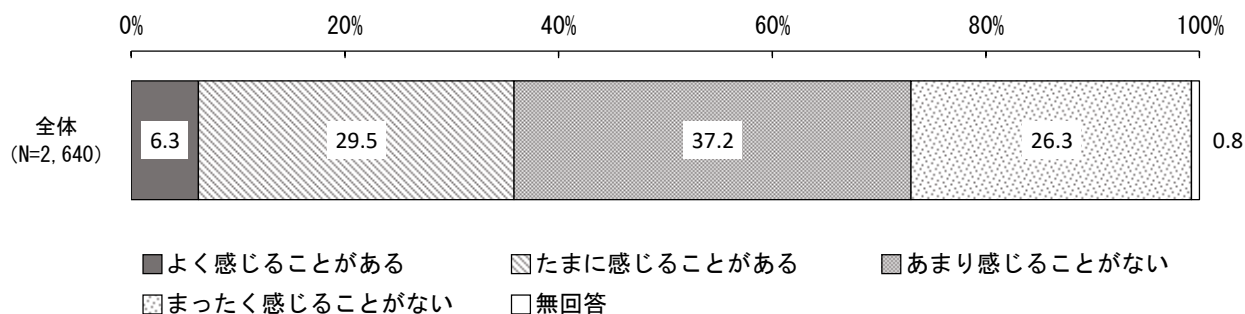
特定の課題に関する意識（問2）

1 差別等について

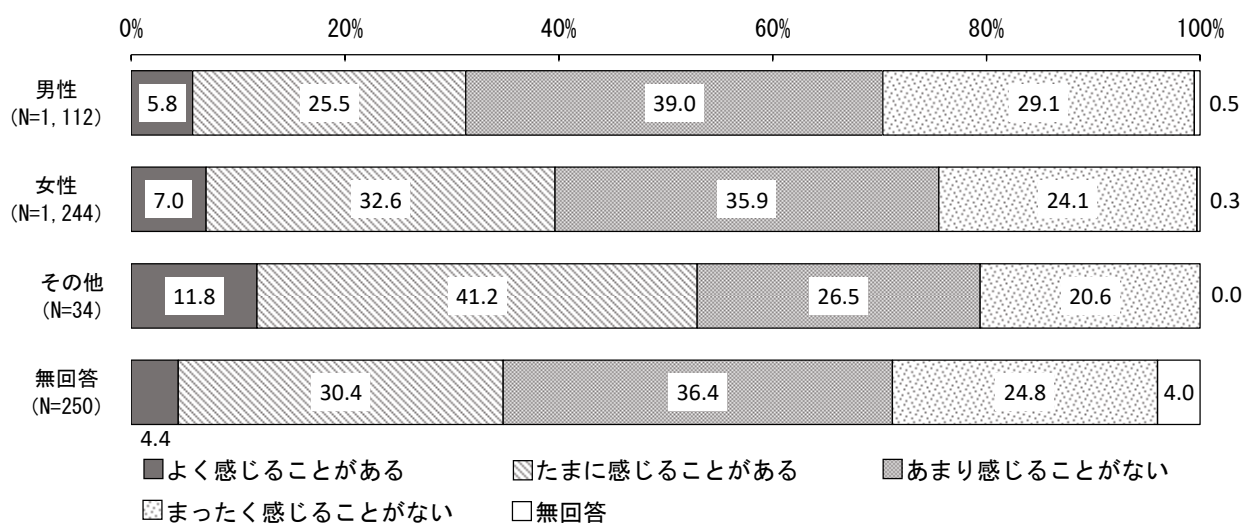
（1）差別等を感じる機会の有無

① あなたは、ご自身や身の回りで差別等を感じることはありませんか（○は1つ）。

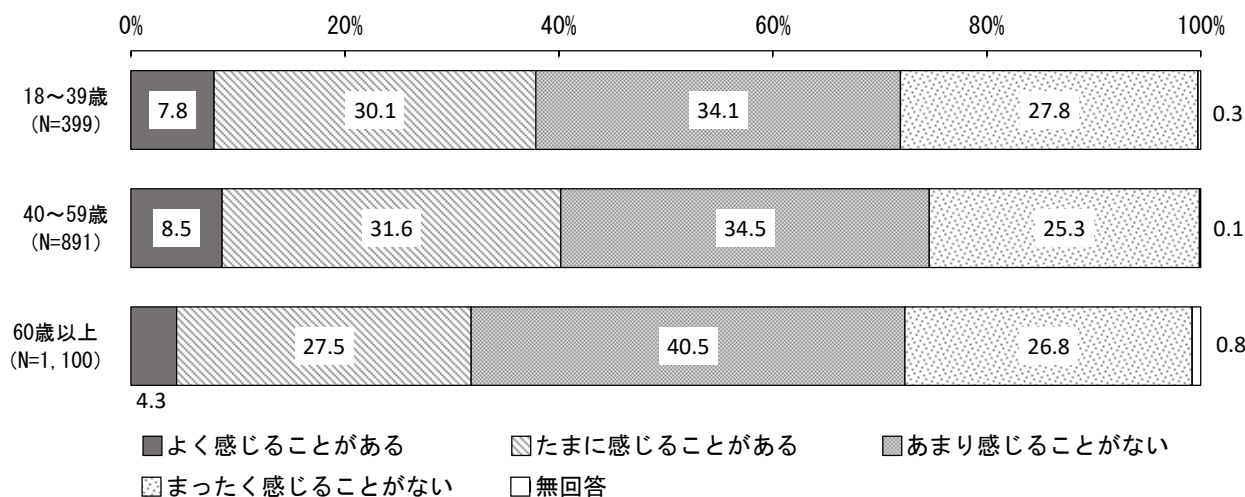
【全体】



【性別】



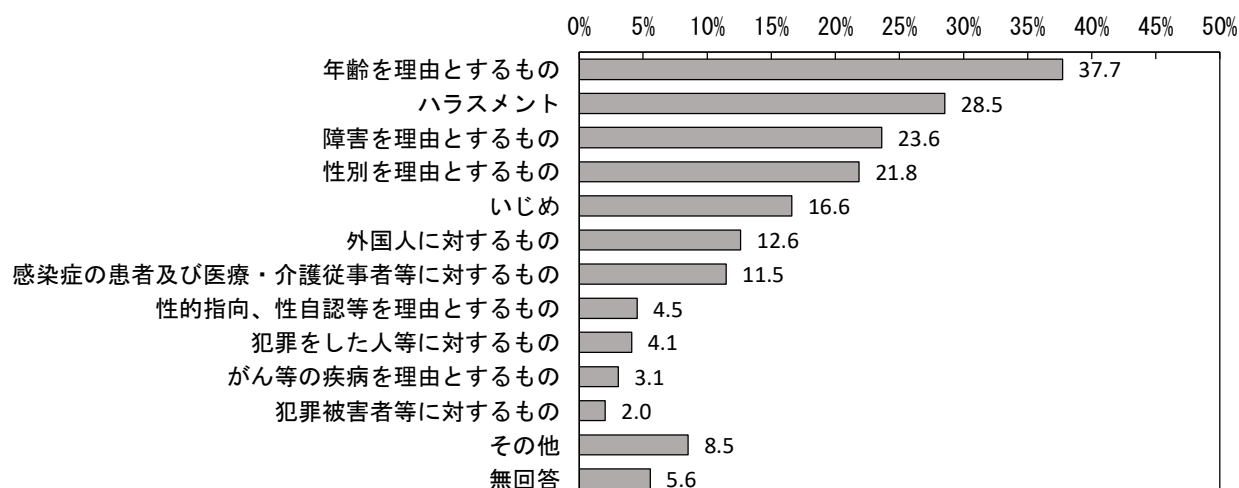
【年代別】



(2) 感じる差別等の種類

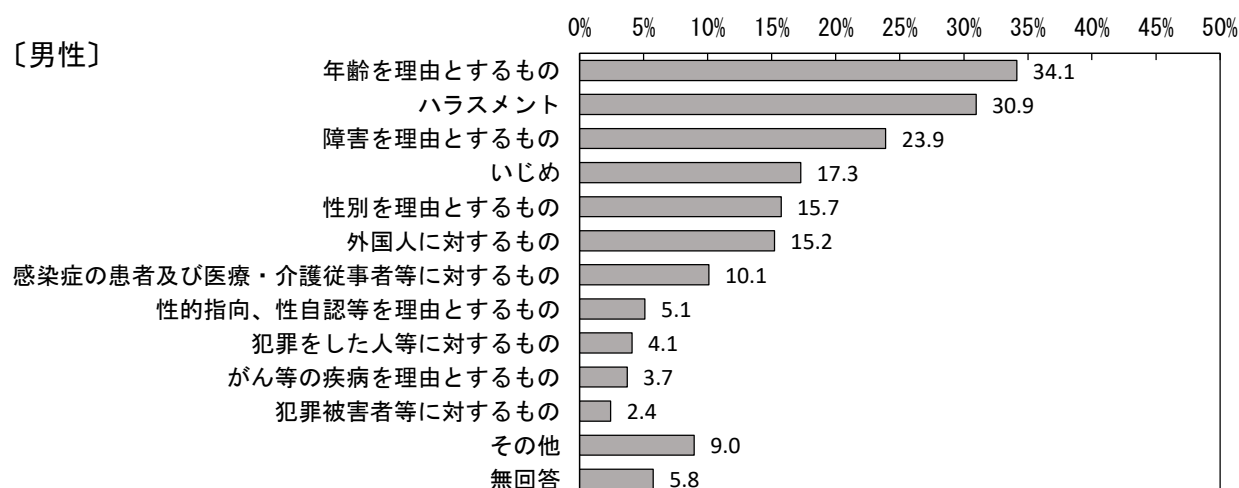
② ①で「1 よく感じることもある」、「2 たまに感じることもある」、「3 あまり感じる
ことがない」を選んだ方にお聞きます。どのような差別等を感じるがありますか（○
はいくつでも）。

【全体】

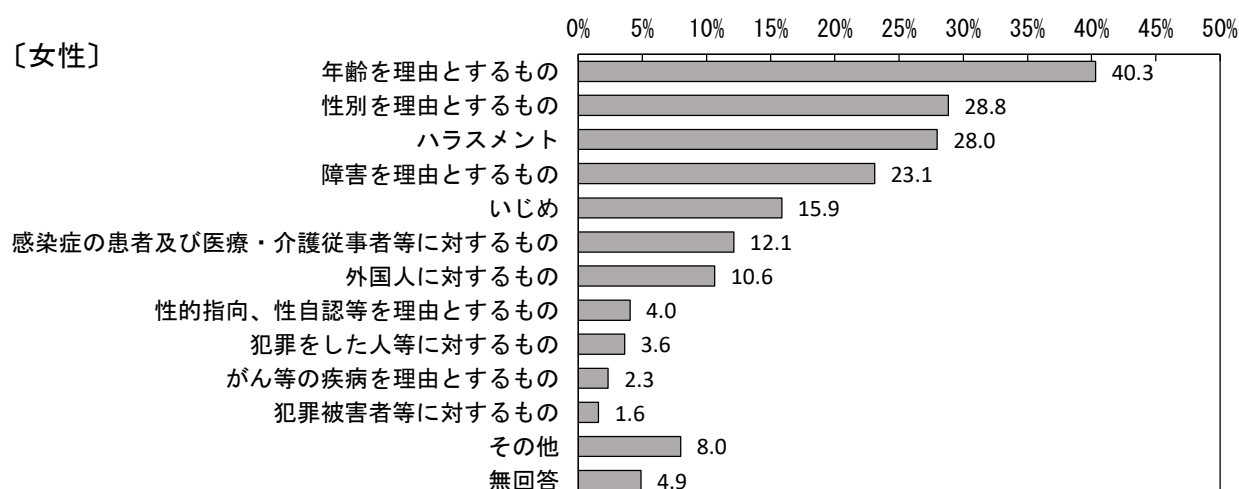


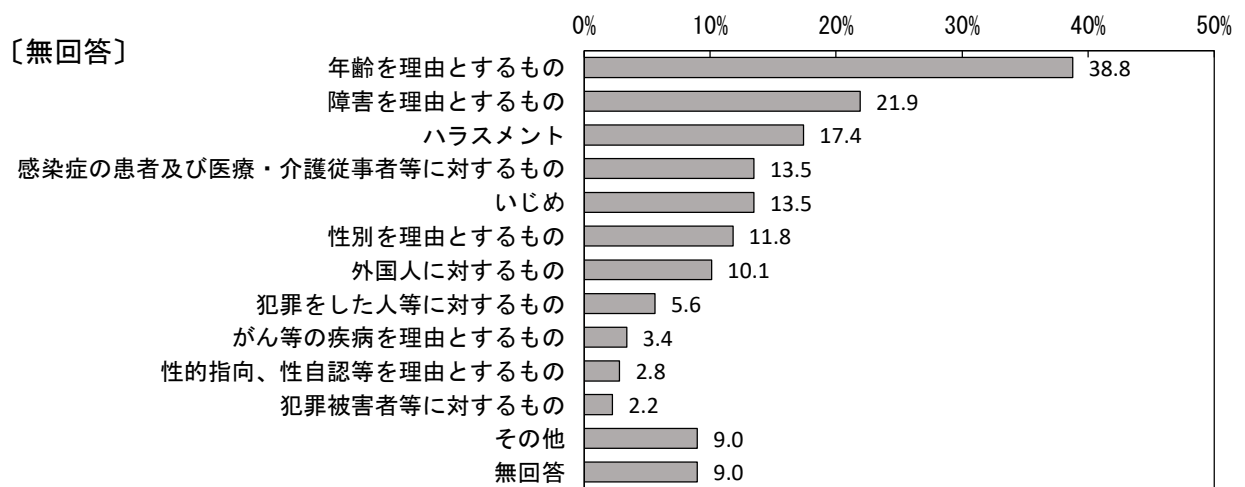
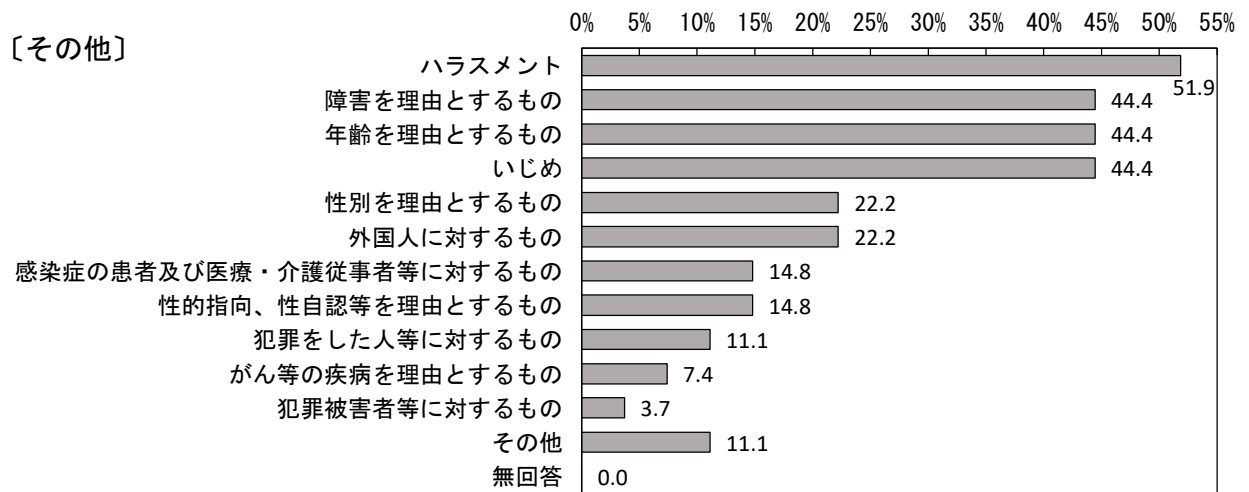
【性別】

〔男性〕



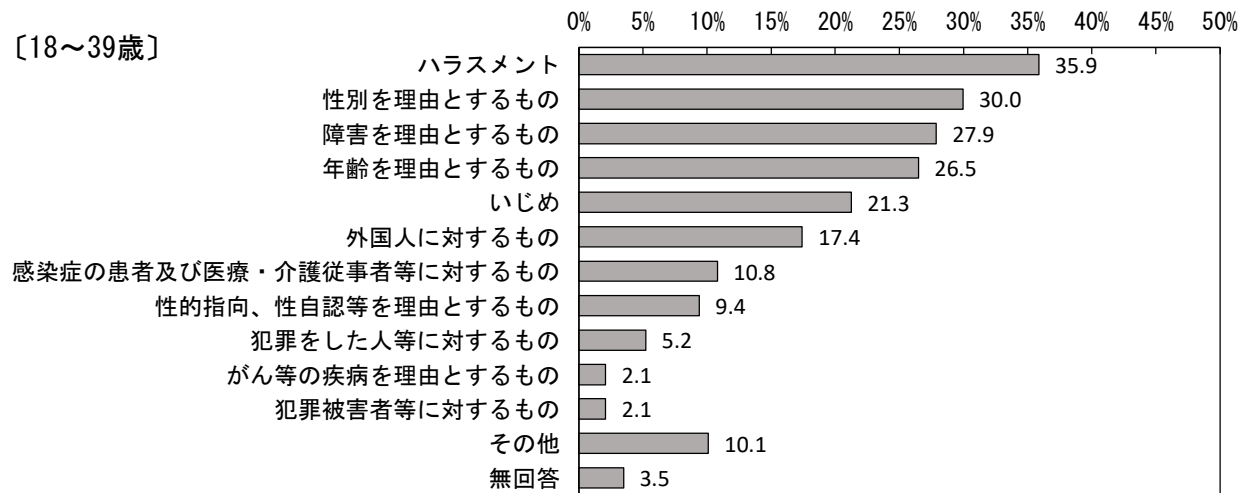
〔女性〕



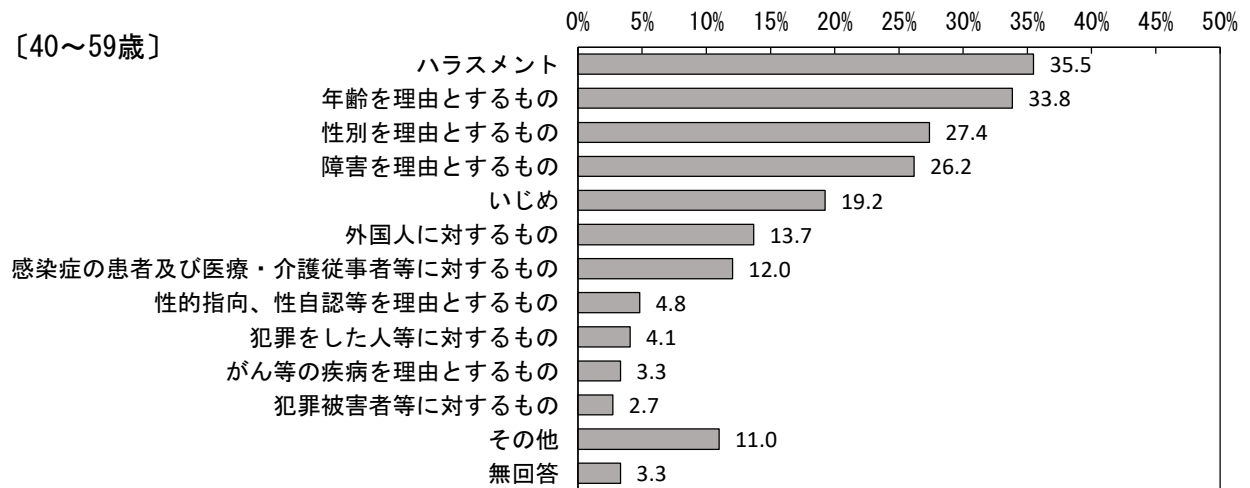


【年代別】

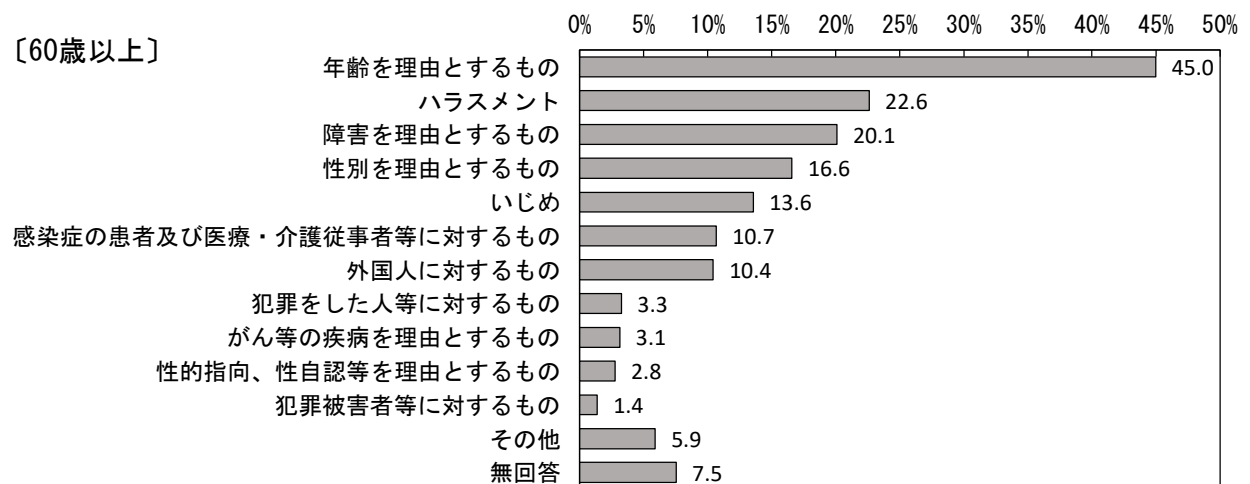
〔18～39歳〕



〔40～59歳〕



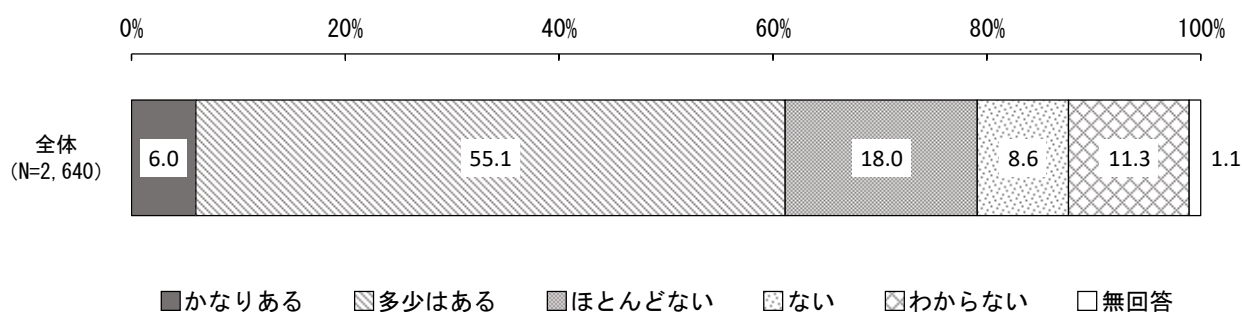
〔60歳以上〕



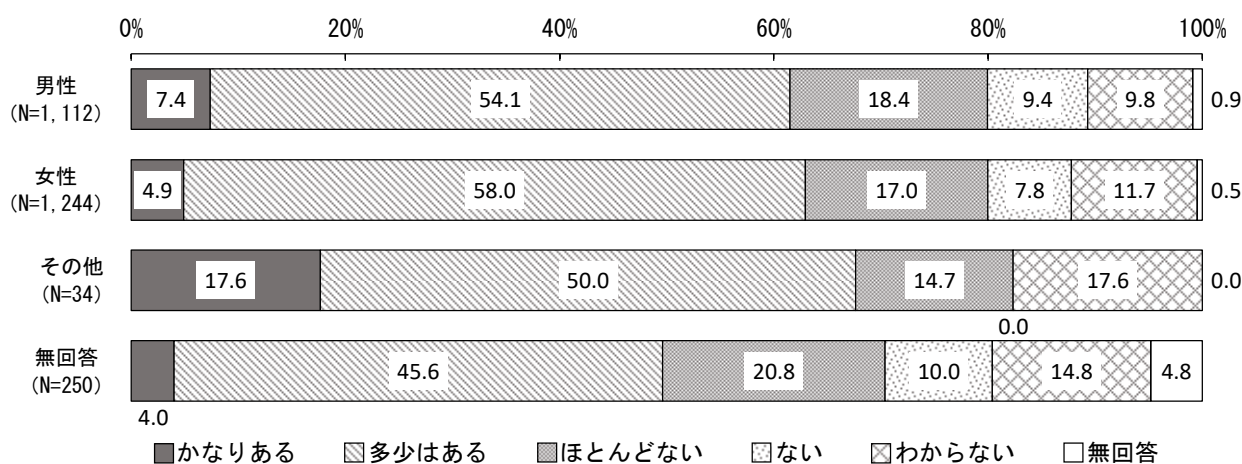
(3) 日本人から外国人に対する偏見や差別の有無

③ 日本人から外国人に対する偏見や差別はありますか（○は1つ）。

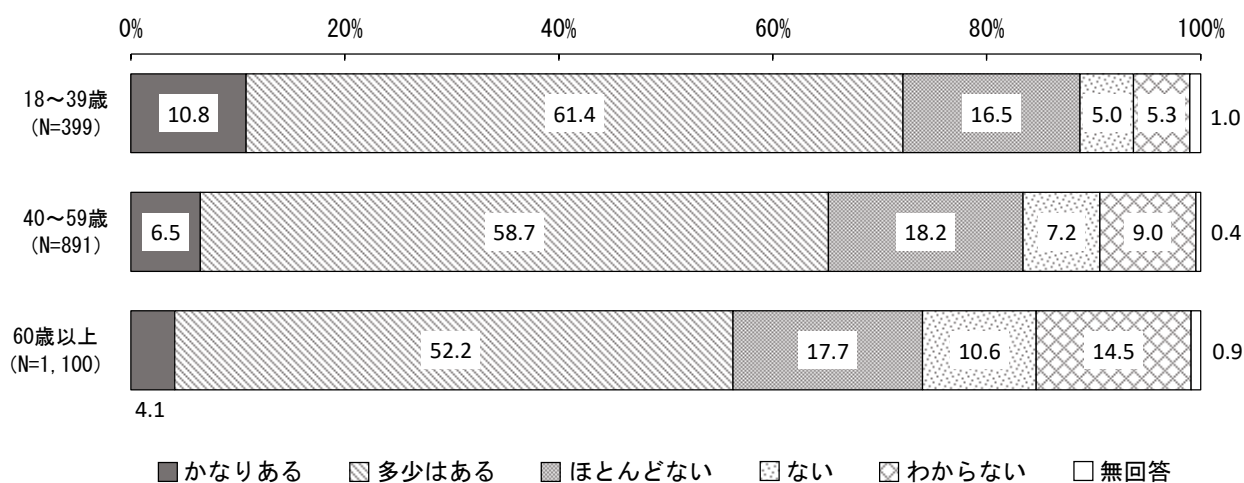
【全体】



【性別】



【年代別】

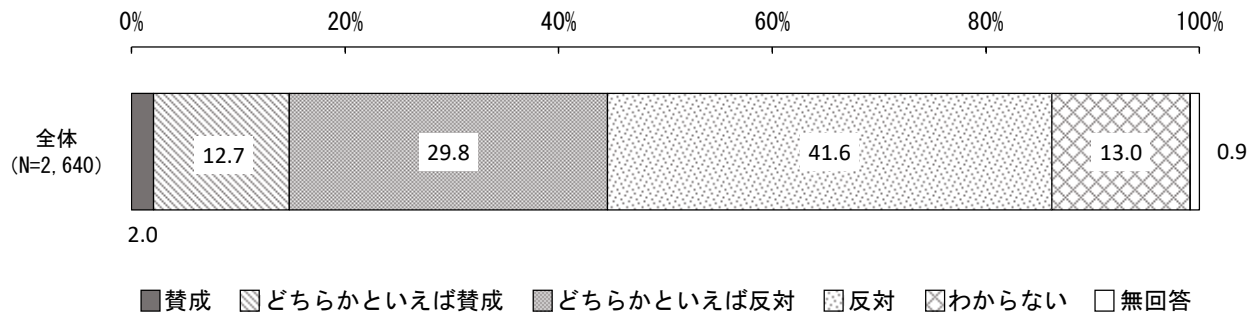


2 男女共同参画について

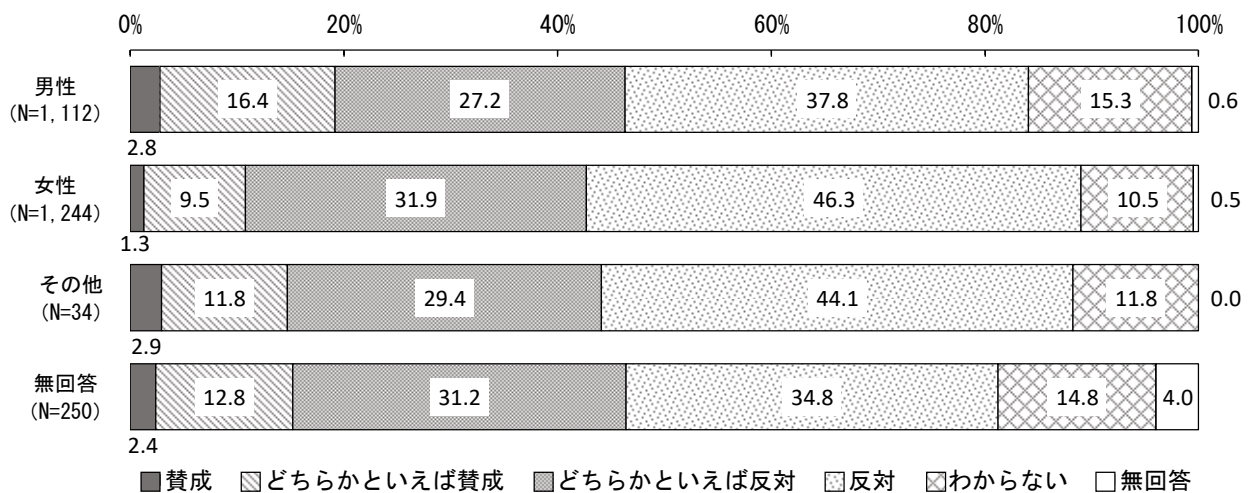
「男は仕事、女は家庭」の考え方

① 「男は仕事、女は家庭」という考え方がありますが、あなたはこれについてどう思いますか（〇は1つ）。

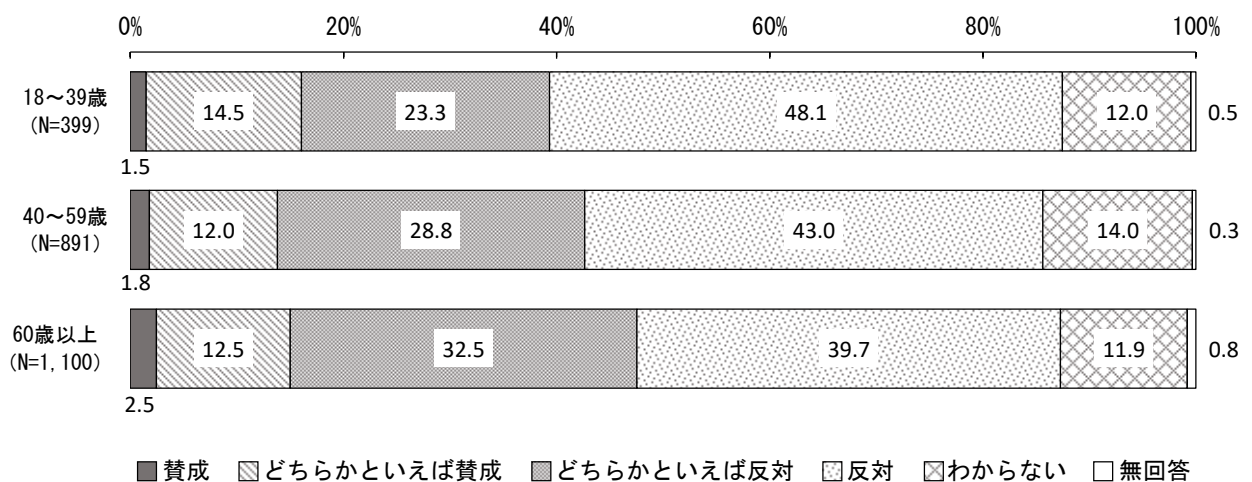
【全体】



【性別】



【年代別】

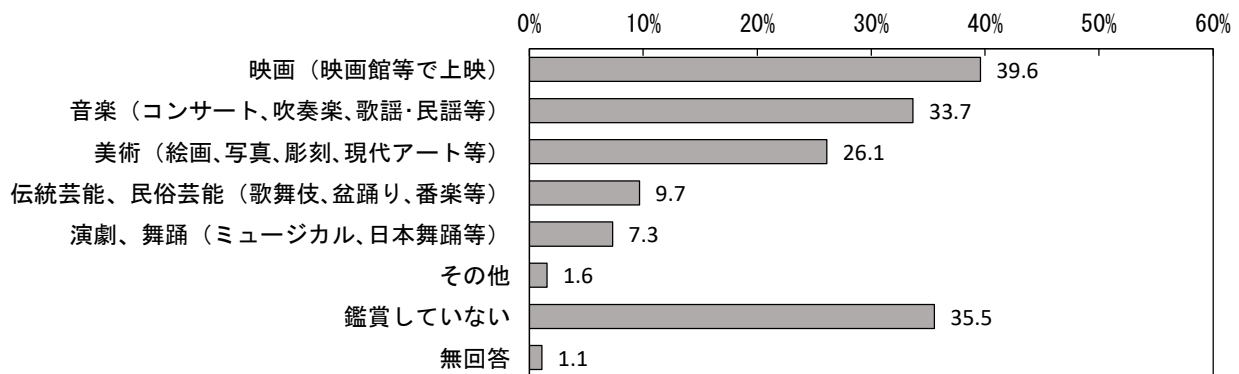


3 文化芸術の鑑賞・活動について

(1) 文化芸術の鑑賞の頻度

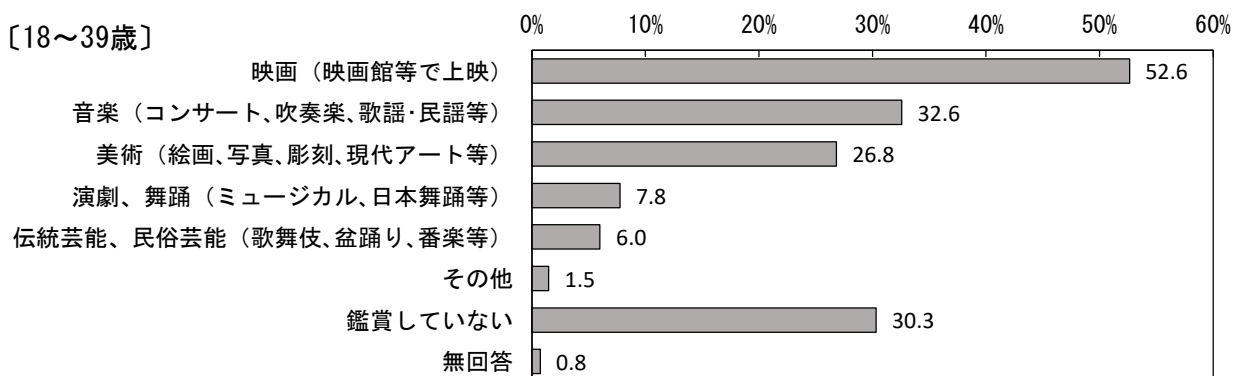
① あなたは、ここ1年間に文化施設等に出向いて直接鑑賞した文化芸術はありますか（〇はいくつでも）。

【全体】

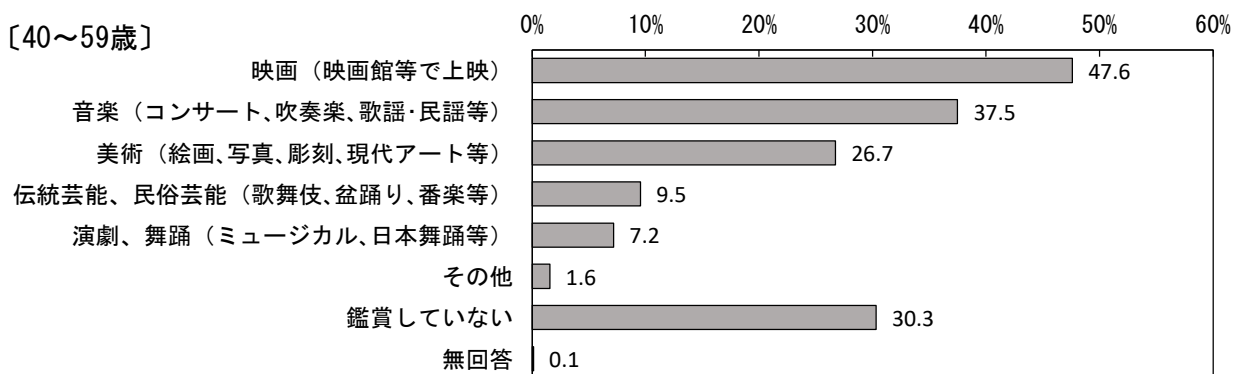


【年代別】

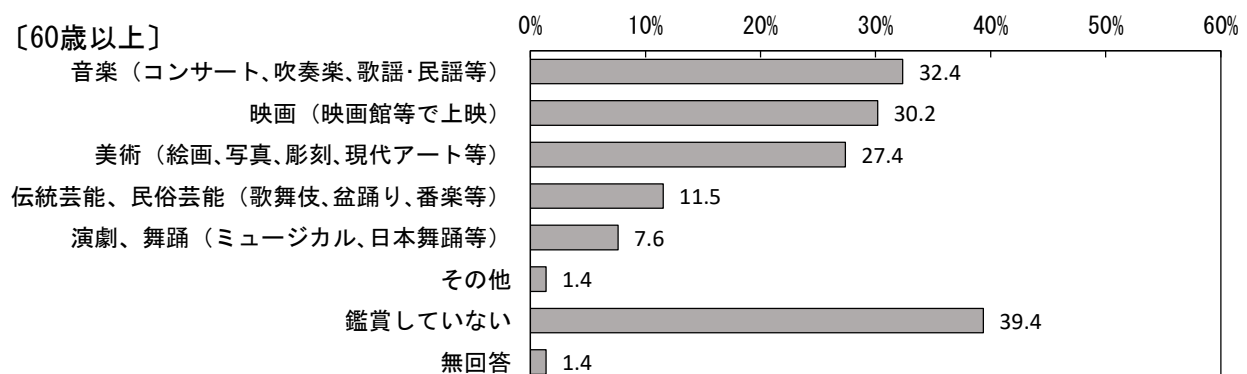
〔18～39歳〕



〔40～59歳〕



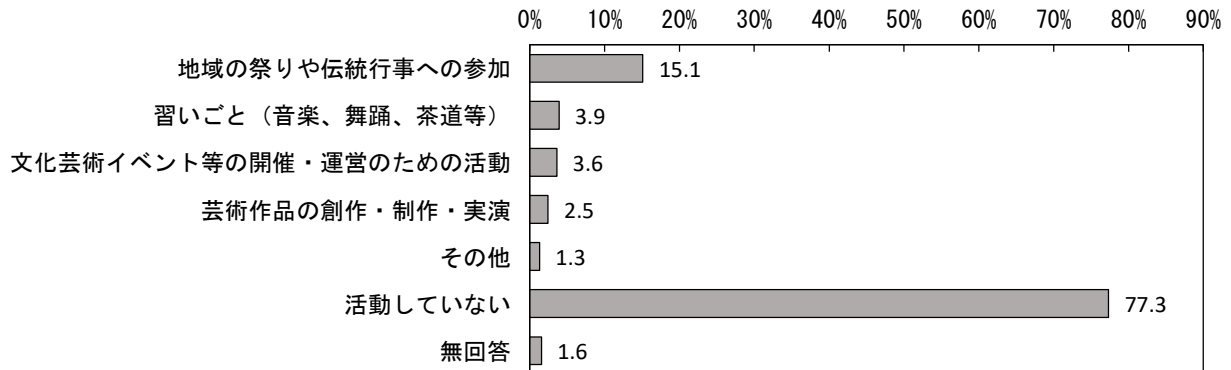
〔60歳以上〕



(2) 文化芸術の活動の頻度

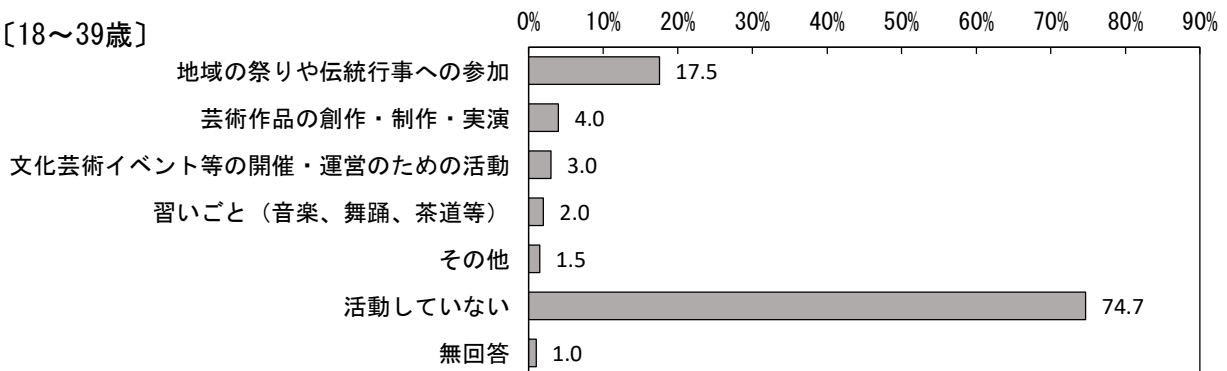
② あなたは、ここ1年間に芸術作品の創作、文化イベントへの出演・参加、文化事業でのボランティア活動などを行いましたか（〇はいくつでも）。

【全体】

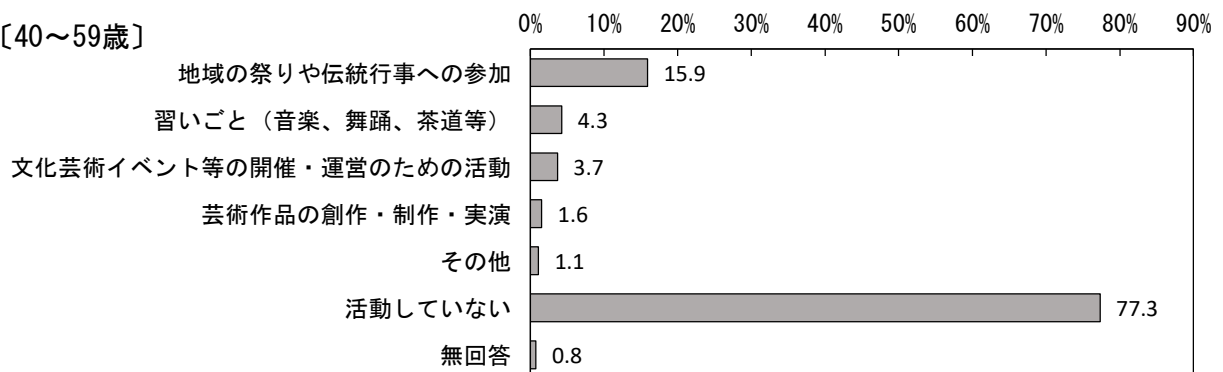


【年代別】

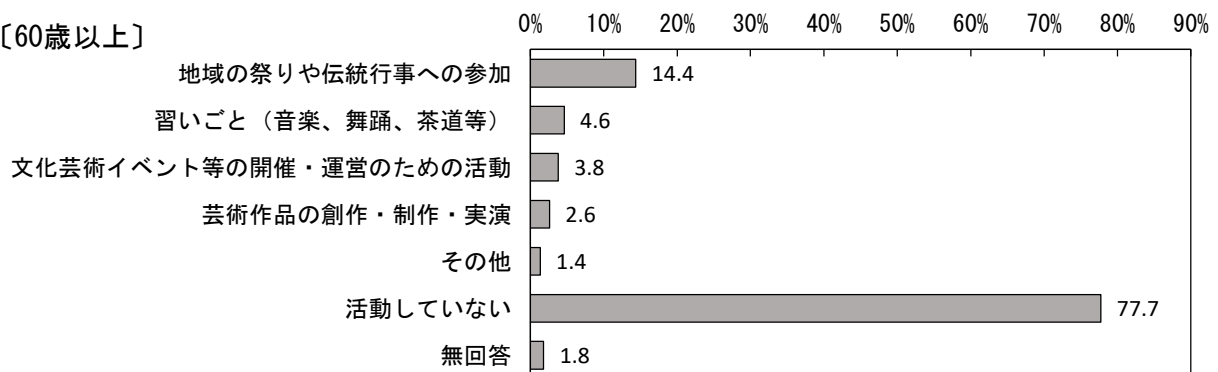
〔18～39歳〕



〔40～59歳〕



〔60歳以上〕



4 読書活動について

(1) 読書への興味

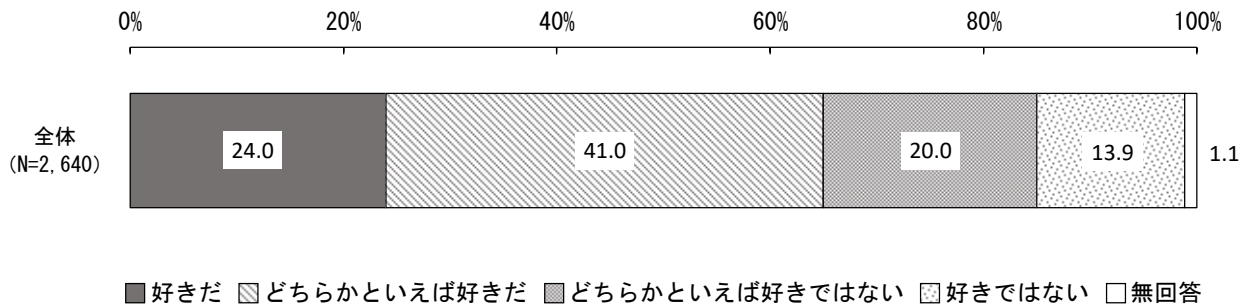
① あなたは読書（※）が好きですか（○は1つ）。

※読書には、新聞及び雑誌（電子媒体の記事（注1）を含む。）のほか、子どもへの読み聞かせ、オーディオブック（注2）も含まれます。

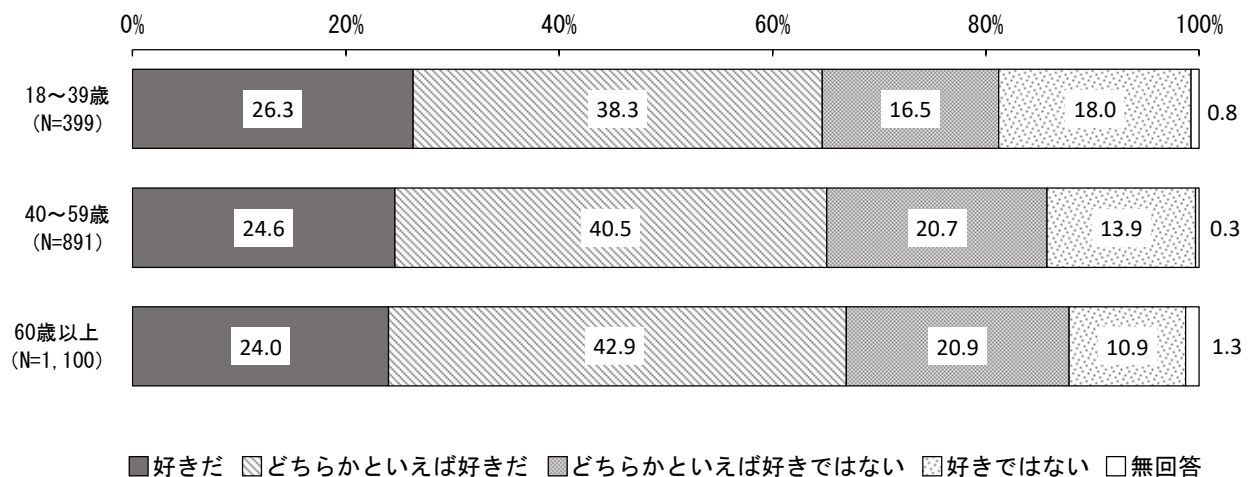
（注1）電子媒体の記事とは、新聞社や出版社等がインターネット上に掲載しているニュースや雑誌記事等のことです。

（注2）オーディオブックとは、書籍を朗読したものを録音したCDやカセット、インターネット上で提供されている音声コンテンツのことです。

【全体】



【年代別】



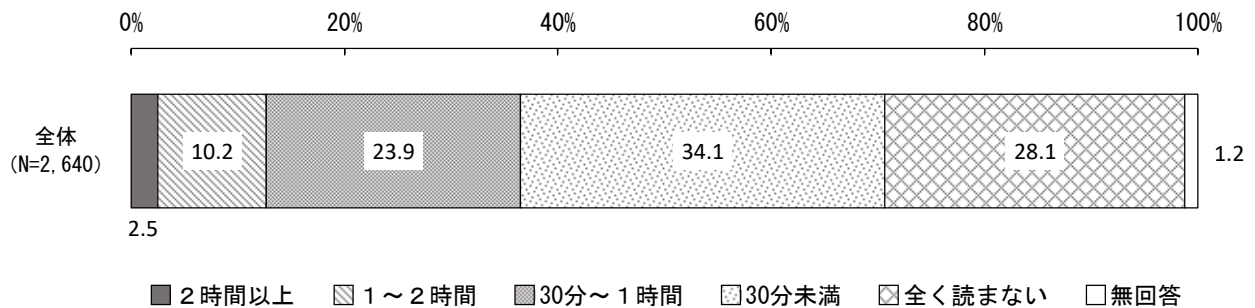
(2) 1日の平均読書時間

② あなたは1日平均(※)どれくらい読書をしていますか(○は1つ)。

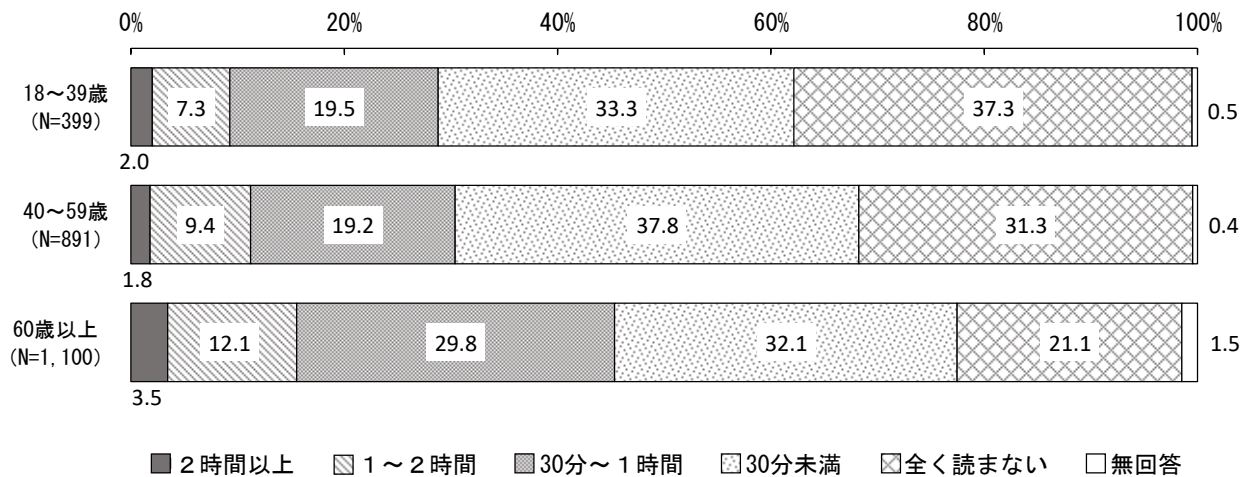
※子どもへの読み聞かせ時間も含みます。

※休日まとめ読みの場合は、1日平均に置き換えてください。

【全体】



【年代別】

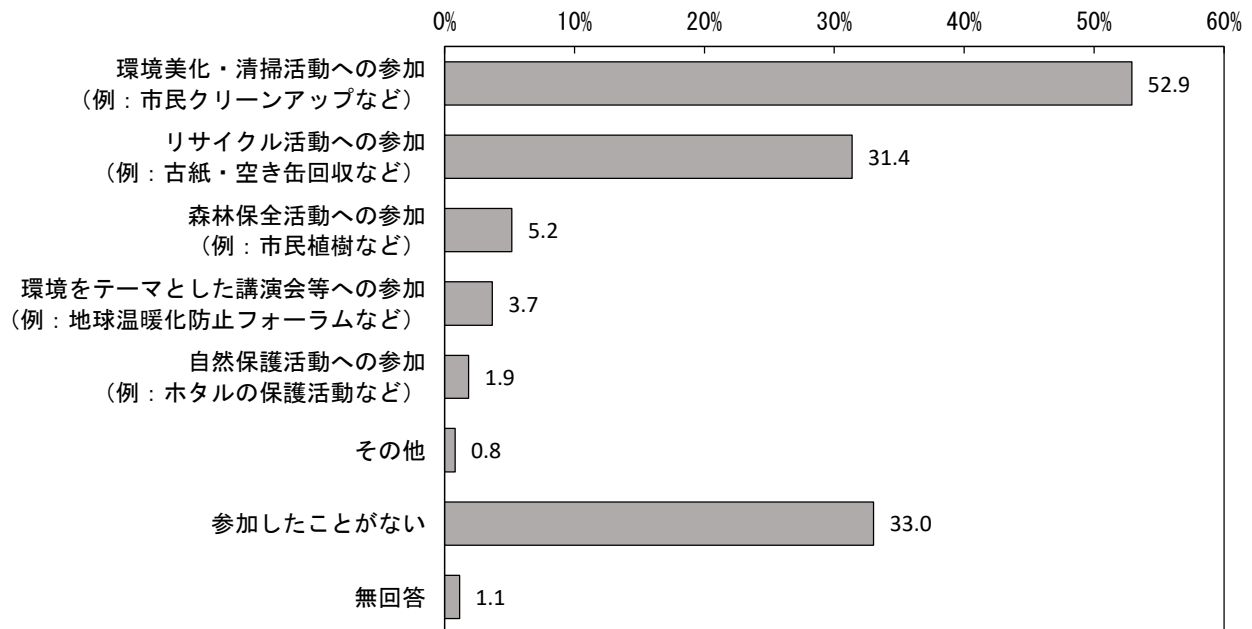


5 環境保全活動について

環境保全活動への参加状況

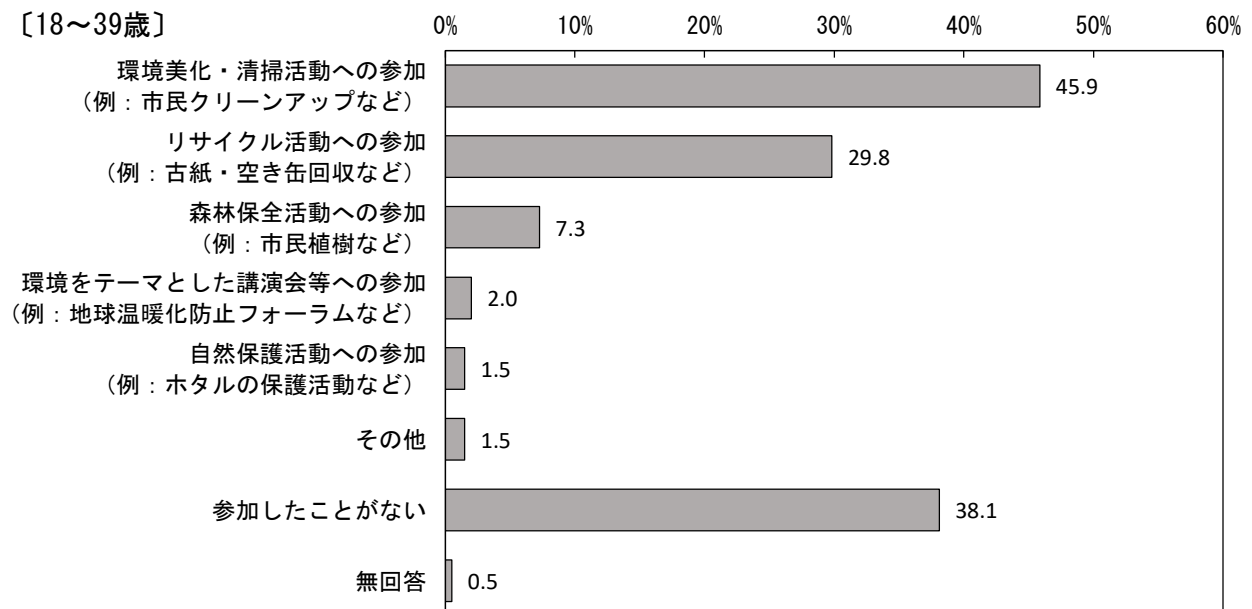
① あなたは、これまで環境保全活動に参加したことがありますか（〇はいくつでも）。

【全体】

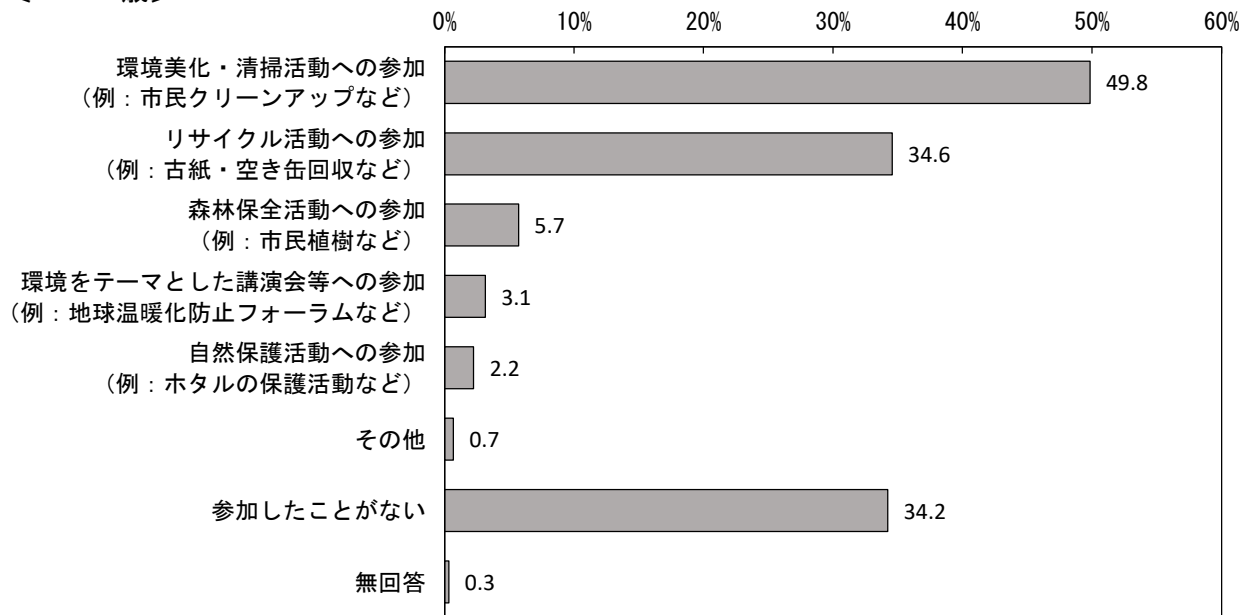


【年代別】

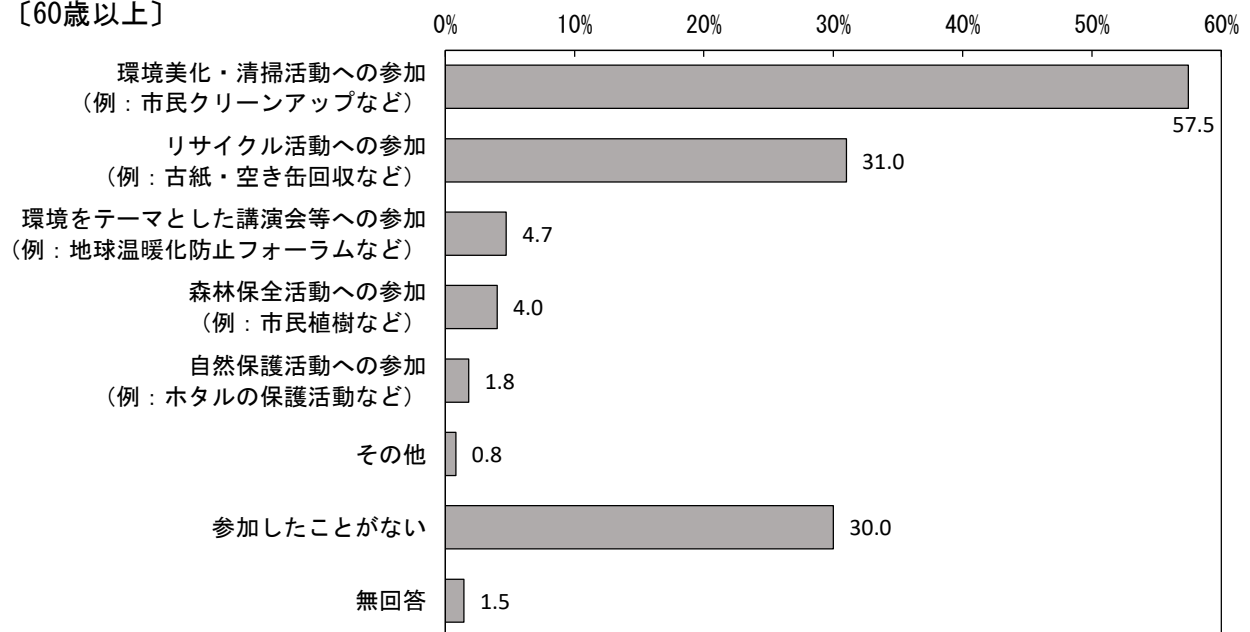
〔18～39歳〕



〔40～59歳〕



〔60歳以上〕



6 食品ロス問題について

食品ロスの認知、取組状況

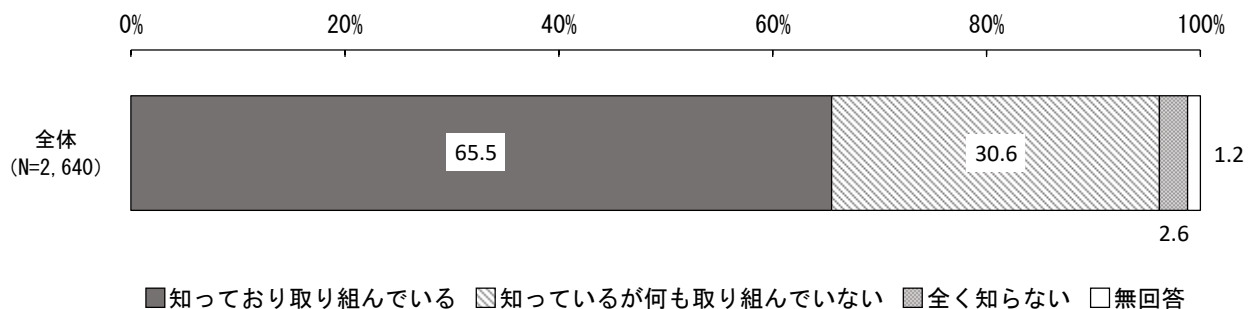
- ① あなたは、食品ロス（※）が社会問題になっていることを知っており、削減に向けた取組をしていますか（○は1つ）。

※食品ロスとは、本来食べられるのに捨てられる食品

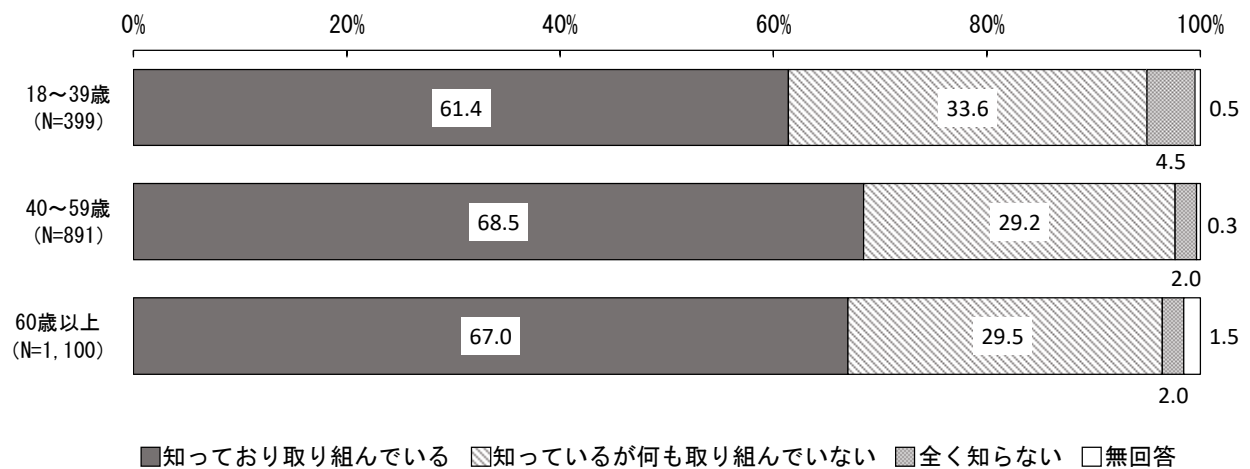
※削減に向けた取組の具体例

料理を作り過ぎない、出された料理は残さず食べる、外食の際は食べきれる量を注文、買い物の際は賞味期限や消費期限の近い商品を購入、宴会等の始まりと終わりの時間は席を立たずに料理を食べる 等

【全体】



【年代別】



7 社会活動・地域活動について

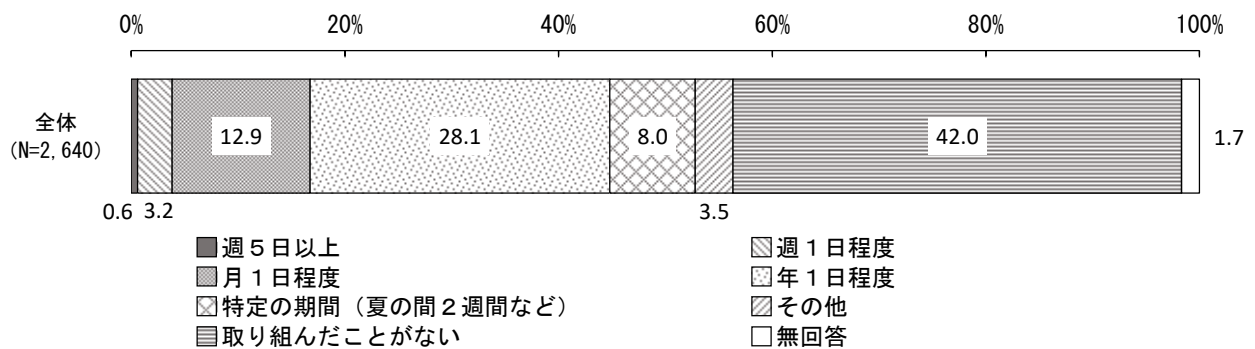
社会活動・地域活動への取組の頻度

- ① あなたが、ここ1年間に仕事以外の何らかの「社会活動・地域活動」(※)に取り組んだ頻度で、もっとも当てはまるものはどれですか(○は1つ)。

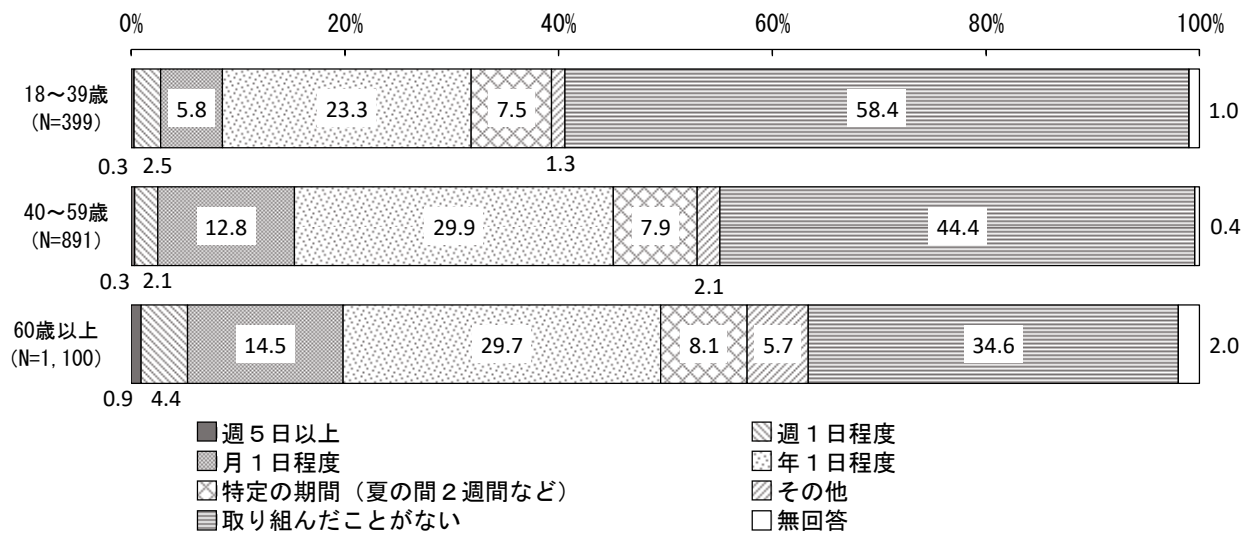
※「社会活動・地域活動」の具体例

地域の公園の花壇の手入れ、町内一斉清掃への参加、河川のごみ拾い、子育て支援、子ども会活動、まちづくりフェスティバル、祭り・伝統芸能の担い手、高齢者宅の除雪の手伝い 等

【全体】



【年代別】

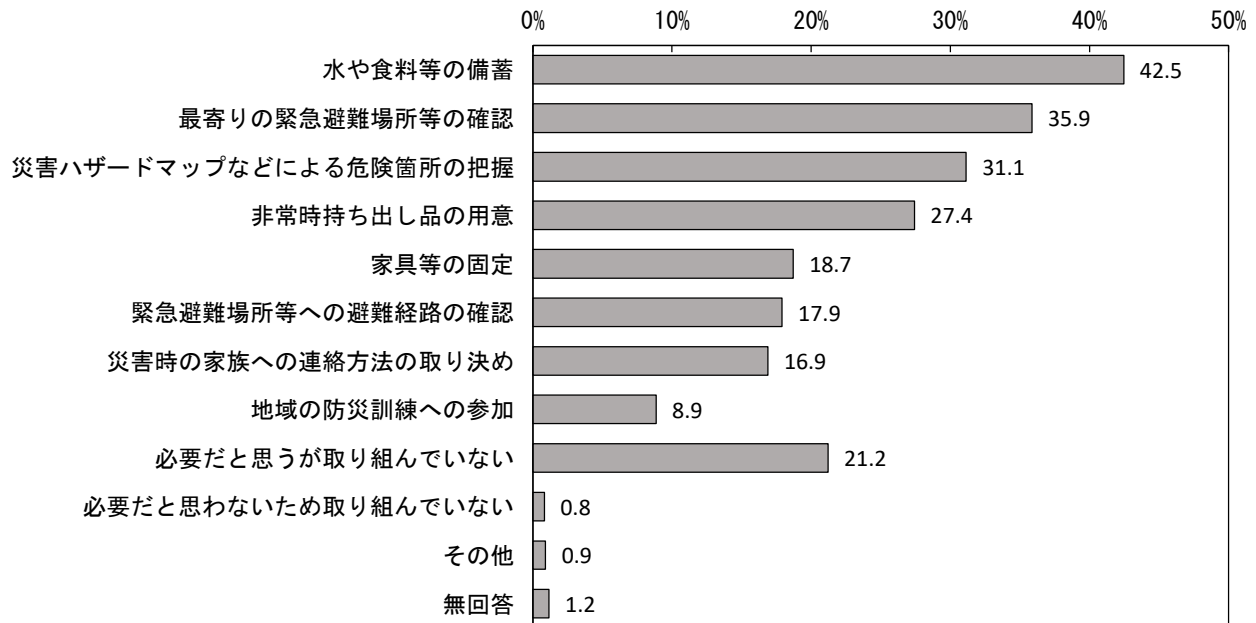


8 家庭での防災活動について

(1) 災害に備えた家庭での防災活動の状況

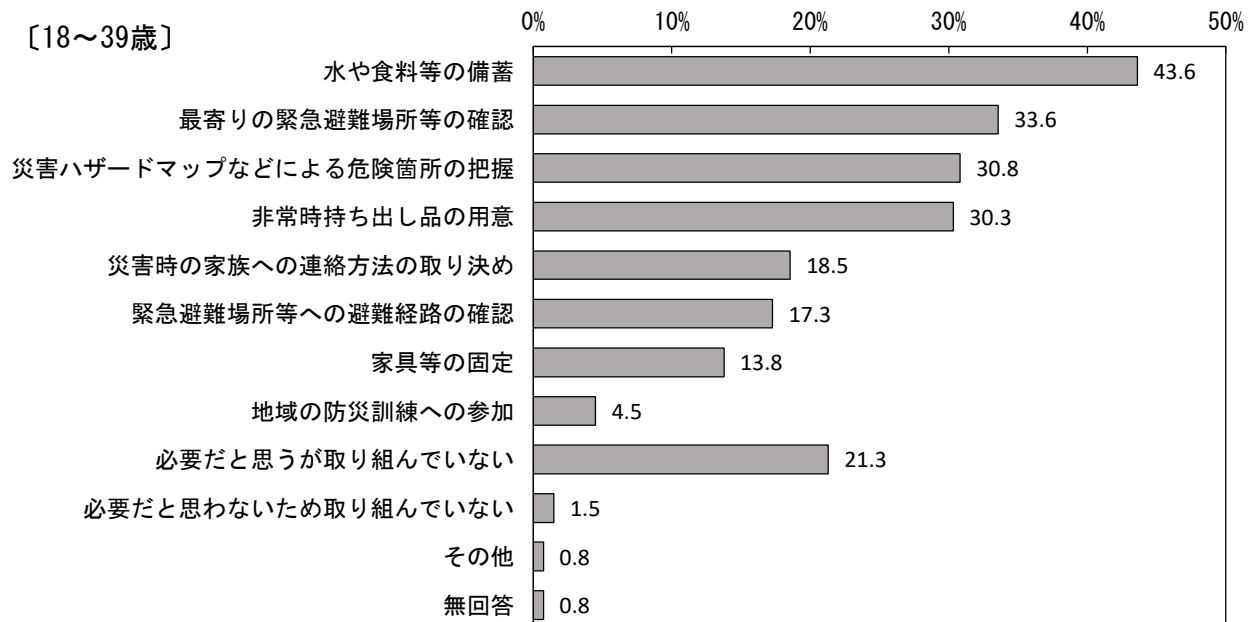
① あなたは、災害に備えて日頃どのような防災活動を行っていますか（〇はいくつでも）。

【全体】

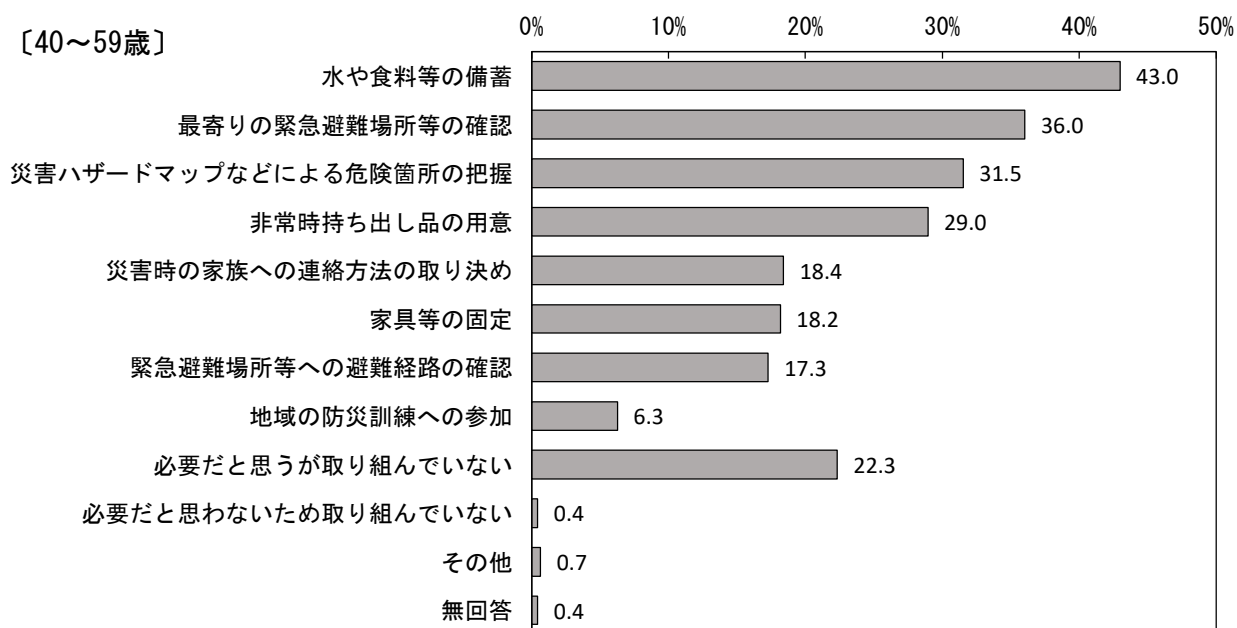


【年代別】

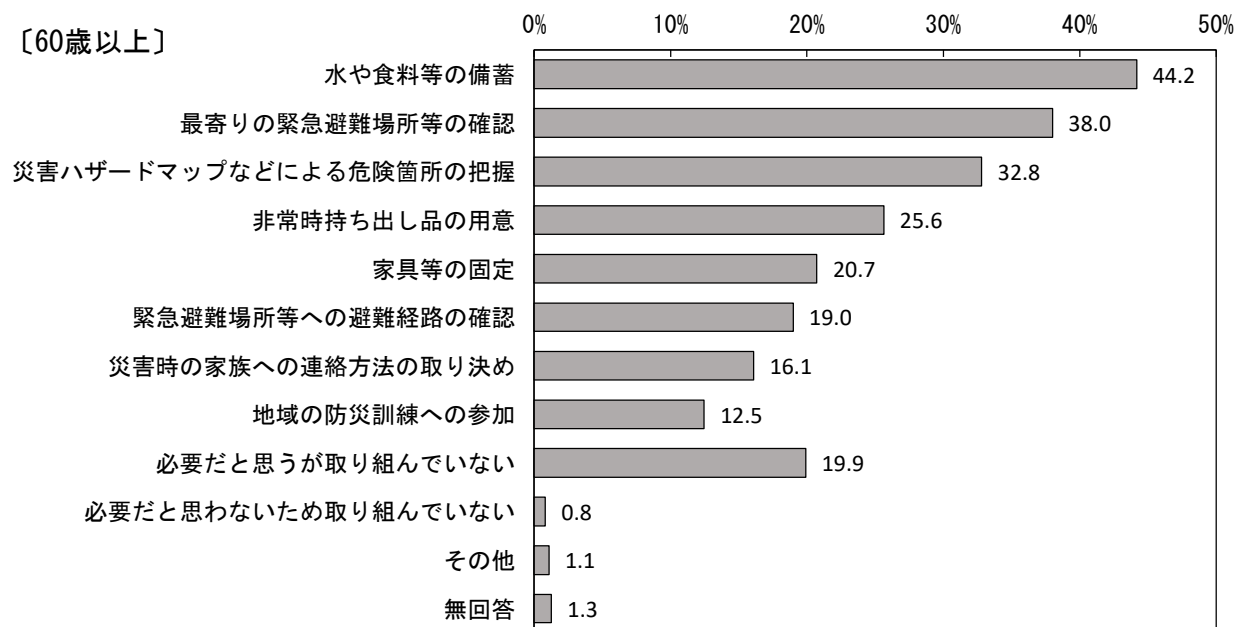
〔18～39歳〕



〔40～59歳〕



〔60歳以上〕

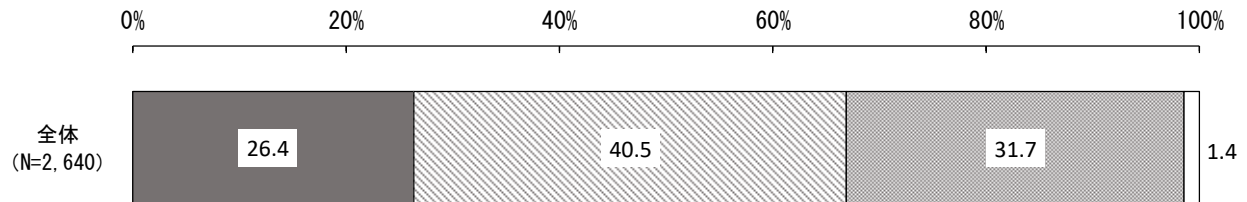


（２）家庭での災害時に備えた備蓄状況

② あなたの家庭では、災害時の備えとして、水・食料等の備蓄（※）（家族人数×３日分）をしていますか（○は１つ）。

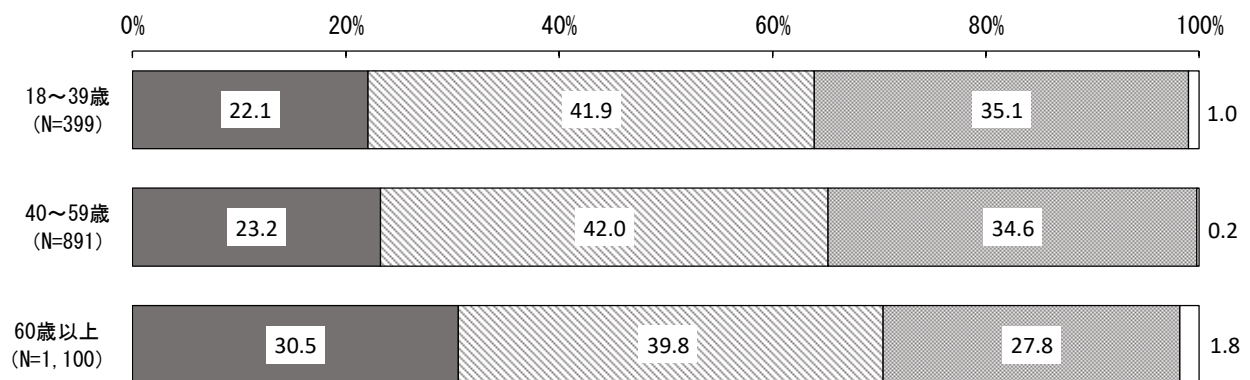
※備蓄には、普段から家庭で使うために購入・保管している冷蔵庫内の食料品等や、災害時にも活用できるペットボトル飲料水やカップラーメン、缶詰なども含みます。

【全体】



■ 3日以上の備蓄をしている ▨ 備蓄はしているが、2日分以下である ■ 備蓄はしていない □ 無回答

【年代別】



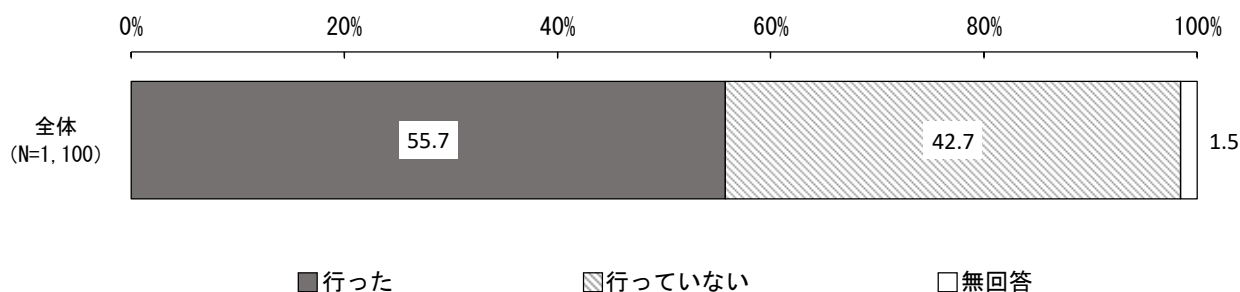
■ 3日以上の備蓄をしている ▨ 備蓄はしているが、2日分以下である ■ 備蓄はしていない □ 無回答

9 高齢者の社会参加について

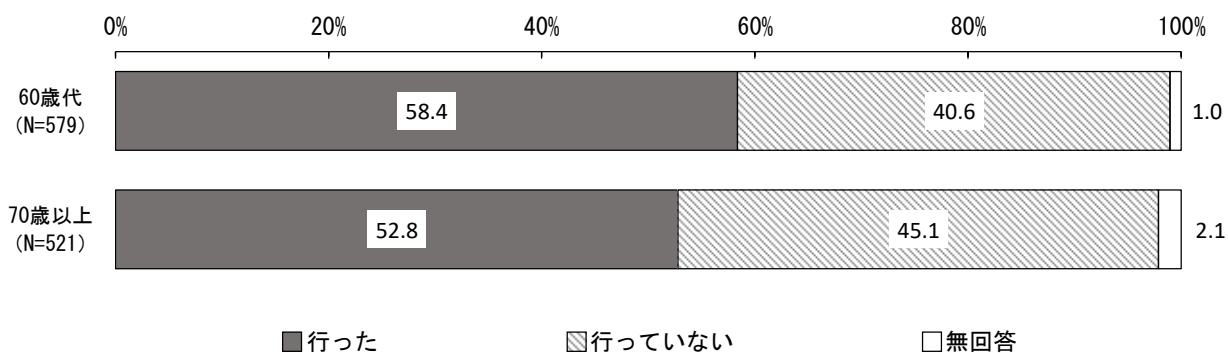
60 歳以上の方の仕事や社会活動等への参加状況（令和 7 年度）

① 60 歳以上の方にお聞きします。あなたは、令和 7 年度に仕事や社会活動等（趣味や健康づくり、生涯学習を含む）を行いましたか（どちらかに○）。

【全体】



【年代別】

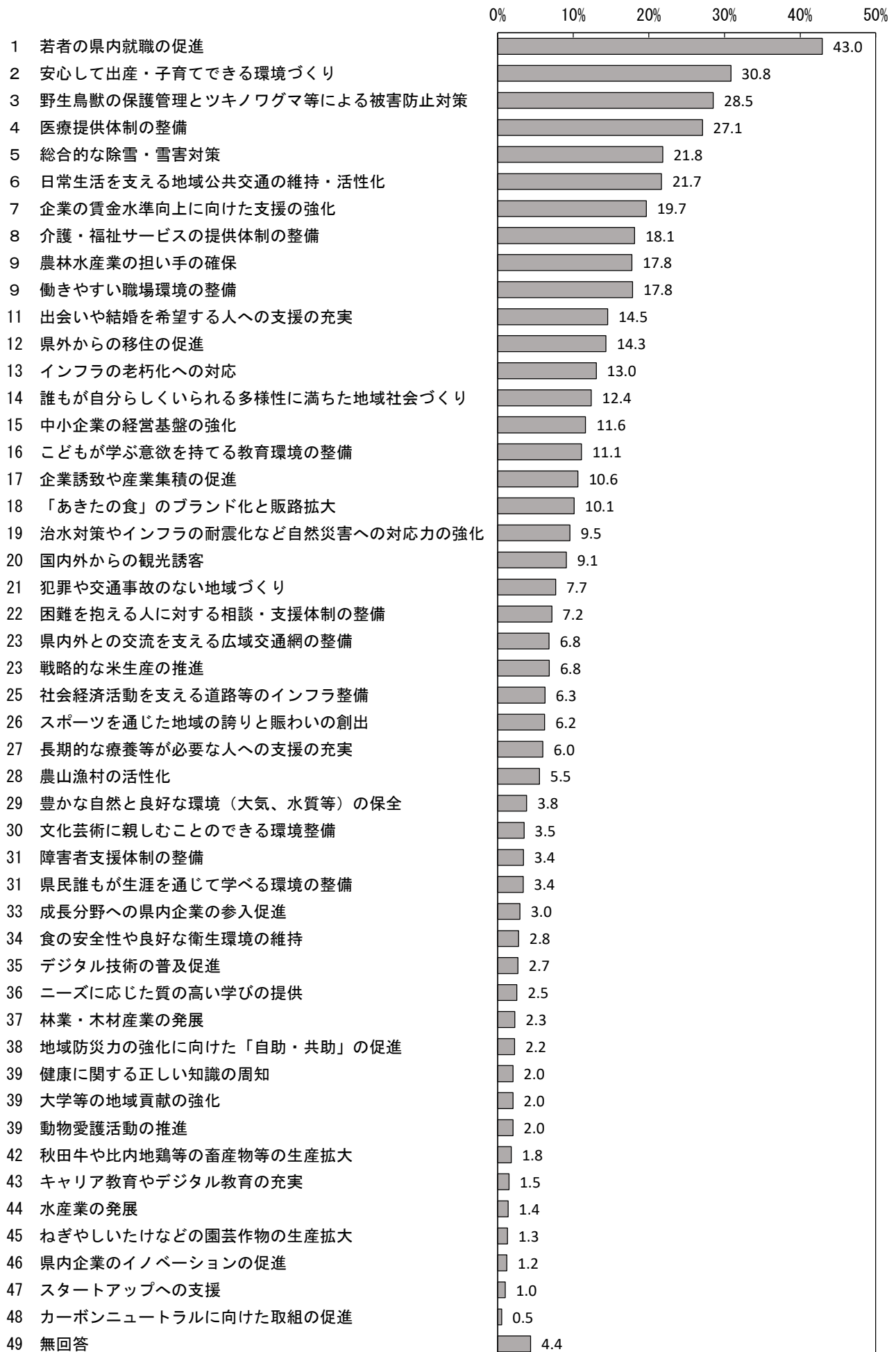


第3章 県の重要課題について

重要課題として県に力を入れてほしいこと（問3）

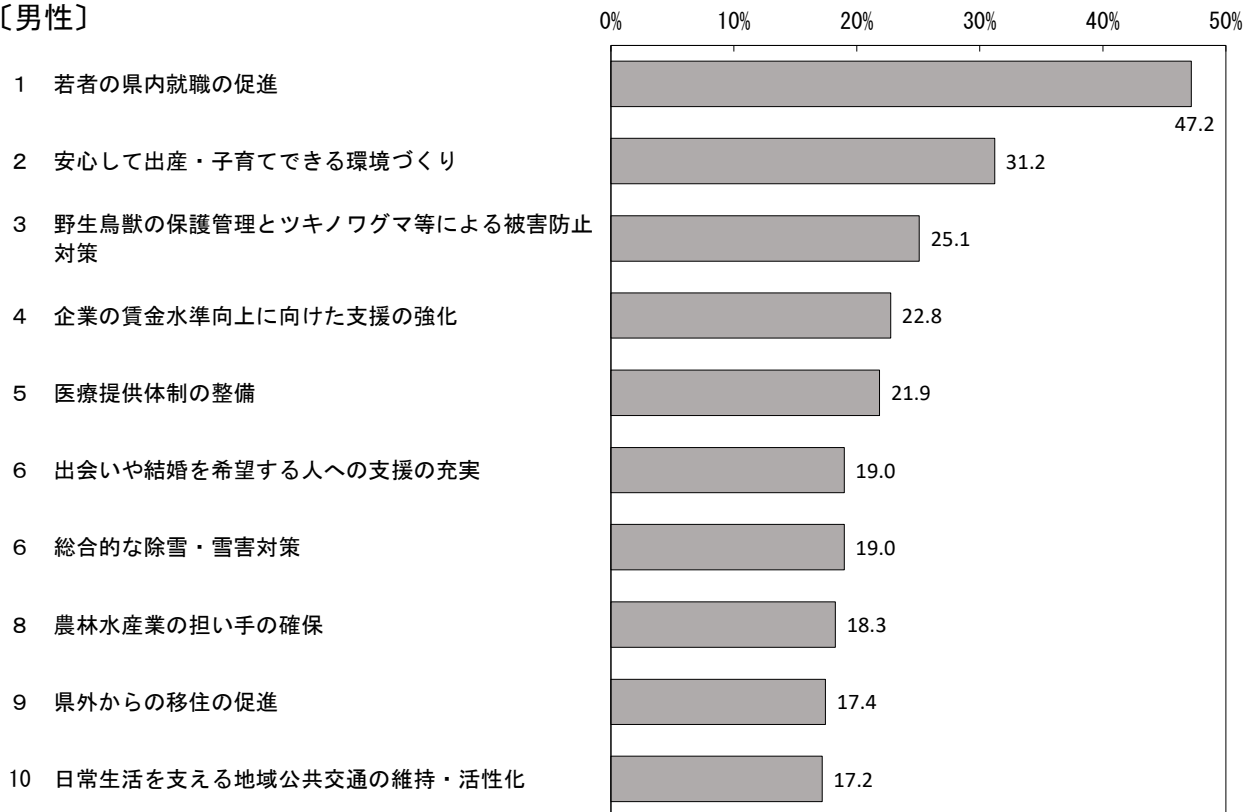
今後の県政を推進していく上で、あなたが重要課題として県に力を入れてほしいことは何ですか。5つまで選択して番号を記入してください。

【全体】

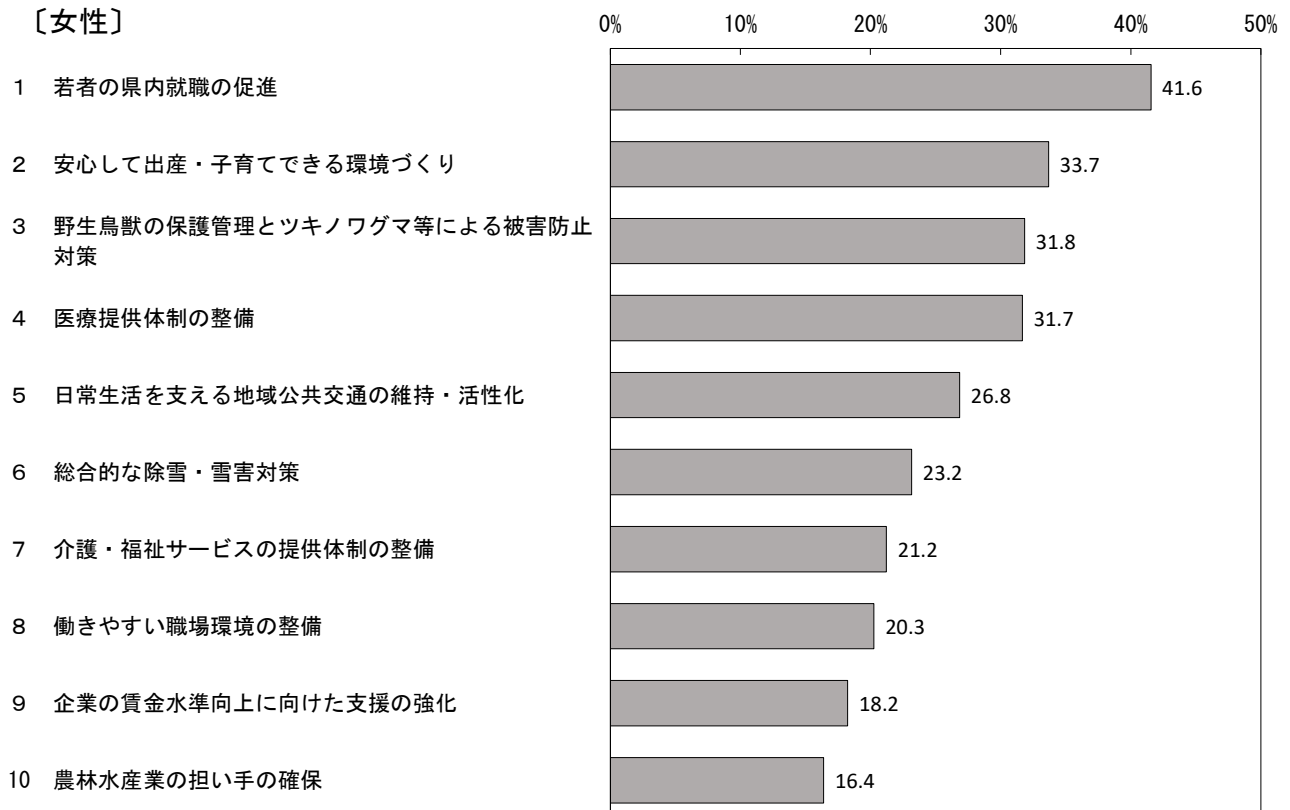


【性別】

〔男性〕

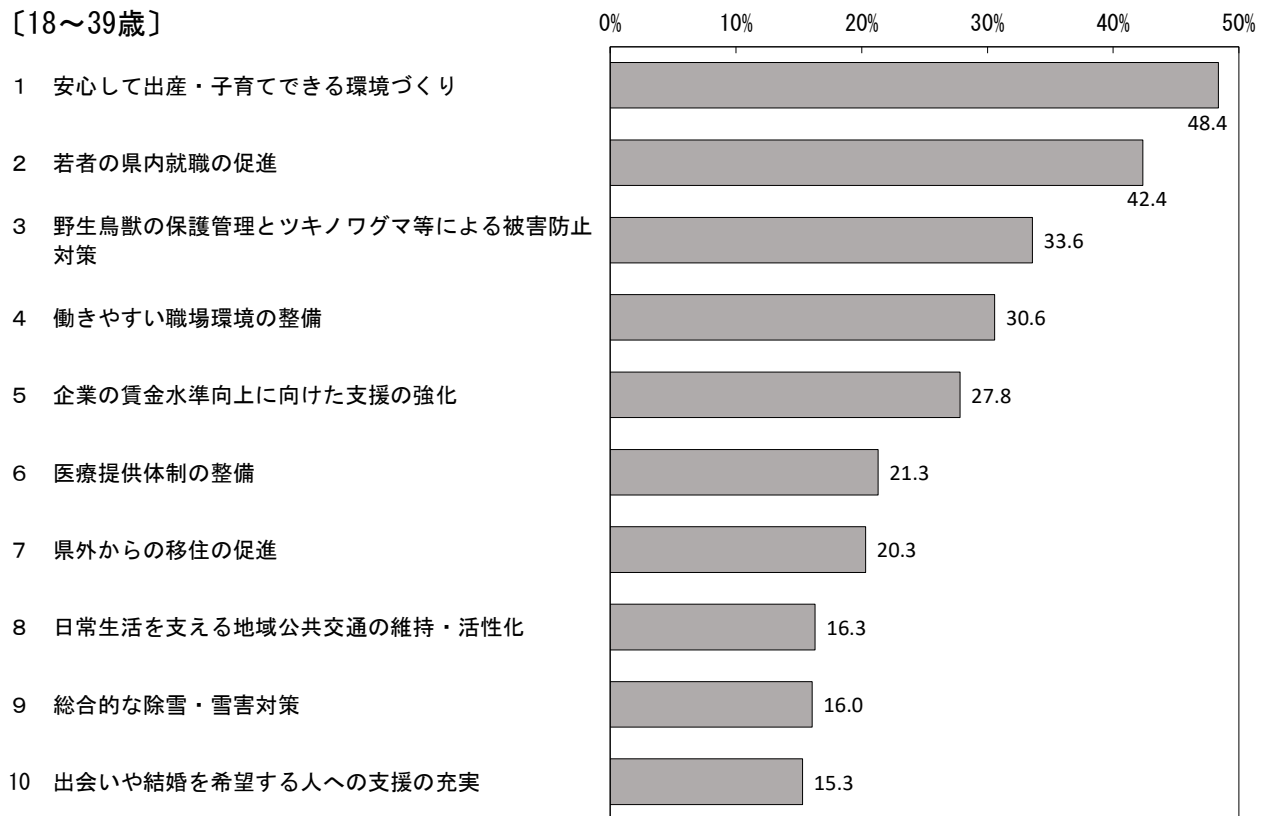


〔女性〕

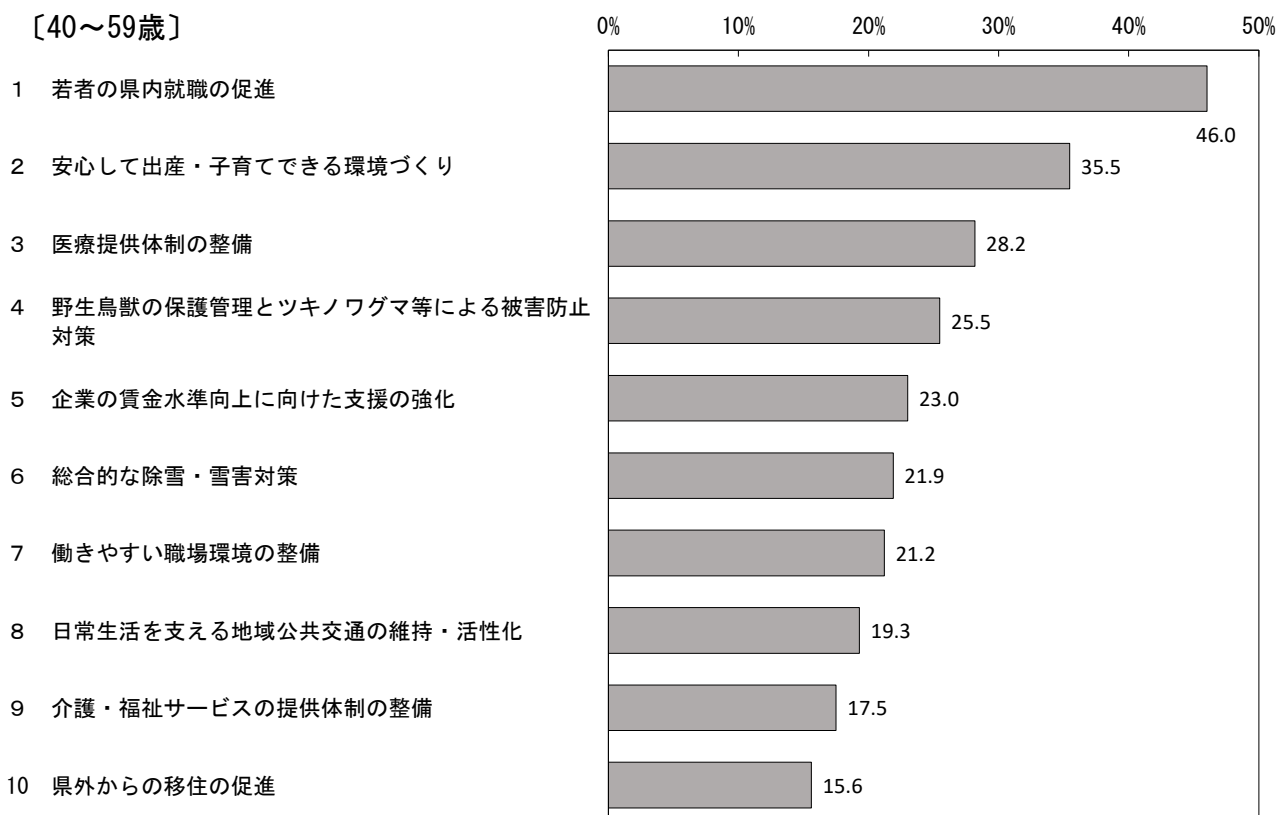


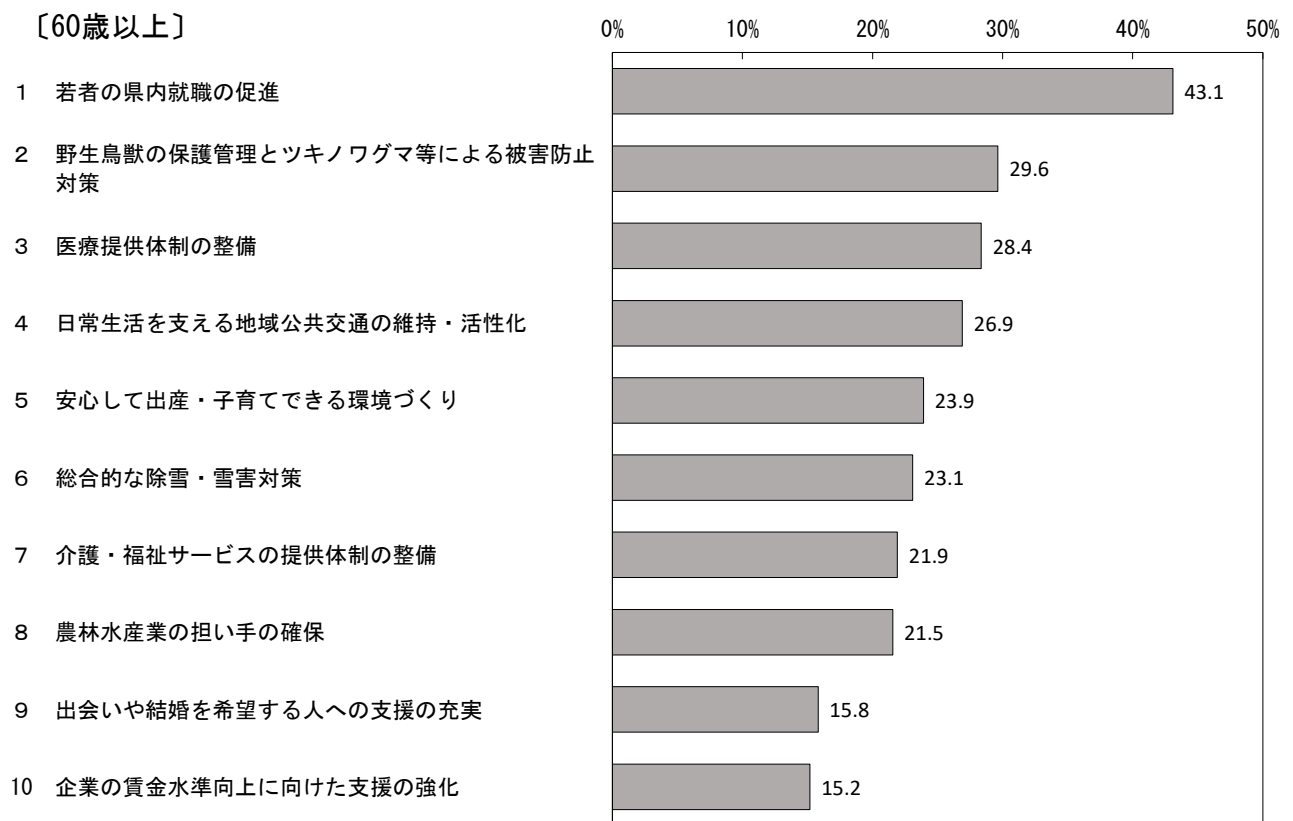
【年代別】

〔18～39歳〕



〔40～59歳〕





第4章 県政への自由意見について

県に力を入れてほしいことや、県が取り組むべきだと思うことについて、何でもお気軽にお聞かせください。（問４）

【集計の方法】

回答を内容により秋田県総合計画の政策・施策ごとに分類した。同一の回答者が複数の意見を記入している場合には、項目を分けて別意見として扱っている。

1 自由意見の項目別件数

項番	施 策 名	件数
政策１	未来づくり	218
1-1	移住・定住で未来を拓く「あきた暮らし」を実現する	54
1-2	出会いから子育てまで希望が持てる社会を実現する	109
1-3	誰もが自分らしくいられる魅力ある地域社会を構築する	55
政策２	観光・交流	180
2-1	「心が動くあきたの観光」を実現する	53
2-2	「あきたの美酒・美食」のブランド力と販売力を強化する	7
2-3	誇りと賑わいあふれる「スポーツ立県あきた」を実現する	43
2-4	文化芸術が紡ぐ彩り豊かな秋田を創り出す	9
2-5	暮らしと交流を支える交通ネットワークを構築する	68
政策３	農林水産	56
3-1	日本の食を支える農業を実現する	41
3-2	森の恵みを未来へつなぐ林業・木材産業を実現する	5
3-3	環境変化に対応した新たな水産業を実現する	7
3-4	活力あふれる明るい農山漁村を実現する	3
政策４	産業	185
4-1	「人への投資」と経営革新により中小企業の経営基盤を強化する	119
4-2	成長分野への参入とイノベーションの促進により県内企業の挑戦を後押しする	13
4-3	人材を呼び込むGX関連産業等の集積を図る	53
政策５	健康・医療・福祉	89
5-1	持続可能な医療・介護サービス提供体制を構築する	59
5-2	誰もが健康的に自分らしく暮らせる社会を実現する	22
5-3	複雑・多様化する社会課題に対応できる相談・支援体制を整備する	8
政策６	教育・人づくり	71
6-1	全てのこどもの健やかな心身と自ら学ぶ意欲を育てる	27
6-2	新時代をたくましく生き抜く力を育てる	16
6-3	「こどもまんなか社会」を支える環境を整備する	15
6-4	地域社会の発展と産業振興に資する高等教育機関を活性化する	9
6-5	誰もが生涯を通じて学び活躍できる環境を構築する	4
政策７	防災・減災・県土強靱化	51
7-1	気候変動等に対応した災害に強い地域社会を実現する	18
7-2	社会経済活動を支えるインフラを強化する	12
7-3	持続可能なインフラマネジメントを実現する	21
政策８	環境・くらし	226
8-1	豊かな自然と良好な環境を次世代に継承する	166
8-2	カーボンニュートラル（ネット・ゼロ）の実現に向けた地域社会を形成する	0
8-3	犯罪・事故のない誰もが穏やかで安全に暮らせる地域を実現する	54
8-4	快適で質の高い生活環境を実現する	6
その他	県政全般に対する意見・その他	331
合 計		1,407

2 主な自由意見

924 人から 1,407 件の意見があり、一部を抜粋して掲載する。なお、誤字等は校正しているため、掲載文は回答の原文とは異なる場合がある。

政策 1 未来づくり

施策 1 移住・就職で未来を拓く「秋田暮らし」を実現する

- 秋田に住んで頑張ろうと考えている世帯も大事にしてほしい。定住するという選択で家建てるとなった時の支援や、秋田に住んでいる人が空き家を買う時の支援など、地元でこんなに支えてくれるのなら、地元で頑張ろうと思える支援を充実させてほしい。(女性／40 歳代／秋田地域)
- 秋田県には、豊かな自然や落ち着いた生活環境、おだやかな県民性など、他県との差別化できる事柄は沢山あるので、そこに力を入れて、移住者を増やしてほしい。(男性／50 歳代／仙北地域)
- 若者にとって魅力的な職場があっても、情報が少なく、届いていないのではないかと。(女性／18～19 歳／－)
- 小さくても「教育の場の維持」があり「魅力ある企業」があれば、県内に住む若者が県外流出せず、県内に定着し、「良い環境が整っている秋田県」に県外から移住する方々も増えて賑わうのではないかと。住む場所のサポートや補助金があれば更に良い。(男性／50 歳代／秋田地域)
- 都会からの山村留学（小学生から大人まで）を行う市町村を増やし、交流をすることで秋田の良さを子どもとその親にも知っていただき「口コミ」で秋田に興味を持つ人が増えるようにして未来につなげたい。(女性／40 歳代／仙北地域)

施策 2 出会いから子育てまで希望が持てる社会を実現する

- こどもの出生率を上げる事が第一優先。出産時の補助金の拡大やこどもが通院して親が仕事を休んだ際の支援など考えられないか。まずは、こどもを育てても生活が圧迫されないようにすることが必要。(男性／20 歳代／秋田地域)
- 子育て世代が安心して産み育てられるよう、出産時の賃金の保障や産婦人科の確保、親子の居場所作り、こども 1 人当たりの食費補助などが必要。(女性／40 歳代／秋田地域)
- 少子化対策について、まずは、若者が結婚することに意義を見いだせない理由は何かを深掘りしたらどうか。(男性／70 歳以上／山本地域)
- 移住・出産に期待するのはどうか。多様な人生観がある今の世の中で、結婚してこどもを産む人生を選択する人が少ないのも現実。(女性／40 歳代／北秋田地域)

- 雪の日や雨の日にこどもたちを遊ばせる施設がほしい。県としても、移住を促進する上での強みになるのではないかな。(女性／70 歳以上／秋田地域)

施策 3 誰もが自分らしくいられる魅力ある地域社会を構築する

- 増え続ける空き家を、次世代の者が全て背負うには限界がある。処分するにも負担が大きく、手をつけられずにいる人が沢山いる。何らかの対応を検討していただきたい。(男性／50 歳代／秋田地域)
- 女性の活躍について、女性の管理職候補が少ないということは、女性側の「管理職になりたい」意識が低いことも要因なのではないかな。男女共同参画をより推進するのであれば、その意識の変革を促す施策も必要なのではないかな。(男性／40 歳代／地域)
- 地域のコミュニティが崩壊しつつあるので、市町村へ働きかけ、近隣の集落と共同できるような援助や指導を行い、崩壊を防止してほしい。(男性／70 歳以上／秋田地域)
- 秋田県に住める喜びを県民が再認識できる様な視点が大事ではないかと思う。高齢化しても安心して暮らせるように、地域とのつながりを大切にできる思いやりのあるコミュニティの社会を望む。(男性／50 歳代／雄勝地域)
- 人口減少が進む中で、県としてどのようなまちづくりを目指しているのか、その方向性を具体的に示してほしい。(その他／40 歳代／ー)

政策 2 観光・交流

施策 1 「心が動くあきたの観光」を実現する

- 秋田には誇れるものがたくさんあるのに、その魅力を伝えるのがあまり上手ではないと感じる。東北の中でもインバウンドが少ない現状を見ると、発信力の強化や話題づくりが必要なのではないかな。若い世代や県外の人の視点、SNSを活用した国内外へのPRなど情報発信に期待する。(女性／40 歳代／秋田地域)
- 観光客を呼び込むためには、交通の整備や宿泊施設の増設、宿泊先周辺の店の活性化など、また来たい・住みたいと思えるような政策が必要。(女性／20 歳代／山本地域)
- 秋田は観光地が少ないと感じている。名産や行事（花火大会等）はあるが、恒久的に来てもらうためにはその場所自体に魅力があることが重要ではないかな。(女性／20 歳代／秋田地域)
- 秋田の玄関口である秋田駅前の活性化が大事。観光をするにしても、秋田駅が起点となるので、情報が収集できる、レンタカーが分かりやすく借りられるなど、観光で使えるものがコンパクトになっているといい。(女性／40 歳代／秋田地域)

- 観光PRについて、東京だけではなく、札幌・大阪・福岡など他の地方都市にも拡大するべきではないか。（男性／30 歳代／仙北地域）

施策2 「あきたの美酒・美食」のブランド力と販売力を強化する

- 農林水産業が衰退しないためにも、秋田県産の素晴らしい日本酒、食品について、県外や海外への販路拡大を進めてほしい。（－／－／－）
- 秋田の美味しい食べ物や酒について、知ってもらうためのPRの方法を考え直す必要があるのではないかな。酒蔵見学など、知ってもらってさらにそれを地元で食べてもらえるようなキャンペーンがあれば良い。（男性／50 歳代／雄勝地域）
- 県内の観光地のお土産が必ずしも県産品ではない事にがっかりすることがある。お菓子や食料品などのお土産品の製造については、県が後押ししても良いのではないかな。（女性／60 歳代／由利地域）

施策3 誇りと賑わいあふれる「スポーツ立県あきた」を実現する

- サッカースタジアムの整備を早急に実施してほしい。プロスポーツは衰退する秋田県にとって賑わいを創出する希望の光だと思う。（男性／20 歳代／秋田地域）
- 秋田県にサッカースタジアムは不要。そのお金でクマ対策や賃金値上げ、医療・福祉の充実に取り組んでほしい。（女性／40 歳代／由利地域）
- サッカースタジアム建設について、サッカーだけでなく、他のイベントに利用ができれば有用性があるのではないかな。（女性／50 歳代／秋田地域）

施策4 文化芸術が紡ぐ彩り豊かな秋田を創り出す

- 秋田は吹奏楽など音楽も盛んなので、スポーツと同じように音楽にも県として力を入れてほしい。（女性／40 歳代／秋田地域）
- 一流アーティストのコンサートやロックフェス、アニメフェスなど集客できる要素がもっと増えれば、魅力ある街となり、若者は出て行かないのではないかな。（女性／60 歳代／由利地域）

施策5 暮らしと交流を支える交通ネットワークを構築する

- 県央から離れた地域の生活環境は、医療・交通等においては、不便を感じる事が多々ある。広い視野での対応を望む。（男性／50 歳代／由利地域）
- 乗り合いタクシーは乗れる場所まで行く必要があるなので、歩くのが大変な場合、病院に行けないことがある。自宅前で乗降可能となるよう対応をお願いしたい。（－／－／－）

- 他の都市への交通網を整備し、秋田に住んでいても気軽に行けるように、また、県外からも容易に来てもらえるようにしてほしい。（女性／50 歳代／秋田地域）

政策 3 農林水産

施策 1 日本の食を支える農業を実現する

- 担い手不足が深刻な農林水産業における新規就業者の確保・育成が必要。（男性／50 歳代／秋田地域）
- 秋田は農業産品の生産県として、米以外に日本一になれるような農産物、果物の生産に力を入れてほしい。（男性／60 歳代／秋田地域）
- 農業法人を合併し、米作りだけでなく、野菜・花・果物等、通年で生産する体制を構築し、正社員として雇用を生む会社を創設できないか。（男性／70 歳以上／北秋田地域）
- 農業のスタートアップを支援することにより、楽しいと思える稼げる農業、食のブランド化が進められるのではないかと。（男性／70 歳以上／仙北地域）
- デジタルや A I を駆使しての効率的農漁業の振興など、若者が夢を持てる第 1 次産業の構築が必要。（男性／70 歳以上／秋田地域）

施策 2 森の恵を未来へつなぐ林業・木材産業を実現する

- 昔苦労して植えられた杉林が手つかずとなっており、残念。（男性／70 歳以上／仙北地域）
- 林業は里の人々の生活を守ってくれるものであるが、手入れされていない山があり心配である。（女性／60 歳代／秋田地域）

施策 3 環境変化に対応した新たな水産業を実現する

- ハタハタを毎年安定して食べられるようにしてほしい。（男性／50 歳代／秋田地域）
- 水産業は秋田の強み。徹底的に強化してほしい。（男性／40 歳代・北秋田地域）

施策 4 活力あふれる明るい農山漁村を実現する

- 漁村農村に住む人は、村を仕事場にして、都市部のマンションなどの集合住宅に住むなど、生活スタイルを変化させてはどうか。（男性／60 歳代／秋田地域）
- 耕作放棄地は必ず増加する。農家の人々の環境美化意識で今の農山漁村が守られているが、高齢等の問題で難しい状況になりつつある。土地が荒れるとますますクマなどの動物が里に来るので、担い手としてはやれる事は頑張るが、個人農家なので負担が大きい。（男性／50 歳代／由利地域）

政策 4 産業

施策 1 「人への投資」と経営革新により中小企業の経営基盤を強化する

- 最低賃金は上がったが、物価高騰のため厳しい生活状況に変化は無い。更に上げてほしい。(女性／20 歳代／秋田地域)
- 後継者のいない企業や商店の数が多い。県外も視野に入れて後継者のマッチングを支援してはどうか。(男性／60 歳代／平鹿地域)
- 県内中小企業の生産性向上に向けたデジタル化（A I 等導入）やリスクリングを促進する必要がある。(男性／40 歳代／秋田地域)
- 若者が就職で秋田から出ることのないように、魅力ある企業の発展や賃金のアップ、働きやすい環境の整備が必要。(女性／50 歳代／秋田地域)
- 企業が若い人材を求めているのは理解できるが、物価高の昨今、高齢者にも厳しい現実があるため、高齢者の就労について支援してほしい。(女性／60 歳代／雄勝地域)

施策 2 成長分野への参入とイノベーションの促進により県内企業の挑戦を後押しする

- 洋上風力発電について、グローバル製造業の誘致や洋上風力サプライチェーン企業の集積、O & M(運転・保守)・人材育成拠点としての全国的地位の確立など、日本における中核地域を目指し、強力かつ迅速な政策展開をお願いする。(男性／60 歳代／秋田地域)
- メガソーラー、風力発電は増やさないでほしい。これ以上、美しい山や田園風景を壊さないように願う。(女性／60 歳代／仙北地域)
- 若者の起業に対し補助していただきたい。(男性／40 歳代／北秋田地域)

施策 3 人材を呼び込むG X 関連産業等の集積を図る

- 若者の県外流出を止め、かつ、県内に残るために必要な働く場を確保するため、企業誘致をしてほしい。県内企業と連携できる業種の企業やこれから発展していくデジタル・A I 関連の企業の誘致が必要。(男性／50 歳代／由利地域)
- 限られた予算の中では、全ての分野・事項について満足できるような政策はできない。取捨選択をすべきだが、あるべき将来の秋田県を見据え、成長産業の誘致などの施策に重点を置くべき。(男性／70 歳以上／平鹿地域)

政策 5 健康・医療・福祉

施策 1 持続可能な医療・介護・サービス提供体制を構築する

- 秋田県は高齢者の割合が高いことから、医療機関の更なる拡充が必要。秋田市内では医療機関は確保されているが、県北や県南では医療過疎といわれる地域もある。県には医療格差の解消に努めていただきたい。(男性／50 歳代／秋田地域)
- 高齢者が増加している一方で、介護の働き手・介護職を目指す学生が減っており、人手不足である。介護の人材確保に積極的に取り組んでほしい。(女性／50 歳代／由利地域)
- 医師の高齢化で閉院する個人経営の医院や、病院でも産婦人科で出産をやめるところがある。安心して医療を受けられる環境と安心してこどもを産める環境が必要。(女性／30 歳代／由利地域)
- 介護サービスについて、提供体制の充実のほか、分かりやすい利用方法や料金の見直しに取り組んでほしい。(女性／30 歳代／北秋田地域)
- 国内医師数は一定の増加傾向にあるものの、首都圏や大都市に集中し、地方では医師不足（特に外科や産科）が続いている。秋田大学でも県費を投入して地域枠を確保しているが、これらお金をかけた学生に残ってもらうため一歩踏み込んだ対策が必要ではないか。有能な医師に一人でも多く秋田県に定着してもらいたい。(男性／60 歳代／秋田地域)

施策 2 誰もが健康的に自分らしく暮らせる社会を実現する

- 医療・福祉の連携により、障害者も高齢者も地域で自分らしく生活できるサービスの充実を進めてほしい。(女性／40 歳代／秋田地域)
- 寝たきりで長生きするような生き方はしたくないと思っている。健康で過ごしてこそその長生きだと思うので、健康で生きるための知識を広めてほしい。(女性／60 歳代／北秋田地域)
- 障害者でも健常者でも差別無く同じ立場で働ける環境を整えてほしい。(女性／50 歳代／由利地域)

施策 3 複雑・多様化する社会課題に対応できる相談・支援体制を整備する

- 問題が深刻化・複雑化し、生活が困難で誰にも頼る事ができない人のため、相談できる場所を整備してほしい。(男性／50 歳代／平鹿地域)
- 生活保護や様々な支援の対象とはなっていないが、収入が低い世帯への支援が必要。(女性／20 歳代／秋田地域)
- ネグレクトやヤングケアラーなどこどもの保護などに力を入れてほしい。(女性／30 歳代／秋田地域)

政策6 教育・人づくり

施策1 全てのこどもの健やかな心身と自ら学ぶ意欲を育てる

- 不登校支援について、学校以外の学びの場や相談体制を充実させる必要がある。（その他／50 歳代／秋田地域）
- スポーツで県外の強豪校に進学する人が増えているが、県内の高校に残って続けたいと思えるような環境を作してほしい。（女性／40 歳代／仙北地域）

施策2 新時代をたくましく生き抜く力を育てる

- 風力発電に特化した学科や大手企業と提携した学科など、秋田に来なければ学べない学科をつくってはどうか。（男性／60 歳代／平鹿地域）
- デジタル教育の充実により、生徒に都市部と同じ情報量、スピード感を持ってほしい。（女性／50 歳代／秋田地域）

施策3 「こどもまんなか社会」を支える環境を整備する

- 教育体制の整備は、教育の場で働いている人たちが“働きやすい”“やりがいを感じる”“これからも頑張っていきたい”と思えるような環境を整えることが重要。（女性／30 歳代／北秋田地域）
- 支援学校に行く程ではなく、普通学校で生活してはいるが友達とのトラブルも多い発達障害（グレーゾーン）のこどもが生きやすくなる支援をお願いしたい。（女性／30 歳代／北秋田地域）

施策4 地域社会の発展と産業振興に資する高等教育機関を活性化する

- 県内に学べる科目がなく県外へ行く若者が多いため、若者が学べる専門学校の種類を増やしてほしい。（女性／50 歳代／秋田地域）
- 教育機関が秋田市に一極集中しているので、秋田市以外に高等教育機関の設置や誘致をお願いしたい。（男性／70 歳代／仙北地域）

施策5 誰もが生涯を通じて学び活躍できる環境を構築する

- せっかく大きな美術館や博物館があるので、首都圏で話題となっている展覧会やSNSで話題の展覧会を誘致してほしい。（女性／40 歳代／秋田地域）
- 県の寺社仏閣の重要文化財の保護に対する認識が甘いのではないか。地域住民が維持・管理・運営のために負担して維持しているものがあるが、人口減少下においては自治体が支援すべき。（男性／30 歳代／秋田地域）

政策 7 防災・減災・県土強靱化

施策 1 気候変動等に対応した災害に強い地域社会を実現する

- 近年、県内各地で頻発・激甚化している大雨災害や豪雪に備えたインフラの強靱化、気候変動に対応できる地域づくりを推進してほしい。(男性／40 歳代／秋田地域)
- 地域の「防災無線」の放送内容が聞き取れず、肝心の嵐の時にはまったく聞こえなくなってしまう。緊急放送内容がきちんと届くように、少なくとも「役場・学校・保育園・公民館等」の屋内には受信機を設置することなど、県として地域に対し指針を提示できないか。(男性／70 歳以上／秋田地域)

施策 2 社会経済活動を支えるインフラを強化する

- 高速道路を整備することが県外からのアクセスの良さに一番つながるので、まずは、山形まで早急に高速道路を延ばしてほしい。(男性／40 歳代／秋田地域)
- 雪国なので、歩きやすい融雪歩道の整備をしてほしい。(女性／50 歳代／秋田地域)

施策 3 持続可能なインフラマネジメントを実現する

- 人口減少が進む中においても、安全で安心な暮らしを支える道路、河川、橋梁などの維持管理を着実に進めるとともに、地域を支える建設業やものづくり産業の担い手確保に力を入れてほしい。(男性／60 歳代／秋田地域)
- 地方道の整備にもっと力を入れてほしい。観光地までの道路が老朽化してひび割れ等が目立つ。(男性／30 歳代／山本地域)

政策 8 環境・くらし

施策 1 豊かな自然と良好な環境を次世代に継承する

- 今までの生活がクマの出現により一変した。畑仕事をするにしても、庭の草むしりをするにしても、散歩するにしても、恐怖とストレスを感じる。クマ対策をしっかりとやってほしい。(女性／70 歳代／平鹿地域)
- 出没したクマを駆除するだけでなく赤外線カメラを搭載したドローンでクマの居場所を特定するなど攻めの駆除を行ってはどうか。(男性／70 歳以上／秋田地域)
- 重要な事が多い中で、自然環境の維持改善は将来への責任でもあり、目の前の事象と次元を変えた取組は豊かな自然を有する秋田県として強化していただきたい。(男性／60 歳代／仙北地域)

- デジタル化や利便性を追求することも大切だが、秋田のもつ魅力をどれだけ高め生かすことができるか、それこそが秋田県が生き残るために必要なことだと思う。豊かな自然の保全と活用に力を入れ、魅力を発信することにも力を入れてほしい。(女性／40 歳代／仙北地域)

施策 3 犯罪・事故のない誰もが穏やかで安全に暮らせる地域を実現する

- 歩行者、特に通学時の子ども達の安全が脅かされないよう十分な除雪をお願いする。(女性／60 歳代／北秋田地域)
- 振り込め詐欺が無くなる取組をお願いしたい。(男性／40 歳代／雄勝地域)
- スクールゾーンにも関わらず 80 キロ超で走行する車両を見かける。移動式オービスを各警察署に配備するなど、通学路での常時速度取締りを実施してこどもの安全確保を図っていただきたい。(男性／70 歳以上／仙北地域)

施策 4 快適で質の高い生活環境を実現する

- 県民の中にも自分の様なアナログ生活をしている方々がいると思う。すべてデジタルでなく、紙での連絡を無くさないでいただきたい。(女性／70 歳以上／平鹿地域)
- 公共でのデジタル、電子化の整備がまだまだ発展途上で首都圏とのギャップを感じる。(女性／20 歳代／秋田地域)

県政全般に対する意見・その他

- 行政の取組や支援制度について、ウェブサイトに掲載するだけでなく、SNS や学校・大学、企業、地域コミュニティ、民間サービスとの連携などを活用し「知ろうとしている人」だけでなく、「まだ知ろうとしていないが、潜在的には必要としている人」に届く広報を強化してほしい。特に若年層への広報力を、今後さらに重視してほしい。(男性／20 歳代／秋田地域)
- マーケティング戦略課を大いに活用し、魅力ある(町作り、農林水産業、医療体制、教育等)県を作してほしい。県の方々が考える魅力と県民の望む魅力が同じ方向を向く必要がある。(男性／50 歳代／仙北地域)
- 県が民間企業同様に目標を設定し、未達の場合には誰に責任があり、どのような責任を取るのか明確に決めてほしい。毎年人口減となっても「しかたない」ではなく、責任をとれる県庁職員になってもらいたい。仕事や責任に対して甘い。(男性／50 歳代／秋田地域)
- 子どもが無料で遊べる施設(室内)がもっとあるといい。若者が魅力的に感じる首都圏などにある商業施設が秋田にあれば流出しないのではないか。(女性／20 歳代／秋田地域)

- 人口減少対策は、他県で見られない「秋田にきたらこんなにいい事がいっぱい」的な情報発信のボリュームアップなど、多角的な情報発信に尽きる。情報をコントロールし周知してもらい理解してもらう、そのための人材を育ててほしい。(女性／60 歳代／秋田地域)
- 物価高で中所得者でも苦しい。誰もが恩恵を受けられる給付金を支給してほしい。(男性／20 歳代／鹿角地域)
- 秋田県は秋田市の一極化が進みすぎていると思う。秋田市以外の市町村は過疎化が進んでおり、人口の減少が止まらない。県政がもっと県民、市民に寄り添ってくれる事を期待する。(男性／40 歳代／山本地域)
- 少子高齢化が極端に進んでいるが、秋田県という枠にとらわれず、東北全体で同じ方向に向けた施策が求められているのではないか。(男性／70 歳以上／秋田地域)
- 秋田県の若者の人材育成に力を入れてもらいたい。資格取得の為の学費無償、資格試験受験料無償、交通費無償など検討していただきたい。(女性／50 歳代／秋田地域)
- クマ対策も兼ねて、住居に近いところにある持ち主のはっきりしない耕作放棄地の刈り払いや活用について、県が主導してほしい。(女性／50 歳代／秋田地域)
- 若者が住みたくるように食べ歩きができる観光地や遊園地を作ったらよいと思う。現在、高齢化が進み田や畑を作る人が減少しているので、その場所を活用するのはどうか。(女性／50 歳代／由利地域)
- 若者が楽しめる場を増やすとともに、老人が交流できる場所があったら良い。(女性／70 歳以上／秋田地域)
- 郷土料理や伝統芸能、当たり前前の景色になっている山々や川など、地域に眠っている魅力を県民内で共有するとともに、全国に発信すべき。(男性／40 歳代／山本地域)
- 全国でも高齢化と人口減少が進む中、全国に先駆けて人口の集約や公共事業の集約など今までに無い政策を実現し、モデルとなるべき。そのためには、旧体質な政策ではなく先進的な施策を打たなければならない。(男性／50 歳代／秋田地域)
- 社会減対策が注目されがちだが、一定の成果をあげたとしても人口が大幅に減少することは避けられない。コンパクトに生きていける環境についての議論をもっとするべきではないか。2060 年の人口予測を把握できている県民は少ない。そのようなリアルな情報を県民が正しく認識した上で議論を早く始める必要がある。(男性／秋田地域／30 歳代)
- 子どもや若者への支援体制を整える動きがあることはいいことだが、それを税金で支える世代への扱いが悪くなってきている。子どもの親世代が秋田で暮らしにくいと思っていたらその子どもは秋田での未来に希望をもてるだろうか。(女性／50 歳代／鹿角地域)

付属資料：調査票



令和8年度 県民意識調査

令和8年6月

◇ 調査の目的

この調査は、秋田県が実施する調査で、県の取組に関する皆様の満足度やご意見等をお伺いし、各種政策の立案や政策評価等に反映させることを目的としています。

◇ 回答に当たってのお願い

この調査には、宛名のご本人がお答えください。

※ご本人が何らかの事情により回答できない場合、代理の方の回答や連絡は不要ですので、封筒及び調査票は破棄していただいて構いません。

どちらかを選び
ご回答ください。

インターネットで回答

回答手順

① 「秋田県 電子申請・

届出サービス」にアクセス

<https://ttzk.graffer.jp/pref-akita/smart-apply/surveys-alias/kenmin-ishiki-r8>

こちらから▶



②電子回答ID(※)を入力し、回答

③送信 6月23日(火)まで

(※)電子回答IDは同封の「県民意識調査へのご協力をお願い」に記載しています。

紙の調査票で回答

回答手順

①本紙の次ページから回答

②三つ折りにして同封の返信用封筒
(切手不要)に入れる

③ポストに投函 6月23日(火)まで

・返信用封筒の宛先は、秋田県が調査を委託した「株式会社フィディア情報総研」となっています。

◇ 調査票の取扱い

調査結果は全て統計的に処理しますので、回答内容について個人が特定されることはありません。電子回答IDは、重複回答を防止するために付しているものであり、回答者個人を特定する趣旨のものではありません。

【問い合わせ先】

秋田県政策企画部 総合政策課 計画・評価チーム

電話:018(860)1217

メール:seisaku@pref.akita.lg.jp

問1 次の項目について、あなたはどの程度満足していますか。

ご自身の実感について、「十分」を5点、「不十分」を1点とすると、何点くらいになると思いますか。「わからない」場合は「N」を選んでください。

また、よろしければ、各政策に関する御意見をお聞かせください。

回答例	県外からの移住が進んでいる	5	4	3	2	1	N
-----	---------------	---	---	---	---	---	---

以下、回答の記入をお願いします。

あなたの満足度(1つ選び番号に○をしてください)

政策1 未来づくりに関する項目		十分					不十分	わからない
1	県外からの移住が進んでいる	5	4	3	2	1	N	

2	若者の県内就職が進んでいる	5	4	3	2	1	N	
---	---------------	---	---	---	---	---	---	--

3	出会いや結婚の希望がかなえられる環境づくりが進んでいる	5	4	3	2	1	N	
---	-----------------------------	---	---	---	---	---	---	--

4	安心して出産・子育てできる環境づくりが進んでいる	5	4	3	2	1	N	
---	--------------------------	---	---	---	---	---	---	--

5	多様性が尊重される地域社会づくりが進んでいる	5	4	3	2	1	N	
---	------------------------	---	---	---	---	---	---	--

6	女性や若者が自分らしく活躍できる環境づくりが進んでいる	5	4	3	2	1	N	
---	-----------------------------	---	---	---	---	---	---	--

[未来づくりに関する御意見](任意)

●●は～となっているが、△△と感じており、■■■と思うから。

あなたの満足度(1つ選び番号に○をしてください)

政策2 観光・交流に関する項目		十分					不十分	わからない
7	四季の魅力を活かし国内外からの観光誘客が進んでいる	5	4	3	2	1		N

8	日本酒や発酵食品など「あきたの食」のブランド化と販路拡大が進んでいる	5	4	3	2	1		N
---	------------------------------------	---	---	---	---	---	--	---

9	スポーツを通じて地域に誇りと賑わいがもたらされている	5	4	3	2	1		N
---	----------------------------	---	---	---	---	---	--	---

10	県民が文化芸術に親しむことのできる環境が整備されている	5	4	3	2	1		N
----	-----------------------------	---	---	---	---	---	--	---

11	バスや地域鉄道など日常生活を支える地域公共交通の維持・活性化が図られている	5	4	3	2	1		N
----	---------------------------------------	---	---	---	---	---	--	---

12	幹線鉄道や航空など県内外との交流を支える広域交通網の整備が進んでいる	5	4	3	2	1		N
----	------------------------------------	---	---	---	---	---	--	---

[観光・交流に関する御意見](任意)

あなたの満足度（1つ選び番号に○をしてください）

政策3 農林水産に関する項目		十分					不十分	わからない
13	収益性の高い持続可能な農業の実現により、日本の食を支えている	5	4	3	2	1		N

14	森林資源の循環利用が進み、林業・木材産業が発展している	5	4	3	2	1		N
----	-----------------------------	---	---	---	---	---	--	---

15	海洋環境の変化に対応するための新たな取組により、持続可能な水産業が発展している	5	4	3	2	1		N
----	---	---	---	---	---	---	--	---

16	地域資源の活用等を通じて、農山漁村が活性化している	5	4	3	2	1		N
----	---------------------------	---	---	---	---	---	--	---

[農林水産に関する御意見]（任意）

あなたの満足度(1つ選び番号に○をしてください)

政策4 産業に関する項目		十分					不十分	わからない
17	人材育成や経営革新など県内企業の経営基盤の強化と賃金水準の向上に向けた取組が進んでいる	5	4	3	2	1	N	
18	再生可能エネルギーの導入が拡大している	5	4	3	2	1	N	
19	成長産業への県内企業の参入が進んでいる	5	4	3	2	1	N	
20	技術開発力の強化など県内企業によるイノベーションが進んでいる	5	4	3	2	1	N	
21	人材の流入・定着につながる企業誘致や産業集積が進んでいる	5	4	3	2	1	N	

[産業に関する御意見](任意)

あなたの満足度（1つ選び番号に○をしてください）

政策5 健康・医療・福祉に関する項目		十分					不十分	わからない
22	必要な医療を受けられる体制が整っている	5	4	3	2	1	N	
23	高齢者や障害のある方が、必要なサービスや支援を受けながら、住み慣れた地域で安心して生活している	5	4	3	2	1	N	
24	健康づくりに対する県民の意識が高まっている	5	4	3	2	1	N	
25	障害や難病への県民の理解が進んでいる	5	4	3	2	1	N	
26	相談体制や支援の充実により、地域や社会から孤立することなく、安心して生活できる社会づくりが進んでいる	5	4	3	2	1	N	

[健康・医療・福祉に関する御意見]（任意）

あなたの満足度（1つ選び番号に○をしてください）

政策6 教育・人づくりに関する項目		十分					不十分	わからない
27	こどもが健やかに育ち、自ら学ぶ意欲を持てる教育環境が整備されている	5	4	3	2	1		N

28	キャリア教育やデジタル教育など、これからの時代をたくましく生き抜くための力が育てられている	5	4	3	2	1		N
----	---	---	---	---	---	---	--	---

29	こども一人ひとりの教育的ニーズに応じた質の高い学びが提供されている	5	4	3	2	1		N
----	-----------------------------------	---	---	---	---	---	--	---

30	県内の大学等による教育・研究を通じた地域貢献が進んでいる	5	4	3	2	1		N
----	------------------------------	---	---	---	---	---	--	---

31	県民誰もが生涯を通じて学ぶことのできる環境が整っている	5	4	3	2	1		N
----	-----------------------------	---	---	---	---	---	--	---

[教育・人づくりに関する御意見]（任意）

あなたの満足度（1つ選び番号に○をしてください）

政策7 防災・減災・県土強靱化 に関する項目		十分					不十分	わからない
32	大雨、地震等の自然災害への対策が進んでいる	5	4	3	2	1		N

33	防災力の強化に向けた自助・共助の意識が高まっている	5	4	3	2	1		N
----	---------------------------	---	---	---	---	---	--	---

34	社会経済活動を支える道路等のインフラの整備が進んでいる	5	4	3	2	1		N
----	-----------------------------	---	---	---	---	---	--	---

35	インフラの老朽化への対応などインフラの適切な維持管理が進められている	5	4	3	2	1		N
----	------------------------------------	---	---	---	---	---	--	---

[防災・減災・県土強靱化に関する御意見]（任意）

あなたの満足度（1つ選び番号に○をしてください）

政策8 環境・暮らしに関する項目		十分					不十分	わからない
36	ツキノワグマ等の野生鳥獣の保護管理と被害防止対策が進んでいる	5	4	3	2	1	N	
37	豊かな自然と良好な環境（大気、水質等）が保全されている	5	4	3	2	1	N	
38	カーボンニュートラルの実現に向けた県民や事業者の取組が進んでいる	5	4	3	2	1	N	
39	犯罪や事故のない地域づくりが進んでいる	5	4	3	2	1	N	
40	食の安全性や良好な衛生環境が維持されている	5	4	3	2	1	N	
41	動物の愛護と適正な飼養が進んでいる	5	4	3	2	1	N	
42	県民生活を支えるデジタル技術の普及が進んでいる	5	4	3	2	1	N	

[環境・暮らしに関する御意見]（任意）

問2 次の質問について、当てはまる選択肢の番号に○をつけてください。

差別等について

① あなたは、ご自身や身の回りで差別等を感じるがありますか(○は1つ)。

- | | |
|-------------|--------------|
| 1 よく感じるがある | 2 たまに感じるがある |
| 3 あまり感じるがない | 4 まったく感じるがない |

② ①で「1」～「3」を選んだ方にお聞きます。どのような差別等を感じるがありますか(○はいくつでも)。

- | | |
|---------------------------|------------------|
| 1 性別を理由とするもの | 2 障害を理由とするもの |
| 3 感染症の患者及び医療・介護従事者等に対するもの | 4 がん等の疾病を理由とするもの |
| 5 性的指向、性自認等を理由とするもの | 6 外国人に対するもの |
| 7 年齢を理由とするもの | 8 犯罪被害者等に対するもの |
| 9 犯罪をした人等に対するもの | 10 ハラスメント |
| 11 いじめ | 12 その他() |

③ 日本人から外国人に対する偏見や差別はあると思いますか(○は1つ)。

- | | |
|----------|---------|
| 1 かなりある | 2 多少はある |
| 3 ほとんどない | 4 ない |
| 5 わからない | |

男女共同参画について

① 「男は仕事、女は家庭」という考え方がありますが、あなたはこれについてどう思いますか(○は1つ)。

- | | |
|--------------|--------------|
| 1 賛成 | 2 どちらかといえば賛成 |
| 3 どちらかといえば反対 | 4 反対 |
| 5 わからない | |

文化芸術の鑑賞・活動について

- ① あなたは、ここ 1 年間に文化施設等に出向いて直接鑑賞した文化芸術はありますか（〇はいくつでも）。

- | | |
|------------------------|--------------------------|
| 1 音楽（コンサート、吹奏楽、歌謡・民謡等） | 2 美術（絵画、写真、彫刻、現代アート等） |
| 3 演劇、舞踊（ミュージカル、日本舞踊等） | 4 伝統芸能、民俗芸能（歌舞伎、盆踊り、番楽等） |
| 5 映画（映画館等で上映） | 6 その他（ ） |
| 7 鑑賞していない | |

- ② あなたは、ここ 1 年間に芸術作品の創作、文化イベントへの出演・参加、文化事業でのボランティア活動などを行いましたか（〇はいくつでも）。

- | | |
|------------------|-------------------------|
| 1 芸術作品の創作・制作・実演 | 2 習いごと（音楽、舞踊、茶道等） |
| 3 地域の祭りや伝統行事への参加 | 4 文化芸術イベント等の開催・運営のための活動 |
| 5 その他（ ） | 6 活動していない |

読書活動について

- ① あなたは読書（※）が好きですか（〇は1つ）。

※読書には、新聞及び雑誌（電子媒体の記事（注1）を含む。）のほか、子どもへの読み聞かせ、オーディobook（注2）も含まれます。

（注1）電子媒体の記事とは、新聞社や出版社等がインターネット上に掲載しているニュースや雑誌記事等のことです。

（注2）オーディobookとは、書籍を朗読したものを録音したCDやカセット、インターネット上で提供されている音声コンテンツのことです。

- | | |
|------------------|---------------|
| 1 好きだ | 2 どちらかといえば好きだ |
| 3 どちらかといえば好きではない | 4 好きではない |

- ② あなたは1日平均（※）どれくらい読書をしていますか（〇は1つ）。

※子どもへの読み聞かせ時間も含まれます。

※休日まとめ読みの場合は、1日平均に置き換えてください。

- | | |
|-----------|---------|
| 1 2時間以上 | 2 1～2時間 |
| 3 30分～1時間 | 4 30分未満 |
| 5 全く読まない | |

環境保全活動について

- ① あなたは、これまで環境保全活動に参加したことがありますか（○はいくつでも）。

- | | |
|---|---|
| 1 | 環境美化・清掃活動への参加（例：市民クリーンアップなど） |
| 2 | 自然保護活動への参加（例：ホタルの保護活動など） |
| 3 | 森林保全活動への参加（例：市民植樹など） |
| 4 | リサイクル活動への参加（例：古紙・空き缶回収など） |
| 5 | 環境をテーマとした講演会等への参加（例：地球温暖化防止フォーラムなど） |
| 6 | その他（ ） |
| 7 | 参加したことがない |

食品ロス問題について

- ① あなたは、食品ロス（※）が社会問題になっていることを知っており、削減に向けた取組をしていますか（○は1つ）。

※食品ロスとは、本来食べられるのに捨てられる食品

※削減に向けた取組の具体例

料理を作り過ぎない、出された料理は残さず食べる、外食の際は食べきれる量を注文、買い物の際は賞味期限や消費期限の近い商品を購入、宴会等の始まりと終わりの時間は席を立たずに料理を食べる 等

- | | |
|----------------|--------------------|
| 1 知っており取り組んでいる | 2 知っているが何も取り組んでいない |
| 3 全く知らない | |

社会活動・地域活動について

- ① あなたが、ここ1年間に仕事以外の何らかの「社会活動・地域活動」（※）に取り組んだ頻度で、もっとも当てはまるものはどれですか（○は1つ）。

※「社会活動・地域活動」の具体例

地域の公園の花壇の手入れ、町内一斉清掃への参加、河川のごみ拾い、子育て支援、子ども会活動、まちづくりフェスティバル、祭り・伝統芸能の担い手、高齢者宅の除雪の手伝い 等

- | | |
|-------------------|---------|
| 1 週5日以上 | 2 週1日程度 |
| 3 月1日程度 | 4 年1日程度 |
| 5 特定の期間（夏の間2週間など） | |
| 6 その他（具体的に | ） |
| 7 取り組んだことがない | |

家庭での防災活動について

① あなたは、災害に備えて日頃どのような防災活動を行っていますか（○はいくつでも）。

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| 1 地域の防災訓練への参加 | 2 災害ハザードマップなどによる危険箇所の把握 |
| 3 最寄りの緊急避難場所等の確認 | 4 緊急避難場所等への避難経路の確認 |
| 5 災害時の家族への連絡方法の取り決め | 6 非常時持ち出し品の用意 |
| 7 家具等の固定 | 8 水や食料等の備蓄 |
| 9 必要だと思うが取り組んでいない | 10 必要だと思わないため取り組んでいない |
| 11 その他（ | ） |

② あなたの家庭では、災害時の備えとして、水・食料等の備蓄（※）（家族人数×3日分）をしていますか（○は1つ）。

※備蓄には、普段から家庭で使うために購入・保管している冷蔵庫内の食料品等や、災害時にも活用できるペットボトル飲料水やカップラーメン、缶詰なども含みます。

- | | |
|-----------------|---------------------|
| 1 3日分以上の備蓄をしている | 2 備蓄はしているが、2日分以下である |
| 3 備蓄はしていない | |

高齢者の社会参加について

① 60歳以上の方にお聞きします。あなたは、令和7年度に仕事や社会活動等（趣味や健康づくり、生涯学習を含む）を行いましたか（どちらかに○）。

- | | |
|-------|----------|
| 1 行った | 2 行っていない |
|-------|----------|

問3 今後の県政を推進していく上で、あなたが重要課題として県に力を入れてほしいことは何ですか。下から5つまで選択して番号を記入してください。

--	--	--	--	--

◆未来づくり

- 1 県外からの移住の促進
- 2 若者の県内就職の促進
- 3 出会いや結婚を希望する人への支援の充実
- 4 安心して出産・子育てできる環境づくり
- 5 誰もが自分らしくいられる多様性に満ちた地域社会づくり

◆観光・交流

- 6 国内外からの観光誘客
- 7 「あきたの食」のブランド化と販路拡大
- 8 スポーツを通じた地域の誇りと賑わいの創出
- 9 文化芸術に親しむことのできる環境整備
- 10 日常生活を支える地域公共交通の維持・活性化
- 11 県内外との交流を支える広域交通網の整備

◆農林水産

- 12 農林水産業の担い手の確保
- 13 戦略的な米生産の推進
- 14 ねぎやしいたけなどの園芸作物の生産拡大
- 15 秋田牛や比内地鶏等の畜産物等の生産拡大
- 16 林業・木材産業の発展
- 17 水産業の発展
- 18 農山漁村の活性化

◆産業

- 19 中小企業の経営基盤の強化
- 20 働きやすい職場環境の整備
- 21 企業の賃金水準向上に向けた支援の強化
- 22 成長分野への県内企業の参入促進
- 23 スタートアップへの支援
- 24 県内企業のイノベーションの促進
- 25 企業誘致や産業集積の促進

◆健康・医療・福祉

- 26 医療提供体制の整備
- 27 介護・福祉サービスの提供体制の整備
- 28 健康に関する正しい知識の周知
- 29 障害者支援体制の整備
- 30 長期的な療養等が必要な人への支援の充実
- 31 困難を抱える人に対する相談・支援体制の整備

◆教育・人づくり

- 32 こどもが学ぶ意欲を持てる教育環境の整備
- 33 キャリア教育やデジタル教育の充実
- 34 ニーズに応じた質の高い学びの提供
- 35 大学等の地域貢献の強化
- 36 県民誰もが生涯を通じて学べる環境の整備

◆防災・減災・県土強靱化

- 37 治水対策やインフラの耐震化など自然災害への対応力の強化
- 38 地域防災力の強化に向けた「自助・共助」の促進
- 39 社会経済活動を支える道路等のインフラ整備
- 40 インフラの老朽化への対応

◆環境・暮らし

- 41 野生鳥獣の保護管理とツキノワグマ等による被害防止対策
- 42 豊かな自然と良好な環境（大気、水質等）の保全
- 43 カーボンニュートラルに向けた取組の促進
- 44 犯罪や交通事故のない地域づくり
- 45 食の安全性や良好な衛生環境の維持
- 46 動物愛護活動の推進
- 47 デジタル技術の普及促進
- 48 総合的な除雪・雪害対策

問4 県に力を入れてほしいことや、県が取り組むべきだと思うことについて、何でもお気軽にお聞かせください。

[illegible]

問5 あなたご自身について、お伺いします。

回答を統計的に分析するために、あなたご自身のことについてお聞かせください。
(当てはまる選択肢の番号1つに○をつけてください。)

① 性別

1 男性 2 女性 3 その他(どちらともいえない・わからない・答えたくない)

② 年齡

1 18~19 歲	2 20~29 歲	3 30~39 歲	4 40~49 歲
5 50~59 歲	6 60~69 歲	7 70 歲以上	

③ 18歳未満の子どもの有無

1 現在18歳未満の子どもを養育している 2 していない

④ ご出身

1 秋田県出身 2 秋田県以外の出身

⑤ お住まいの地域

- 1 鹿角地域（鹿角市、小坂町）
- 2 北秋田地域（大館市、北秋田市、上小阿仁村）
- 3 山本地域（能代市、藤里町、三種町、八峰町）
- 4 秋田地域（秋田市、男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村）
- 5 由利地域（由利本荘市、にかほ市）
- 6 仙北地域（大仙市、仙北市、美郷町）
- 7 平鹿地域（横手市）
- 8 雄勝地域（湯沢市、羽後町、東成瀬村）

⑥ 主なお仕事の種類（主とする業種1つに○）

1 農業 2 林業 3 漁業 4 建設業 5 製造業 6 情報通信業 7 運輸業・郵便業
8 卸売業・小売業(観光関連) 9 卸売業・小売業(観光関連以外)
10 宿泊業 11 飲食サービス業 12 学術研究・学校教育・学習支援
13 医療・保健 14 福祉 15 公務(1~14以外) 16 その他の業種
17 学生 18 無職

これで調査は終わりです。ご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

この線で三つ折りにしてください。

この線で三つ折りにしてください。

ご協力ありがとうございました。
この調査票を三つ折りにし、
同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、
6月23日（火）までに投函してください。



©2015 秋田県んだッチ

令和8年度 県民意識調査 〈参考資料〉

～取組のトピック～



©2015 秋田県んだッチ

同封の総合計画リーフレットと合わせて
ご覧ください。

政策1 未来づくり

トピック

○令和8年4月、秋田県あきた暮らし・交流拠点センター(アキタコアベース)秋田オフィスを開設しました。令和5年に開設した東京オフィスとともに、移住や就業の相談窓口として、移住希望者に対する支援などを実施しています。



首都圏在住の県出身者を対象とした交流会

○令和8年4月1日以降に秋田県に移住した方へ、デジタル商品券を交付する事業など、秋田への移住を後押しするキャンペーンを新たにスタートします。



○令和6年度から、男性の家事・育児参画を推進するため、啓発動画の作成やSNSによる企業の取組情報発信など、「あきたとも家事」の普及啓発を実施しています。



あきたともかじ
ロゴマーク

○令和8年度、若者の意欲や斬新なアイデアを地域活性化につなげる機会を創出するため、夢の実現を目指す若者の戦略的な取組を支援する「シン・若者チャレンジ応援事業」を実施します(最大10万円を補助)。

【秋田県総合計画(2026～2029年度)における主な数値目標】

		2024	2025	2026	2027	2028	2029
移住者数 (県関与分) (人)	目標	—	—	850	930	1,030	1,030
	実績	782	799				
出生数(人)	目標	—	—	2,740	2,900	3,050	3,210
	実績	3,282	(未判明)				

政策2 観光・交流

トピック

○令和7年度の秋田県内の延べ宿泊者数(速報値)は約294万人と、前年度比で約5万人(6.8%)減少しているものの、外国人宿泊者数は、前年度比で約4万人(21.3%)増加し、約15万人となりました。



インパウンド誘客の促進

○令和8年5月から、通年での誘客促進を図るため、「まだバレてない秋田県。」をキャッチコピーとした得旅キャンペーンを実施しています。



キャンペーンのポスター

○令和7年度、冬期の観光キャンペーン「秋田冬アソビ割」を実施し、スキーや冬のアクティビティを対象としたクーポンの発行を通じ、県内外合わせて延べ3万5千人以上の方が秋田の冬を満喫しました。

○令和7年度から、秋田市の八橋運動公園で、新県立体育館の整備がスタートしており、令和10年秋の開館を予定しています。

【秋田県総合計画(2026～2029年度)における主な数値目標】

		2024	2025	2026	2027	2028	2029
観光消費額(億円) (国内+インパウンド)	目標	—	—	2,740	2,900	3,050	3,210
	実績	1,207	(未判明)				
外国人延べ宿泊者数 (千人泊)	目標	—	—	188	226	273	331
	実績	119	145(速報値)				

政策3 農林水産

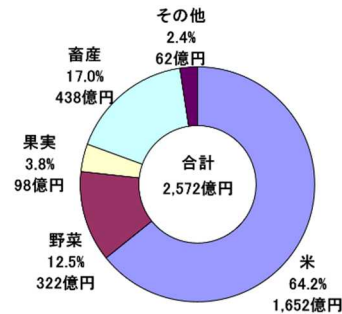
トピック

○令和6年の秋田県の農業産出額は2,572億円（前年比+793億円）で、平成8年以来の2,500億円台となりました。

○農業の担い手は減少傾向にあり、令和7年2月1日時点の県内の農業経営体数は21,729で、5年前と比べて24.9%減少しています。

○令和8年5月、就農希望者の呼び込み等を進めるため、官民連携のプラットフォームを立ち上げました。農業法人での雇用就農を通じて即戦力となるオペレーターを養成し、地域農業の担い手の確保・育成を促進します。

○令和7年8月、官民51会員が参画する「秋田県農畜産物輸出促進協議会」を設立し、令和11年までに輸出額40億円を目指す体制を構築しました。



令和6年の農業産出額



秋田県農畜産物輸出促進協議会
設立総会

【秋田県総合計画（2026～2029年度）における主な数値目標】

		2024	2025	2026	2027	2028	2029
農業産出額 （億円）	目標	—	—	2,525	2,570	2,615	2,659
	実績	2,572	（未判明）				
農畜産物の輸出額 （百万円）	目標	—	—	1,017	1,430	2,603	4,000
	実績	876	（未判明）				

政策4 産業

トピック

○令和8年度から「AKITA Dex」を開始し、中高生・大学生等を対象に、デジタル技術を段階的に学ぶ育成プログラムを実施しています。

○令和7年11月、スタートアップの相互進出をねらったフィンランド北カレリア地域との経済連携協定を締結しました。

○令和7年10月、「世界洋上風力サミット」が秋田市で開催され、国内外から約800名の関係者が参加しました。

○近年、東証プライム上場企業の主要拠点やAIデータセンターなど、賃金水準向上や若者定着につながる企業誘致が相次ぎ実現しています（令和7年の誘致実績：26件（バブル崩壊後最多））。



協定締結式

【秋田県総合計画（2026～2029年度）における主な数値目標】

		2024	2025	2026	2027	2028	2029
所定内給与額 （万円）	目標	—	—	28.1	28.9	29.7	30.6
	実績	26.5	（未判明）				
売上50億円以上の 企業数（社）	目標	—	—	144	150	155	160
	実績	132	（未判明）				

政策5 健康・医療・福祉

トピック

○令和6年度以降、地域医療を維持するため複数の医療機関等が連携して設立する「地域医療連携推進法人」が、県内で4法人認定されています。

○県内で就業する看護職員を確保するため、令和7年度から、看護職員修学資金の貸与枠を拡大しています。

○令和8年3月、秋田県認知症施策推進計画を策定し、地域の特性に応じた総合的な認知症施策を新たに開始しました。

○令和7年10月、里親支援センター「TOMONY」を設置し、里親が孤立せず安心して養育に専念できる環境の整備を推進しています。



里親支援センター「TOMONY」

【秋田県総合計画（2026～2029年度）における主な数値目標】

		2024	2025	2026	2027	2028	2029
医療提供体制が不十分だと感じる人の割合（％）	目標	—	—	28.1	28.9	29.7	30.6
	実績	28.0	27.5				

		実績 2022	目標 2028
健康寿命（年）	男性	72.43	74.19
	女性	75.67	77.34

政策6 教育・人づくり

トピック

○「第4期あきたの教育振興に関する基本計画」（令和7～11年度）に基づき、ふるさとを学びのフィールドとした学習・体験活動や主体的に問題解決に取り組む「秋田の探究型授業」を充実させるなど、「地域に根ざしたキャリア教育」と「『問い』を発する子ども」の育成」に向けた取組を推進しています。

○生徒のスポーツ機会の確保・充実のため、スポーツ指導者登録システムの運用や市町村の多様な取組の支援など、中学校運動部活動の地域展開を推進しています。

○学校における適切な法的対応の迅速化とトラブルの未然防止に向け、令和8年度からスクールロイヤーの活用がスタートしました。

○令和8年7～8月、第50回全国高等学校総合祭（あきた総文2026）を秋田市ほか7市で開催します。



あきた総文2026プレ大会パレード

【秋田県総合計画（2026～2029年度）における主な数値目標】

		2024	2025	2026	2027	2028	2029
将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合（小6・中3）（％）	目標	—	—	82.0	83.0	84.0	85.0
	実績	81.0	81.7				
認知したいじめの解消率（国公立、小・中・高・特別支援）（％）	目標	—	—	100.0	100.0	100.0	100.0
	実績	88.8	（未判明）				

政策7 防災・減災・国土強靱化

トピック

○令和5年7月豪雨で甚大な被害が発生した太平洋（秋田市）などでは、河道の掘削により水が流れる断面を拓げるほか、護岸の設置などを行っています。



太平洋の治水対策工事

○令和5年3月に開始した河川水位や降雨量のメール配信サービス「あきた河川（かわ）メール」では、令和6年5月から LINE での配信も始めています。

○令和7年度は、県内の高速道路の開通が相次ぎ、11月には東北中央自動車道「下院内・雄勝こまち」間が、翌12月には国道7号「能代地区線形改良」が、さらに3月には秋田自動車道「きみまち阪・北秋田今泉」間が開通しています。

○本県の高速道路は、令和7年度末時点で、計画延長362kmのうち94%が供用されており、残りの区間も開通に向け事業が進められています。

○能代港では、洋上風力発電の基地港湾として、高い地耐性を備えた岸壁が令和6年に完成しました。

【秋田県総合計画（2026～2029 年度）における主な数値目標】

		2024	2025	2026	2027	2028	2029
自然災害による死者数（人）	目標	—	—	0	0	0	0
	実績	2	0				
インフラの老朽化に起因する重大事故件数（件）	目標	—	—	0	0	0	0
	実績	0	0				

政策8 環境・くらし

トピック

○環境省の調査で、森吉山周辺の豊かな自然が国定公園にふさわしいと評価されました。この秋田の宝を確実に保護して未来へつなぐとともに、地域の魅力向上を図るため、令和9年度中の国定公園への指定を目指して準備を進めています。

○令和7年11月、クマによる人的被害の深刻化を受けて、本県の要請に基づく陸上自衛隊の捕獲支援活動が行われました。

○「事業者の脱炭素の取り組み状況が見える化」する「あきたゼロカーボンアクション宣言登録制度」を令和5年度から開始しており、令和7年度末で223の企業や団体が登録しています。



【秋田県総合計画（2026～2029 年度）における主な数値目標】

		2024	2025	2026	2027	2028	2029
人の生活圏におけるツキノワグマによる人身被害者数（人）	目標	—	—	0	0	0	0
	実績	5	64				
交通事故死者数（人）	目標	—	—	26 以下	26 以下	26 以下	26 以下
	実績	31	33				

令和 8 年度 県民意識調査報告書

令和 8 年 8 月

発 行 秋田県 政策企画部 総合政策課
〒010-8570 秋田県秋田市山王四丁目 1 番 1 号
TEL 018-860-1217 FAX 018-860-3873

調査機関 株式会社フィデア情報総研
〒010-0923 秋田県秋田市旭北錦町 2 番 1 号
TEL 018-883-0200 FAX 018-883-0209

